

1 区計画の目的

本市では、市民の暮らしに身近な7つの区役所で、市民サービスを効率的・効果的かつ総合的に提供する とともに、参加と協働による暮らしやすい地域づくりを進めています。

少子高齢化の進展や将来的に見込まれる人口減少への転換などの社会状況の変化に伴い、それぞれの地域で暮らす市民の生活も大きく変わりつつあり、身近な行政サービスの提供に加えて、市民が地域におけるさまざまな活動に主体的に参加し、お互いに支え合うしくみづくりが必要となっています。

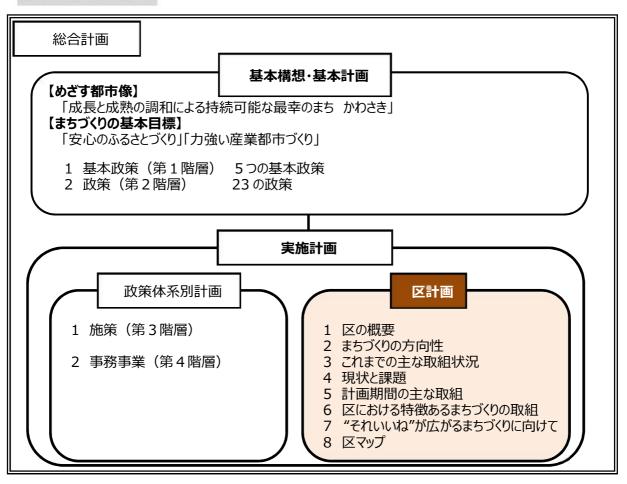
区計画は、このように地域の課題が複雑化・多様化する中で、それぞれの地域が持つ魅力や特性を活かし、 市民・地域・行政など多様な主体が連携しながら、地域課題の解決に向けた参加と協働によるまちづくりを進め ることを目的として策定するものです。

2 区計画の位置づけ

実施計画における政策体系別計画では、それぞれの区における都市基盤整備や交通体系の構築、全市共通の福祉・子育て支援などの市民サービスを政策体系別に示しており、市民生活を支える 7 区共通の行政サービスについては、この中に位置づけられています。

区計画では、各区のまちづくりの方向性や特色、現状と課題、多様な主体の参加と協働により行う地域課題の解決に向けた主要な取組を中心に、計画期間における取組内容を示します。

計画の位置づけイメージ



3 区計画の構成

第3期実施計画における区計画では、これまでの実施計画で示した内容や、策定以降の環境の変化等も踏まえながら、次の項目を記載します。

項目	内 容
区の概要	区の地形、歴史や文化、区名の由来など、区の特徴や特性を記載します。
まちづくりの方向性	区の現状と課題を踏まえて、身近な区役所において、参加と協働で進める中期的なまちづくりの方向性を記載します。
これまでの主な取組状況	第 1 期・第 2 期実施計画期間(平成 28 (2016) ~令和 3 (2021) 年度)における主な取組状況を記載します。
現状と課題	区の地理的な状況や人口・世帯構成、地域コミュニティの変化 などを踏まえた地域課題を記載します。
計画期間の主な取組	区の現状やまちづくりの方向性を踏まえ、第3期実施計画期間 (令和4(2022)~7(2025)年度)に実施する、区が独 自に展開する事業(地域課題対応事業)を記載します。
区における特徴あるまちづくりの取組	地域課題の解決に向けて、行政が中心となって当該区で展開している特徴的な取組を紹介します。
"それいいね"が広がるまちづくりに向けて	地域課題の解決に向けて、市民や団体等と協働・連携して行っている主な取組を紹介します。
区マップ	第3期実施計画期間(令和4(2022)~7(2025)年度)に、それぞれの区内で展開される道路や保育所などの生活基盤の整備状況等をマップで示します。

4 区計画策定にあたっての基本認識

(1) めざす都市像の実現に向けた区役所の役割

区役所は、①市民に身近な行政サービスを効率的・効果的かつ総合的に提供することと、②参加と協働による暮らしやすい地域づくりを築くことの、2つの大きな役割を担っており、各区では、7区共通して市民生活の基盤を支える行政サービスを着実に推進するとともに、区の実情に応じた地域の課題解決や地域のコミュニティづくりを進める事業を展開しています。

今後も区役所は、主に「安心のふるさとづくり」に向けて、身近な課題は身近な所で解決するという補完性の原則に基づく地域に密着した行政機関として、これまでも担ってきた行政サービスの提供に加え、地域の実情に応じながら、市民同士のつながりやコミュニティづくりを通じて、市民の主体的な取組を促す役割を果たしていきます。

【「めざすべき区役所像」に基づく取組】

- (1)市民目線に立った行政サービスを総合的に提供する区役所
 - ①総合行政機関としての着実なサービス提供の推進
 - ②市民感覚・現場起点による継続的な区役所サービス向上の推進
 - ③窓口サービスの機能再編
 - 4計画的な庁舎整備の推進

(2)共に支え合う地域づくりを推進する区役所

- ①地域づくりに向けた取組の推進
- ②地域人材への支援と多様な主体間のネットワーク化の推進

(3)多様な主体の参加と協働により地域の課題解決を図る区役所

- ①地域課題対応事業の活用
- ②区における中間支援機能の検討
- ③地域づくりに向けた場の確保

【7 区で共通して行う行政サービス】

区民の安全・安心の推進	災害対策、防犯対策、交通安全、路上喫煙の防止 など
区のまちづくりの推進	町内会・自治会の支援、スポーツの推進 区民の生涯学習活動の支援、区民からの相談受付 青少年の健全育成、区政に関する企画立案 など
市民生活を支える行政サービスの提供	戸籍、住民登録、印鑑登録などの受付や証明書発行 国民健康保険、介護保険、年金などに関わる業務 小児医療費、障害者医療費など各助成金の申請受付 など
福祉や子育て支援	地域の見守り活動の支援、健康づくり高齢者・障害者支援、 生活保護、妊娠・出産・子育て支援、待機児童対策、 感染症対策、公衆衛生、動物愛護 など
道路や公園の管理	道路や橋、公園緑地の維持管理 など



区の実情に応じて展開する事業

- ●地域包括ケアシステム、防災、コミュニティづくりなど、区の地域特性に対応した事業
- ●各区の地域資源を活かした魅力発信・賑わいづくり事業 など



区民との協働による花壇管理の取組



子育てに関するイベントの様子

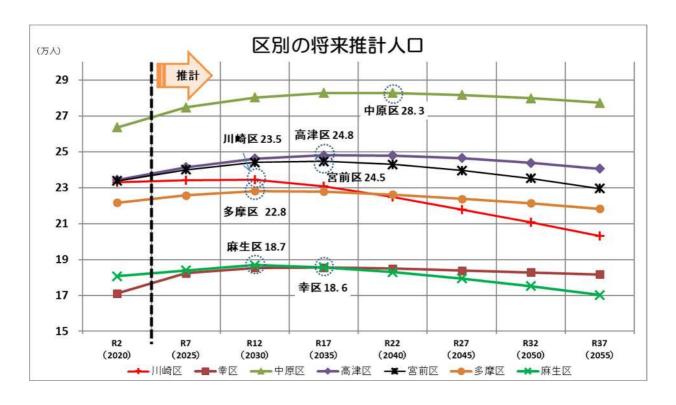


区役所窓口における案内の様子

(2) 人口と高齢化の推移

市の将来人口推計では、川崎区、多摩区、麻生区が最も早くピークを迎え、令和 12 (2030) 年頃を境に人口減少に転じる予測であり、市全体の人口ピークも令和 12 (2030) 年頃で、最も遅い中原区においても、概ね令和 22 (2040) 年以降、人口が減少に転じることが見込まれています。

また、大都市の中で平均年齢が若い本市においても高齢化率は急速に上昇しており、令和 12 (2030) 年頃には中原区を除く6区で、超高齢社会となる21%を超え、おおむね令和22 (2040) 年以降にはすべての区が超高齢社会となることが見込まれています。



区別の高齢化率の推移(推計)

			R2 (2020)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)
Ш	崎	×	22.4%	23.0%	23.8%	25.5%	28.4%	30.1%	31.2%	31.7%
幸		×	21.7%	21.3%	21.7%	23.1%	25.2%	26.7%	27.6%	28.0%
ф	原	×	15.3%	16.0%	17.5%	19.7%	22.3%	23.9%	24.7%	24.8%
高	津	×	19.0%	20.2%	22.1%	24.8%	27.9%	29.6%	30.6%	30.9%
宮	前	×	21.3%	23.3%	26.3%	30.1%	33.6%	35.8%	36.7%	36.7%
多	摩	×	19.8%	21.2%	23.1%	25.4%	27.7%	28.7%	29.1%	29.2%
麻	生	×	24.2%	26.4%	28.6%	31.7%	34.7%	36.2%	36.6%	36.3%
全 i	市平	均	20.3%	21.3%	23.0%	25.5%	28.3%	29.9%	30.6%	30.8%

※高齢化率が 21%を超えている部分に網かけをしています(世界保健機構(WHO)等では、21%を超えた社会は「超高齢社会」と定義しています。) 資料:令和 2 (2020)年は「国勢調査」、令和 7 (2025)年以降は「川崎市総合計画第 3 期実施計画の策定に向けた人口推計(更新版)」

(3) 地域包括ケアシステムの更なる推進

平成 28 (2016) 年 4 月に、各区役所に地域みまもり支援センターを設置し、区における地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進しています。地域みまもり支援センターでは、生活課題を抱える方への適切な対応を図るため、保健師をはじめとする専門多職種が、関係部署や社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、必要な支援を行うとともに、「地区カルテ」を作成・活用して地域ごとのニーズや課題の把握に努めながら、多世代交流などの場づくりや、地域の見守り体制の構築などの地域づくりを進めています。

今後、少子高齢化がますます進展する中、子どもから高齢者までを対象とし、個別支援の強化を図るとともに、保健師等が地域に積極的に出向き、地域における多様な主体と顔の見える関係を築きながら、支え合いの地域づくりを進めるなど、「誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域」の実現に向けた区役所の取組が一層重要です。

(4)地域防災力の更なる強化

区役所では、川崎市地域防災計画に基づき、各区で区地域防災計画を整備するとともに、災害発生時に迅速な初動対応がとれるよう、消防局等の関係機関と連携した本部訓練を実施するなど、区災害対策本部体制の強化を進めています。

また、区民の防災意識の醸成を図るとともに、令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症における対応を踏まえた、より実践的な内容を主眼とした区総合防災訓練の実施、避難所運営会議や自主防災組織など地域主体の訓練に対する支援、災害時要援護者への対応など、地域と連携した取組を推進しています。

今後、首都直下地震や南海トラフ地震の発生リスクの高まりや、近年、激甚化・頻発化する風水害への対応など、区民の生命や財産を守るため、地域の防災拠点である区役所の役割が一層重要になっており、自助・共助(互助)・公助の考えに基づく地域防災力の強化が必要です。

(5)「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく協働・連携の取組の推進

本市では、「参加と協働による地域課題の解決の新たなしくみ」を構築するため、地域のありたい姿や、参加と協働による地域課題など、本市のコミュニティ施策の方向性をまとめた「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を平成31(2019)年3月に策定しました。

区役所では、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、「市民創発」による持続可能な暮らしやすい地域社会の実現をめざすため、誰もが気軽に集え、多様なつながりを育む地域の居場所「まちのひろば」や、地域の取組を支援する区域レベルのプラットフォーム「ソーシャルデザインセンター」の創出といった「新たなしくみ」の構築に向け、地域包括ケアシステム構築のための地域づくりの取組など、多様な主体との連携による協働の取組を進めています。

今後も区役所において、コーディネートスキルを有し、チャレンジする職員の育成を進めつつ、「市民創発」による市民自治と多様な価値観を前提とした「寛容と互助」の都市型コミュニティの形成に向けて、地域のつながりをつくり、多様な主体との連携による地域づくりを進めていきます。

(6)「地域デザイン会議」の取組の推進

本市では、共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化の取組として、これまでの区民会議に替わる「新しい参加の場」の構築を目的に、「区における行政への参加の考え方」を令和3(2021)年5月に 策定しました。

これまでの区民会議における課題を踏まえ、「より多くの市民が関わり参加しやすい機会の拡充」「弾力的に運用できる柔軟なしくみ」「地域コミュニティにおける支え合う関係づくりと市民創発型の課題解決を推進」を主な方向性として位置づけるとともに、各区において新しい参加の場としての「地域デザイン会議」の試行を実施し、よりよいしくみとなるよう、継続的に意見聴取を行い、改善を図りながら、令和6(2024)年度の本格実施をめざして取組を進めます。

(7) 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた取組の推進

新型コロナウイルス感染症の影響は多方面に及んでおり、区役所におけるサービス提供や、地域における協働の取組についても、大きな影響を受けています。

その中で各区役所においては、窓口における感染拡大防止に取り組むとともに、イベント等の開催手法を工夫するなど、新型コロナウイルス感染症に配慮した取組を進めています。

今後も、窓口サービスや、地域課題の解決に向けた協働の取組を進める際など、さまざまな場面で、感染症に配慮しながら取組を進めるとともに、感染症の影響による社会変容を踏まえた、ウィズコロナ・ポストコロナの時代を見据えた取組が求められています。

(8) 区役所サービスにおけるデジタル化の取組の推進

区役所では、近年、窓口におけるキャッシュレス決済の導入や、Wi-Fi の設置によるオンライン環境の整備など、ICT を活用した利便性の向上や業務効率化に向けた取組を進めてきました。

また、新型コロナウイルス感染症の流行を機に、対面を前提としない行政手続や相談等へのニーズが高まっており、区役所に求められるサービスも多様化しています。そのような状況に対応するため、本市では、令和4 (2022) 年度までの行政手続のオンライン化に向けて取り組むなど、デジタル化の取組を一層加速して進めています。

今後も、窓口・電話等による丁寧な対応を継続するなど、デジタルデバイド(情報格差)にも配慮しながら、市民に身近な区役所における業務・手続のデジタル化を進めることで、利便性の向上や、業務効率化によって市民サービスの質を向上させる取組が一層求められています。

(9) 区役所における持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえた政策の推進

区役所は、それぞれの地域の魅力や特性、地域課題を踏まえながら、市民に身近な行政サービス機関として、市民生活を支え、地域づくりを進める取組を展開しています。

市民生活の中にも SDGs への理解や取組が浸透しつつある中、区役所における取組は市民に一番身近な施策であることを踏まえ、区計画においては、本計画の期間(令和4(2022)~7(2025)年度)に実施する「5計画期間の主な取組」において、掲載している事業に関連する SDGs のゴールを示しています。

SUSTAINABLE GOALS





■世帯数 123,290 世帯 (令和4(2022)年1月1日現在)

川崎区の花











「銀杏(いちょう)」「長十郎梨」

川崎区の概要

- 川崎区は、東海道五十三次の宿場町である旧川崎町、川崎大師平間寺の門前町である旧大師町、 企業で働く人々の住宅地として発展してきた旧田島町の3地区と臨海部の埋立地で構成されていま す。明治時代から第二次世界大戦にかけて、東京からの工場移転等により市街地化が進み、戦後、 臨海部では重化学工業地帯が形成されました。これに伴い、公害問題などさまざまな都市問題が生じ ましたが、環境改善に向けた取組を進め、現在では、公害問題の解決に向けて取り組む過程で得られ た経験を活かして高度な環境関連技術が生み出され、世界的なハイテク企業や研究開発機関が集 積した先端産業都市の中核として成長を続けています。
- 臨海部の殿町地区では、国際戦略拠点「キングスカイフロント」として、ライフサイエンス・環境分野などの 先端技術の研究開発拠点の整備が進み、東扇島地区では、市内唯一の人工海浜を有する東扇島 東公園や、展望室からの夜景が日本夜景遺産に認定された川崎マリエンなどが市民の憩いの場になっ ています。さらに、臨海部の工場・事業所などの生産現場を訪れる産業観光や、世界との玄関口の羽 田空港へとつながる多摩川スカイブリッジの開通など、新たな川崎の魅力として脚光を浴びています。
- 市の玄関口である川崎駅東口周辺地区は、駅東西の回遊性の向上を図るための JR 川崎駅北口通 路が開通し、官公庁や商業・サービス業などが集積する中心市街地として一層充実した都市機能を有 するなど、歴史・文化・産業などの魅力ある地域資源が豊富なまちです。
- また、区の特色の一つとして外国人住民人口が市内で最も多く、多文化共生のまちとしての特性も見 ることができます。



まちづくりの方向性

誰もが住んで良かったと思える安全・安心のまちづくり

- 川崎区は、古くから東海道川崎宿の宿場町として栄え、臨海部には高度な産業が集積するとともに、 市の玄関口である川崎駅周辺において、官公庁や商業・サービス業などが集積する中心市街地が形成されるなど、歴史・文化・産業などの魅力ある地域資源が豊富なまちです。
- このような賑わいと歴史・文化資源との融合により、新たなまちの魅力を創造・発信するとともに、昔ながらの顔の見える関係や地域のつながり・絆を大切にしながら、地域への愛着を持ち、誰もが住んで良かったと思える安全・安心なまちづくりを進めます。

3 これまでの主な取組状況

● 地域資源を活かしたまちづくりの推進

「東海道かわさき宿交流館」を拠点とした江戸風意匠に富む景観形成による賑わいの創出や、産業文化財等を活用した魅力発信の取組を進めるほか、「スポーツ・文化総合センター(カルッツかわさき)」や「富士通スタジアム川崎」などの施設を活かして、多様な主体が交流する取組を進めています。また、令和4(2022)年には区制50周年を、令和5(2023)年には東海道川崎宿起立400年を迎えることから、区民のまちへの愛着や誇りを深めるきっかけとなるよう、多様な主体との連携により気運を高める取組を進めています。

●区のイメージアップに向けた環境まちづくりの推進

「区の花(ビオラ・ひまわり)」「区の木(銀杏・長十郎梨)」を活用した地域緑化の取組などを通じて、区のイメージアップや地域活動参加への意識醸成を図っています。また、川崎駅周辺の落書き消しや 臨海部におけるごみのポイ捨て防止対策など、美観向上や環境改善に向けた取組を進めています。

●誰もが安心して、生き生きと暮らせるまちづくりの推進

川崎区らしい地域包括ケアシステムの構築に向けた普及啓発や、地域 包括ケアシステムに資する地域活動と区民ニーズのマッチングに取り組む とともに、地域交流・世代間交流の場づくりや、区民が主体となった健 康づくり・介護予防の活動を促進するための取組を進めています。



5か国籍の子育て世帯が参加 (地域づくりワークショップ)

●地域における子ども・子育て支援の推進

こども総合支援ネットワーク会議などを通じた支援団体間の連携促進や、公立保育所等を活用した支援講座の実施等により、地域全体で子育てを支援する環境づくりを進めています。また、子育てガイド等による効果的な情報発信のほか、学校生活への適応が困難な子どもや日本語に不慣れな子ども・保護者に対する支援など、それぞれの状況に応じた適切な支援に取り組んでいます。

●安全・安心なまちづくりに向けた地域防災力の向上

自主防災組織等を中心とした地域防災力の強化に向け、地域の自助・共助(互助)意識を高めるための継続的な支援を行い、地域一帯で大規模災害に対応できる地域づくりを進めるとともに外国人住民に向けた防災啓発に取り組んでいます。また、区本部の体制強化や区民の防災意識向上のため、津波や風水害に対する知識や避難方法、コンビナートの安全対策などについて周知・啓発を推進しています。

●交通安全と自転車対策の推進

自転車事故の防止に向けて、警察、各種交通安全団体等と連携し、交通安全キャンペーン活動を 行うとともに、幅広い世代を対象に自転車教室などを開催し、交通ルールの遵守及びマナーの実践に ついて、広く啓発活動に取り組んでいます。また、放置自転車の減少に向けて、小学生の絵画を使用 した路面啓発シートの設置などの取組を進めています。

現状と課題

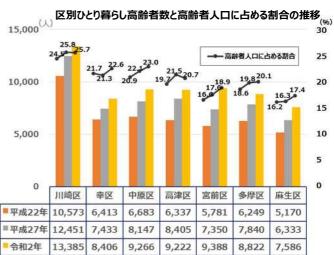
●豊かな歴史・文化資源をはじめ、魅力的なイベントなど多くの地域資源があります。

- 区内には、江戸時代、東海道の宿場として栄えた川崎宿の歴史を伝える「東海道かわさき宿交流館」などの歴史・文化資源や、20 世紀の産業技術の発展を今に伝える近代化遺産・産業文化財などが数多くあります。
- また、「スポーツ・文化総合センター(カルッツかわさき)」や「富士通スタジアム川崎」などの「観る」、「楽しむ」スポーツ関連の施設があるとともに、「かわさき市民祭り」や「かわさきアジアンフェスタ」など、魅力あるイベントが多数開催されています。
- 更なる地域の活性化を図っていくために、区制 50 周年、東海道川崎宿 起立 400 年などを区の魅力発信やイメージアップを図るための好機として、地域資源を活かしたまちづくりや、地域住民の参加による緑化推進の 取組などの環境まちづくりの推進が求められています。

東海道川崎宿起立 400 年記念ロゴ

● 高齢者が市内で最も多く、そのうち4人に1人がひとり暮らしです。

- 区内の高齢者数 52,108 人(令和3 (2021)年9月末現在)、ひとり暮らし高齢者数 13,385 人(令和2 (2020)年国勢調査)及び介護や支援が必要な人の数 11,420 人(令和3 (2021)年4月1日現在)は市内で最も多く、今後も高齢化の進展で増加が見込まれています。
- また、新型コロナウイルス感染症の影響から 外出の自粛傾向が続くなど、閉じこもりによるフレイル(虚弱)予防や孤立化の防止 のため、多様な主体が連携しながら見守り 支え合う地域づくりがより一層求められてい



_____ 資料:国勢調査結果から作成

ることから、引き続き、区の特性に合わせた地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進める必要があります。

●子育て中の若い世代の転入などに伴い、新たな環境で子育てをしている家庭が増えています。

- 核家族や共働き家庭の増加など、子育て家庭を取り 巻く環境が変化しており、区の地域特性として工場跡 地に大規模マンションが建設され、地域とのつながりが 希薄になるなど、慣れない環境での育児や、子育ての 孤立化に悩む保護者が増えているほか、ひとり親家庭 の数が 1,497 世帯(令和 2 (2020) 年国勢調 査)と市内で最も多いことなどから、子どもや子育て家 庭を地域で支える環境づくりが求められています。
- また、不登校やひきこもりなど学校生活への適応が困難な子どもや、家庭に対する支援について、子どもに適



子育て支援講座(親子体操)

した社会参加の促しや、それぞれの家庭状況に応じた適切な対応を進めていく必要があります。

●地域特性を踏まえた地域防災力の向上が必要です。

- 首都直下地震・南海トラフ地震等の大規模地震や津波、 台風による洪水・高潮など大規模災害の発生が危惧される 中、令和 2 (2020) 年度区民アンケートにおいて「防災 対策事業」が今後特に力を入れて欲しい事業で最上位と なっています。市内で唯一臨海部を有している立地条件 や、外国人住民が多いなどの区の特性を踏まえた対策を進 めるとともに、地域、関係機関、隣接区を含む行政が連携 して大規模災害に立ち向かう体制の構築や、実践的な訓 練等の実施が求められています。
- また、川崎駅周辺や臨海部には多くの企業や商業施設な どが集積していることから、災害時の帰宅困難者対策の充 実が求められています。



心肺蘇生法の訓練(区総合防災訓練)

● 自転車を利用しやすいまちですが、より安全に自転車を利用するための取組が必要です。

○ 平坦な地形であることから、多くの市民が通勤・通学、買 い物等に自転車を利用しており、特に、川崎駅東口周辺 に自転車利用が集中しています。そのような中で、令和2 (2020) 年中の自転車事故の発生件数は市内で最も 多く、神奈川県の「自転車交通事故多発地域」に指定さ

れています。 新型コロナウイルス感染症の影響による自転車利用者数

自転車事故 死者数 負傷者数 発生件数 川崎区 高津区 156 0 147 139 多摩区 149 0 $\overline{114}$ 中原区 104 0 麻生区 91 86 宮前区 88 83

自転車関係事故発生状況(令和2年中)

資料:神奈川県「市区町村別自転車関係事故発生状況」

82

幸区

の増加も踏まえ、自転車利用者への交通ルール遵守やマ ナー実践の啓発、自転車保険の加入促進、安全で快適な通行環境の整備、放置自転車対策の推 進など、交通事故を減らし、自転車をより安全で快適に利用できるようにするためのより一層の取組が

●外国人住民人口が市内で最も多く、共生の地域をめざす取組が必要です。

○ 区内の外国人住民人口は 15.987 人 (令和3(2021)年12月末現在) と、市内で最も多く、国籍等の多様化が進 んでいることから、外国人住民の子育て世 帯の孤立化の防止や地域での相互理解を 深めるコミュニティ形成に向けた取組が必要 です。また、日本語や日本の生活習慣に 不慣れな子どもや保護者に対する多言語・ 多文化に対応した支援についても、それぞ れの家庭状況に応じた適切な対応を進め ていく必要があります。

求められています。



資料:川崎市「町丁別年齢別人口」

外国人住民に対しては、行政情報に限らず必要とする情報を迅速かつ的確に把握し、機動的に発信 していく取組が必要です。

5 **a**

計画期間の主な取組

地域資源を活かしたまちづくりの推進













- ●区制 50 周年、東海道川崎宿起立 400 年を迎える時機を捉えた区民主体による区の魅力創造・ 発信の取組の推進
- ●区の特性を活かした、市民、企業、行政の連携による生活市民と企業市民の交流の場づくりの推進
- ●スポーツ施設等の地域資源を活用したスポーツによる多文化交流や多世代交流を促す取組の推進

	現状		事業内容・目標			
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6 (2024)	令和7(2025)	
	年度	年度	年度	年度	年度	
地域資源を活かしたまちづくり	●「東海道かわさ	き宿交流館」を拠点	とした歴史・文化を活	かしたまちづくりの推	進	
業		・区制50周年事業と				
		連携した取組の実施				
東海道川崎宿起立400年を迎え	の検討	= \-\+\+\1\14+==+7	U145517-1-4005	1114+111+11+1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-		
る令和5 (2023) 年を見据え、 「東海道かわさき宿交流館」を拠		・果海道川崎佰起立400年及び交流館	・川崎佰起立400年 及び交流館10周年	・川崎宿起立400年		
東海道がわさる伯父流館」を拠 点に、市民活動団体等との連携		10周年に関する取	に関する取組の実施			
により、東海道川崎宿の歴史・文		組の検討	に関する採組の天旭	流拠点としての取組		
化資源を活かした事業を実施し、		利益O2/1英音9		の推進		
魅力あるまちづくりを推進します。						
Elyson or Joy Cheme Or Jo			23年)に向けた基本	的考え方 – 推進ロ-	- ドマップ ― 」	
	に基づく取組の推	The second secon				
To the second se		・ロードマップに基づく	•東海道川崎宿起立			
=東海道川崎宿=	く取組の推進	取組の推進		検討及び検討を踏ま		
			・今後のまちづくりのあ	えた取組の実施		
立			り方の検討			
	民間企業、商品	吉街等との連携による	る東海道川崎宿の歴	史・文化を活かした	まちづくりの推進	
TOKAIDO KAWASAKI SHUKU 400th	•魅力的な街なみつ	がくりに向けた検討と取締	且の推進			
TOTALES ANNASARI SITURE 45541	ロードマップを踏ま	・沿道や多摩川河川				
東海道川崎宿起立400年	えた街なみの検	敷等、ロードマップを				
記念ロゴマーク	討・取組の推進	踏まえた街なみの検				
		討・取組の推進				
	○関連イベントの開	催による賑わいの創出				
	・区制50周年事	・区制50周年事業と				
	業と連動した賑わ	連携した取組の実施				
	いイベントの検討					
	othtiはに伝わるエピ	ソードを活かした魅力発	信の推進			
		・地域に伝わるエピ	inv/jt/進			



地域資源を活かしたまちづくり(大師サマーフェスタ)



三角おにぎりレシピコンテスト 2021 優勝「サッパリおむすび」

発信の推進

・全国大会の検討・全国大会の検討・全国大会の開催

●令和5 (2023) 年の「東海道シンポジウム全国大会」の開催に向けた取組の推進

崎区					
	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
川崎区企業市民交流事業	●「川崎区企業で	市民交流事業推進委	員会」の運営		
区内企業の地域貢献活動の機	委員会の開催:3回	委員会の開催:3回	委員会の開催:3回	委員会の開催:3回	委員会の開催:3回
運を高め、生活市民と企業市民 の交流の場づくりを進めるとともに、 区内に散在する近代化遺産・産 業文化財を活用して区の魅力発	生を対象とした出 前授業の実施:	企業等による中学生 を対象とした出前授 業の実施:7回	企業等による中学生 を対象とした出前授 業の実施:7回	企業等による中学生 を対象とした出前授 業の実施:7回	企業等による中学生 を対象とした出前授 業の実施:7回
信を推進します。	6回 ●「かわさき区のS	宝物」や近代化遺産	・産業文化財を活用	した取組の推進	
	・臨海部ツアーの 実施:2回	・委員会での検討を 踏まえた取組の実施			
		・各種ガイドブックを活 用した取組の実施			
地域・生涯スポーツ振興事業	●富士見公園周	辺施設(カルッツか)	わさき、富士通スタジ	アム川崎など)を活	用したイベント
スポーツ施設等の地域資源を活	の実施 「パワフルかわさき!	区民綱引き大会」の実施	56		
用しながら、さまざまな世代の住民 同士が障害の有無にかかわらず、	開催回数:0回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回

スポーツを通して交流を図り、コミュ ニティ形成につながるよう取組を進 めます。



ボッチャ体験教室

(R1開催回数: 参加チーム:32チー 参加チーム:32チー 参加チーム:32チー 1回、参加チー A以上 A以上 A以上 ム:32チーム)

富士通スタジアム川崎を活用したアメリカンフットボールイベントの区民認知度を高める取組の実施

・区民招待、観戦 区民招待、観戦イベ 区民招待、観戦イベ 区民招待、観戦イベ 区民招待、観戦イベ イベントの実施: ントの実施:2回 ントの実施:2回 ントの実施:2回 ントの実施:2回

○富士見公園周辺施設と連携したパラスポーツ体験イベントの実施

イベントでのパラス イベントでのパラスポー イベントでのパラスポー イベントでのパラスポー イベントでのパラスポー ポーツ体験会の実 ツ体験会の実施: ツ体験会の実施: ツ体験会の実施: ツ体験会の実施: 2回以上 2回以上 2回以上 2回以上

総合型地域スポーツクラブと連携したパラスポーツ体験イベントの実施

カローリング、ボッ カローリング、ボッチャの カローリング、ボッチャの カローリング、ボッチャの カローリング、ボッチャの チャの体験教室の 体験教室の実施回 体験教室の実施回 体験教室の実施回 体験教室の実施回 実施回数:24回 数:24回 数:24回 数:24回 数:24回

広報·広聴事業

多様な媒体を活用しながら行政 情報や地域情報の効果的発信に 取り組むとともに、区制50周年を 機として、区民の区に対する愛着 の醸成を図ります。また、区民の意 見等を区政運営に反映させるた め、区民アンケートを実施します。



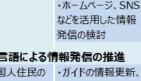
区制50周年記念ロゴマーク

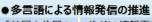
●多様な媒体を活用した行政情報や地域情報の効果的な発信に向けた取組

·外国人住民に向 ·翻訳事業の実施 けた効果的な情報 (随時翻訳)

提供手法の検討・外国人住民の必要 とする情報の把握方 法の検討

・ホームページ、SNS





・「外国人住民の・ガイドの情報更新、 ための川崎区生活 ホームページへの掲載 便利ガイド」の情 など必要な多言語情 報による発信の充実 報更新



ガイド(英語版)

●東海道川崎宿起立400年の取組と連携した区制50周年事業の検討及び実施

·川崎宿起立400 ·川崎宿起立400年 ·川崎宿起立400年 年の取組と連携し の取組と連携した事 の取組と連携した事 た事業の検討 業の検討及び実施 業の実施 (R5事業 終了)

●区民アンケートの実施及び調査結果の各取組への反映の検討

・R2実施結果に ・調査結果の各取組 ・調査結果の各取組 ・那査結果の各取組 ・アンケート実施 基づく各取組への への反映の検討 への反映の検討 への反映の検討及び 反映の検討 次回実施の企画・検 討

区のイメージアップに向けた環境まちづくりの推進

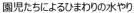


主な取組の方向性

- ●植栽活動や種子・花苗の配布などを通じた区のイメージアップ及び地域活動への参加意識の醸成
- ●川崎駅周辺等における美観向上や環境改善に向けた取組の推進

	現状	*	事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
区の花・区の木等環境改善推 事業 「区の花」「区の木」を活用し、富 士見公園や支所のほか施設等に おける地域住民との緑化活動や、 種子等の配布を通じて、区のイ メージアップや環境改善に向けた 意識の醸成を図ります。	・富士見公園花壇 ・植栽活動の実施 ・種子・花苗の地域 ・種子・花苗の配 布:年2回 ●申請手続きの解	や支所等における地域 継続実施 一 は住民への配布による居・種子・花苗の配布 ・ ・種子・花苗の配布		の花「ひまわり」「ビオラ」	等の植栽活動
崎駅周辺環境改善事業 川崎駅周辺で落書き消し、シール 剥がし、及び市役所通りのぎんな ん採取を実施し、美観向上、環境 改善を図ります。	・川崎駅周辺の落 書き消し、シール剥 がしの実施	D美観向上に向けた 継続実施 一 よる環境改善に向い 継続実施 一			2







ビオラの植栽活動

誰もが安心して、生き生きと暮らせるまちづくりの推進



- ●居場所づくりや地域活動支援等を通じた川崎区らしい地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の 推進
- ●ボランティア等と連携した健康寿命の延伸及び区民が生き生きと暮らせるまちづくりの推進
- 地域住民や関係機関等との連携による地域包括ケア体制や地域における見守り体制の充実

	現状		事業内容・目標			
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025	
	年度	年度	年度	年度	年度	
也域包括ケアシステム推進事業	●地域活動活性	化の支援と多様な媒	体を活用した普及	啓発の実施		
地域活動団体等と連携を図るとと		ステム構築に向けた取組	の推進			
もに、多様な媒体を活用した普及		・地域活動団体同士の交流の推進と情報				
啓発を通して、地域の特性に合わ	お発信 お発信	発信				
せた地域包括ケアシステムの構築	・地域句になって		\ ∆ \#\#			
に取り組みます。		マテムの普及啓発の取組 ・パンフレットやSNS等	.00分在7年			
		を活用した普及啓発				
	及啓発の実施	の実施				
	● 地域情報·二-	-ズの把握・情報共有	及び支え合いの地域	或づくりに向けた取組	の推進	
	・地区カルテの情	アウトリーチ等の情				
		報収集による情報更				
	テを活用した取組	新、地区カルテを活				
「防災でつながる町づくり」を		用した地域課題の共有・解決に向けた取				
テーマにしたワークショップ		組				
	●区役所内部の	推進体制に基づく取	組の推准			
		ステム推進本部会議や地	CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF	ロジェクト会議を中心と	した推進体制に	
	基づく取組の推議					
	・推進体制に基づ	継続実施				
	く取組の推進					
也域の縁側活動推進事業	●縁側活動の普	及啓発及び活動団体	*の支援の推進			
	● 縁側活動の普 ・活動紹介リーフ	及啓発及び活動団体・活動紹介リーフレット・				
地域の緑側活動推進事業 誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の緑側」活		・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒				
誰もが気軽に立ち寄ることのできる	・活動紹介リーフレットの活用	・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒 体を活用した周知				
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活	・活動紹介リーフレットの活用	・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒				
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活	・活動紹介リーフレットの活用・縁側イベントの開	・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒 体を活用した周知				
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活	・活動紹介リーフレットの活用・縁側イベントの開	・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒体を活用した周知・緑側イベントの開催・				
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活	・活動紹介リーフレットの活用・縁側イベントの開催:1回	・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒体を活用した周知・緑側イベントの開催・新規団体の掘り起				
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活	 ・活動紹介リーフレットの活用 ・縁側イベントの開催:1回 ●縁側連絡会の ・連絡会の開催: 	・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒体を活用した周知・緑側イベントの開催・新規団体の掘り起こし 関催による活動団体・活動団体同士の交				
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活	活動紹介リーフレットの活用・緑側イベントの開催:1回・緑側連絡会の	・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒体を活用した周知・緑側イベントの開催・新規団体の掘り起こし 開催による活動団体				
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子 (ハナさんハウス)	 ・活動紹介リーフレットの活用 ・縁側イベントの開催:1回 ●縁側連絡会の・連絡会の開催:4回 	・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒体を活用した周知・緑側イベントの開催・新規団体の掘り起こし 関催による活動団体・活動団体同士の交	同士の交流の促進			
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子 (ハナさんハウス)	 ・活動紹介リーフレットの活用 ・縁側イベントの開催:1回 ●縁側連絡会の・連絡会の開催:4回 ●区民と協働したの「ほほえみ元気体 	・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒体を活用した周知・縁側イベントの開催・ ・新規団体の掘り起こし 開催による活動団体・活動団体・活動団体同士の交流促進 を健康づくりや介護予 操」の普及啓発	同士の交流の促進			
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子 (ハナさんハウス) 建康づくり・介護予防支援事業	 ・活動紹介リーフレットの活用 ・縁側イベントの開催:1回 ●縁側連絡会の・連絡会の開催:4回 ●区民と協働がの「ほほえみ元気体・「ほほえみ元気体・「ほほえみ元気体 	・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒体を活用した周知・縁側イベントの開催・ ・新規団体の掘り起こし 開催による活動団体・ 活動団体同士の交流促進 ・健康づくりや介護予 操」の普及啓発・ ・SNS等の活用及び	同士の交流の促進			
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子(ハナさんハウス) 建康づくり・介護予防支援事業 区民がいつまでも自分らしく、生き	・活動紹介リーフレットの活用 ・緑側イベントの開催:1回 ・縁側連絡会の・連絡会の開催:4回 ・区民と協働した。「ほほえみ元気体・「ほほえみ元気体」」の	・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒体を活用した周知・縁側イベントの開催・ ・新規団体の掘り起こし 関催による活動団体・ 活動団体同士の交流促進 ・健康づくりや介護予 操」の普及啓発 ・SNS等の活用及び DVD・小冊子の配	同士の交流の促進			
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子 (ハナさんハウス) 建康づくり・介護予防支援事業 区民がいつまでも自分らしく、生き 生きとすこやかに過ごせるよう、身	・活動紹介リーフレットの活用 ・緑側イベントの開催:1回 ・緑側連絡会の・連絡会の開催:4回 ・区民と協働した。「ほほえみ元気体・「ほほえみ元気体・「ほほえみ元気体操(立位編)」の映像制作及び	・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒体を活用した周知・縁側イベントの開催・ ・新規団体の掘り起こし 開催による活動団体・ ・活動団体同士の交流促進 ・健康づくりや介護予 操」の普及啓発・ ・SNS等の活用及び	同士の交流の促進			
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子 (ハナさんハウス) 建康づくり・介護予防支援事業 区民がいつまでも自分らしく、生き 生きとすこやかに過ごせるよう、身 近な場所での区民の健康増進活	・活動紹介リーフレットの活用 ・縁側イベントの開催:1回 ・縁側連絡会の・連絡会の開催:4回 ・区民と協働したのではほえみ元気体・「ほほえみ元気体・「ほほえみ元気体操(立位編)」の映像制作及びYouTubeによる配信を活用した普及	・活動紹介リーフレットや動画等の広報媒体を活用した周知・緑側イベントの開催・新規団体の掘り起こし 開催による活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動の普及啓発・SNS等の活用及び・DVD・小冊子の配布、健康づくりボランティアによる体操の普	同士の交流の促進			
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子(ハナさんハウス) 建康づくり・介護予防支援事業 区民がいつまでも自分らしく、生き 生きとすこやかに過ごせるよう、身 近な場所での区民の健康増進活	・活動紹介リーフレットの活用 ・緑側イベントの開催:1回 ・縁側連絡会の・連絡会の開催:4回 ・区民と協働した。「ほほえみ元気体・「ほほえみ元気体操(立位編)」の映像制作及びYouTubeによる配	・活動紹介リーフレットや動画等の広報媒体を活用した周知・緑側イベントの開催・新規団体の掘り起こし 開催による活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動の普及啓発・SNS等の活用及び・DVD・小冊子の配布、健康づくりボランティアによる体操の普	同士の交流の促進			
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子 (ハナさんハウス) 建康づくり・介護予防支援事業 区民がいつまでも自分らしく、生き 生きとすこやかに過ごせるよう、身 近な場所での区民の健康増進活動を推進します。	・活動紹介リーフレットの活用 ・緑側イベントの開催:1回 ・緑側連絡会の・連絡会の開催:4回 ・区民と協働が。「ほほえみ元気体・「ほほえみ元気体・「ほほえみ元気体」」の映像制作及びYouTubeによる配信を活用した普及啓発。多様なツールの作	・活動紹介リーフレット ・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒体を活用した周知・ ・縁側イベントの開催・ ・新規団体の掘り起こし 関催による活動団体・ ・活動団体同士の交流促進・ ・健康づくりや介護予 操」の普及啓発・ ・SNS等の活用及び DVD・小冊子の配布、健康づくりボランティアによる体操の普及啓発	同士の交流の促進 防に向けた取組の推		とふろん太くんの共	
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子 (ハナさんハウス) 建康づくり・介護予防支援事業 区民がいつまでも自分らしく、生き 生きとすこやかに過ごせるよう、身 近な場所での区民の健康増進活動を推進します。	・活動紹介リーフレットの活用 ・緑側イベントの開催:1回 ・緑側連絡会の・連絡会の開催:4回 ・区民と協・気体・「ほほえみ元気体・「ほほえみ元気体操(立位編)」の映像制作及びYouTubeによる配信を活用した普及啓発・多様なツールの作・シニアのためのお	・活動紹介リーフレットや動画等の広報媒体を活用した周知・緑側イベントの開催・新規団体の掘り起こし 開催による活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動団体の普及啓発・SNS等の活用及び・DVD・小冊子の配布、健康づくりボランティアによる体操の普及啓発・成・活用による健康づく・情報誌の活用・改・	同士の交流の促進 防に向けた取組の推	金進	とふろん太くんの共	
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子 (ハナさんハウス) 建康づくり・介護予防支援事業 区民がいつまでも自分らしく、生き 生きとすこやかに過ごせるよう、身 近な場所での区民の健康増進活動を推進します。	・活動紹介リーフレットの活用 ・緑側イベントの開催:1回 ・緑側連絡会の・連絡会の開催:4回 ・区民と協の気体・「ほほえみ元気体・「ほほえみ元気体操(立位編)」の映像制作及びYouTubeによる配信を発・多様なツールの作・シニアのためのお出かけ情報誌の活	・活動紹介リーフレットや動画等の広報媒体を活用した周知・緑側イベントの開催・新規団体の掘り起こし 開催による活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動団体の普及啓発・SNS等の活用及び・DVD・小冊子の配布、健康づくりボランティアによる体操の普及啓発・成・活用による健康づく・情報誌の活用・改・	同士の交流の促進 防に向けた取組の推	金進	とふろん太くんの共	
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子 (ハナさんハウス) 建康づくり・介護予防支援事業 区民がいつまでも自分らしく、生き 生きとすこやかに過ごせるよう、身 近な場所での区民の健康増進活動を推進します。	・活動紹介リーフレットの活用 ・緑側イベントの開催:1回 ・緑側連絡会の・連絡会の開催:4回 ・区民と協の気体・「ほほえみ元気体操(立位編)」の映像制作及びYouTubeによる配信を発・シニアのためのお出かけ情報誌の活用	・活動紹介リーフレットや動画等の広報媒体を活用した周知・緑側イベントの開催・新規団体の掘り起こし 開催による活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動団体の普及啓発・SNS等の活用及び・DVD・小冊子の配布、健康づくりボランティアによる体操の普及啓発・成・活用による健康づく・情報誌の活用・改・	同士の交流の促進 防に向けた取組の推	金進	とふろん太くんの共	
地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子 (ハナさんハウス) 建康づくり・介護予防支援事業 区民がいつまでも自分らしく、生き生きとすこやかに過ごせるよう、身近な場所での区民の健康増進活動を推進します。	・活動紹介リーフレットの活用 ・緑側イベントの開催:1回 ・緑側連絡会の・連絡会の開催:4回 ・区民と協の気体・「ほほえみ元気体操(立位編)」の映像制作及びYouTubeによる配信を発・シニアのためのお出かけ情報誌の活用	・活動紹介リーフレットや動画等の広報媒体を活用した周知・緑側イベントの開催・新規団体の掘り起こし 開催による活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動団体・活動で発達・健康づくりや介護予操」の普及啓発・SNS等の活用及び・DVD・小冊子の配布、健康づくりボランティアによる体操の普及啓発・活用による健康づく・情報誌の活用・改訂	同士の交流の促進 防に向けた取組の推	金進	とふろん太くんの共	
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子 (ハナさんハウス) 建康づくり・介護予防支援事業 区民がいつまでも自分らしく、生き 生きとすこやかに過ごせるよう、身 近な場所での区民の健康増進活動を推進します。	・活動紹介リーフレットの活用 ・緑側イベントの開催:1回 ・緑側イベントの開催:1回 ・緑側連絡会の・連絡会の・連絡会の・連絡会の・連絡会のはほほえみみに気がないではほぼれるが、「ほほえなか編)でははながでは、できるでは、できるでは、できるでは、できるできるできるできる。多様なりである。多様なりである。多様なりである。多様なりである。多様なりである。というでは、できるできるできる。多様なりである。というでは、できるできるできる。	・活動紹介リーフレット や新知の広報媒体を活用した周知・ ・縁側イベントの開催・ ・新規団体の掘り起こし 開催による活動団体・ 活動団体・活動団体・ 活動団体・活動団体・ 活動団体・ 活動団体・ ・活動・ でのとの活子の配 ・、のとの活子の配 ・、のとの、ではよる健康で、 ・情報誌の活用・改善 による健康で、 ・情報誌の活用・ でのノートの活用を通 じた地域でのアドバン	同士の交流の促進 防に向けた取組の推	金進	とふろん太くんの共	
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子 (ハナさんハウス) 建康づくり・介護予防支援事業 区民がいつまでも自分らしく、生き 生きとすこやかに過ごせるよう、身近な場所での区民の健康増進活動を推進します。	・活動紹介リーフレットの活用 ・緑側イベントの開催:1回 ・緑側イベントの開催:1回 ・緑側連絡会の・連絡会の・連絡機能:4回 ・原ははえるみにはは、からにはは、ながでは、ははないでである。 ・シニア情報は、からでいるでいる。では、からでは、からでは、からでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒体を活動ロケーストの開催 ・新規団体の掘り起こし 開催による活動団体・ 活動団体・活動団体・活動団体・ 活動団体・活動団体・ 活動団体・ 活動団体・ 活動団体・ 活動団体・ 活動団体・ ・活動・ でのどの形用の配布、健康づくりボランティアによる健康で、 ・情報誌の活用・改善 には、 ・情報誌の活用・改善 には、 ・活動通じた地域でのアドバン ス・ケア・ブランニングの	同士の交流の促進 防に向けた取組の推	金進	とふろん太くんの共	
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子 (ハナさんハウス) 建康づくり・介護予防支援事業 区民がいつまでも自分らしく、生き 生きとすこやかに過ごせるよう、身近な場所での区民の健康増進活動を推進します。	・活動紹介リーフレットの活用 ・縁側イベントの開催:1回 ・縁側・連絡会の・連絡会の・連絡会の・連絡会の・連絡をはないでははは、ないでは、はは、ないでは、はは、ないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・活動紹介リーフレット や動語解介リーフレット や動画等の広報媒体を制知・緑側イベントの開催・ ・新規団体の掘り起こし 開催による活動団体・ 活動団体・活動団体・ 活動団体・活動団体・ 活動での一角である。 でのアドバンス・ケア・プランニングの 普及といっでのアドバンス・ケア・プランニングの 普及といっでのアドバンス・ケア・プランニングの 普及といっでのアドバンス・ケア・プランニングの 普及	同士の交流の促進 防に向けた取組の推	金進	とふろん太くんの共	
誰もが気軽に立ち寄ることのできる 地域の憩いの場「地域の縁側」活動を推進します。 作品制作の様子 (ハナさんハウス) 建康づくり・介護予防支援事業 区民がいつまでも自分らしく、生き生きとすこやかに過ごせるよう、身近な場所での区民の健康増進活動を推進します。	・活動紹介リーフレットの活用 ・縁側イベントの開催:1回 ・縁側・連絡会の・連絡会の・連絡会の・連絡会の・ほほえみみに気がである。 ・「ほほえみみに気がない。」のでは、「ははないでは、では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、	・活動紹介リーフレット や動画等の広報媒体を活動ロケーストの開催 ・新規団体の掘り起こし 開催による活動団体・ 活動団体・活動団体・活動団体・ 活動団体・活動団体・ 活動団体・ 活動団体・ 活動団体・ 活動団体・ 活動団体・ ・活動・ でのどの形用の配布、健康づくりボランティアによる健康で、 ・情報誌の活用・改善 には、 ・情報誌の活用・改善 には、 ・活動通じた地域でのアドバン ス・ケア・ブランニングの	同士の交流の促進 防に向けた取組の推	金進	とふろん太くんの共	

健康づくり・介護予防のための情報誌 (お出かけ情報マップと私の人生ノート)

地域における子ども・子育て支援の推進



主な取組の方向性

- ●関係機関等と協働・連携した地域全体で子育てを支援する総合的な子ども支援の推進
- ●学校生活や日本語・日本の生活習慣への適応に困難を抱える子どもやその保護者への支援の推進

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和 5 (2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
こども総合支援ネットワーク環境整備事業 子育て支援関係機関のネットワークを強化し、地域における子育で支援を効果的に行います。	●地域における效 ・こども総合支援 ネットワーク関係会 議等の開催 全体会議:2回 課題別部会:	リ果的な子育て支援 継続実施 一	の実施に向けた子育	て支援関係団体間の	D連携促進 一
川崎区子ども支援機関通訳・翻訳支援事業 日本語に不慣れな子どもや保護者が孤立することを防ぐため、手続きや相談等の通訳・翻訳を行います。	学校や保育園等が 通訳・翻訳件数:238件	れな家庭に向けて学わらの申請に基づく通記・通訳・翻訳の実施・元アの育成を目的とした。		申請に基づく通訳・種	別訳の実施
川崎区思春期問題対策事業 学校生活への適応が困難な児童 等を支援する「こどもサポート旭 町」を運営し、不登校やひきこもり の子どもに適した社会参加の促し や、保護者への支援を行います。	・「こどもサポート旭 町」の開所:週4 日	継続実施ー	支援の実施及び相談)保護者等に向けた3		→ → →
日本語に不慣れな小中学生学 習支援事業 外国につながる小・中学生が学校 生活や地域生活に適応し、健全 で安心な生活が送れるよう学習支 援を行います。	●外国につながる ・小学生教室の実施:週1回 ・中学生教室の実施:週2回	1,21,00 (3)	学習支援の実施		→ →



思春期対策問題対策部会 (こども総合支援ネットワーク会議)

安全・安心なまちづくりに向けた地域防災力の向上



主な取組の方向性

- ●川崎区総合防災訓練をはじめとした実践的な訓練の実施を通じた災害対応力の向上
- 自主防災組織等との連携による感染症対策など社会情勢に応じた避難所開設・運営訓練の実施
- ●防災訓練・講座の実施による外国人住民の防災意識の向上

				•	
	現状		事業内	容・目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
地域防災力向上事業	●地域防災力向	上に向けた取組			
自主防災組織の災害対応力向	区総合防災訓練 の実施:2回(大	区総合防災訓練の 実施:2回	区総合防災訓練の 実施:2回	区総合防災訓練の 実施:2回	区総合防災訓練の 実施:2回
上及び区民の防災意識の向上を 図るとともに、社会情勢に応じた対	島小・川中島中)	7,33 : 14),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	×,,,,, , =	×,,,,, , =
策を講じた訓練等を実施します。	●外国人住民の	防災意識向上に向け	けた取組		
	・外国人向け防災	継続実施			\rightarrow
	講座・訓練の実				
	施:3回				
	●感染症対策な	ど、社会情勢の変化	に応じた避難所開設	・運営訓練の実施	
	・感染症対策を講	継続実施			\rightarrow
	じた避難所運営会				
	議・訓練の支援				
川崎区危機管理対策事業	●区本部の災害	対応力向上に向けた	·取組		
	・職員向け研修の		- 1441		\longrightarrow
地震・風水害に対応するため、区 本部体制の更なる充実強化を図	実施:3回	12702 (32			
ります。また、区民・事業者・行政	●災害に強いまち	づくりの推進に向け	た取組		
が連携を深め災害に強いまちづくり	·川崎区危機管理	継続実施			\longrightarrow
を推進します。	地域協議会の開				
	催:3回				



多言語資料を使った防災講座(ふれあい館)



交通安全と自転車対策の推進



- ●警察、各種交通団体等との連携による自転車事故の防止に向けた啓発活動の取組の推進
- ●関係団体との連携による自転車放置禁止等の啓発及び放置自転車の撤去活動等の取組の推進

	現状		事業内	容・目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
自転車マナーアップ事業	▲幅广八卅代友	対象とした白転車車	故の防止に向けた取	如	
		ト方式の交通安全教室		押五	
自転車利用者への交通ルールの		・交通安全教室の実			
遵守、マナー向上と交通事故防		施			
止に向けて、各種キャンペーンや交 通安全教室などを実施します。	o小学生, 喜龄者,	PTA等を対象とした交	通安全教室		
通女主教主体とで天地しより。	開催回数:76回	and the second s	開催回数:	開催回数:	開催回数:
	MIECIAX I 7 OCI	80回以上	80回以上	80回以上	80回以上
	。川崎区子ども自動	· 声十合			
	R1開催回数:	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回
	10	MIECIAN . ICI	MIECISK I I	MIECIAN . IL	MIELISA . ILI
A 0 0	参加者数:13人	参加者数:24人以	参加者数:24人以	参加者数:24人以	参加者数:24人
		上	上	上	上
スケアードストレイト方式の	●交通安全関係	団体と連携した啓発	活動の実施		
交通安全教室	•交通安全関連団				
	体と連携した街頭				
	啓発キャンペーンの				
	実施				
崎区新入学児童「交通安全	● 「交诵安全絵(カコンクール の実施	を通じた交通安全意	識の醸成	
会のコンクール」事業	・コンクールの実施	継続実施		IIII TO IGETA	
ないコンソール」手来	による児童・保護				
新入学児童を対象とした「交通安	者等の交通安全				
全絵のコンクール」を通じて、地	意識の醸成	20.00			
域、家庭、学校が一体で、子ども	・交通事業者等と	継続実施			
を交通事故から守るという意識の 向上を図ります。	の連携による応募作品の展示				
山工を図りよう。	・入選作品をメイン	継続実施			
	デザインとした広報	#EDDEX.0B			
	啓発物の作成・配				
	布				
川崎区放置自転車等対策事業	。白起声步黑时	: L/- ch/+ t- Ho 40			
川崎区以但日和半守对宋尹未			トの設置による放置防」	F	
自転車の放置禁止や駐輪場利	新規設置:	・既設シートの計画		L.	
用などの啓発活動、放置自転車	1か所	的更新または新設:			
の撤去活動及び小学生絵画の路 面設置などによる自転車放置防		1か所			
止活動に取り組み、安全安心で	●市民ボランティ	ア団体等と連携した	自転車マナー啓発活	動	
住みよい生活環境への改善に努				 禁止等啓発活動の実施	包
めます。	・啓発活動の実施	継続実施 -	Web - State State - Web State Award		
	・自転車マナーアッ	継続実施			
	プキャンペーンの実				
	施				
		撤去活動の推進			
		双置自転車の撤去活動	1		
	・鉄道駅周辺自転	継続実施			
	車等放置禁止区域内での撤去活				
	動の実施				
	20-22-016				
		FT STEE			
68 4000		图 图			
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	I II I		440
	0		THE PER		
了一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个					

小学生の絵画作品を加工した路面啓発シートを設置

(A) 自転車は駐輪場へ

地域の課題解決に向けたその他の取組

	取			現状		事業内容·目標		
区名	組の柱	事業名	概要	平成30~令和3 (2018~2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
) W		. 也域資源を活かしたまち	づくりの推准					
			区民に気軽に音楽を楽しんでもら う機会を設けることで、区のイメー ジアップを図り、「音楽のまち・かわ さき」を推進します。	●「かわさき区ビオラコ	ンサート」(市役所口い	ご一での定例コンサート	、商業施設コンサートが	など)の実施
ı		市民活動支援事業	市民活動に必要な資源である活動の場として「市民活動コーナー」 を区内3か所に設置し、市民活動団体の活動を支援します。	川崎区市民活動コ市民活動活性化の	ーナー(教育文化会館 ための講座等の実施	官・大師支所・田島支戸	所)の運営	
		ウェルカム川崎区事業	区の魅力や生活に役立つ情報を 掲載した区のガイドマップを転入 者に配布し、転入者の生活の利 便性向上や地域への愛着の醸成 を図る取組を推進します。	●川崎区ガイドマップ	の作成・配布			
	Σ	区のイメージアップに向け	た環境まちづくりの推進					
ı		臨海部環境改善事業	臨海部におけるごみのポイ捨て防止対策を実施し、道路環境の改善・向上を図ります。	●東扇島地区等にお	ける道路環境の改善に	向けた取組の実施		
	計	誰もが安心して、生き生	きと暮らせるまちづくりの推進					
			小学生等の居場所づくりのために、教育文化会館や福祉施設等において、市民講師等の地域人材を活用した講座等を開催し、地域の大人との世代間交流を促進します。	●夏休み、冬休みなど	長期休業中の小学生	等の居場所づくり及び	世代間交流の促進	
ı		地域の保健福祉情報 発信事業	保健、福祉、子育てに関する情報をチラシ・ホームページ等を活用して、効果的に区民に発信します。	●川崎区地域保健福	祉かわら版 (ぽかぽか	 通信 の発行及びホ	ームページの運営	
ı		高齢者支援普及啓発 事業	認知症の早期診断・早期対応に 向けた普及啓発や「地域包括支 援センター」などの身近な相談機 関の区民への周知を推進します。	●啓発グッズ等を活用	日した効果的な普及啓	発の推進		
	地	地域における子ども・子 育	で支援の推進					
ı		川崎区こども情報発 信事業	子育て中の保護者向けに、子育 て支援や相談窓口の情報を発信 します。	●川崎区子育でガイト ●区役所庁舎内の子	ド「さんぽみち」の発行 育て情報コーナーの運	當		
		かわさき区子育てフェ スタ事業	子育てしやすい地域づくりをめざして、多世代にわたる区民の交流 や子育て支援団体が情報を発信 できるイベントを実施します。	●「かわさき区子育て	フェスタ」の開催			
		待機児童対策強化事 業	保護者のニーズを十分に把握し、 状況に応じた多様な保育施設の 情報提供を行うことにより、待機 児童解消に向けた取組を進めま す。	●「川崎区周辺子育 ●きめ細やかな保育P	て施設マップ(日本語版 所等入所相談の実施	귳・外国語版)」の作成		

			現状		事業内	容·目標	
	事業名	概要	平成30~令和3 (2018~2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025 年度
×		- 1000					
3	を通安全と自転車対策(の推進					T
	安全・安心まちづくり 推進事業	地域住民、事業者、関係団体、 行政が連携して防犯、防火、交 通安全の対策に取り組み、安全 で安心なまちづくりを推進します。		体、行政が一体となっ; 「くりに向けた啓発活動	i	t e	
Σ	区役所サービス向上事業	ŧ					
	区民サービス向上事 業	「区役所サービス向上指針」に基づき、区職員の人材育成、窓口環境の整備等を進め、より質の高い区役所サービスの提供に取り組みます。		会や職員研修の開催に け 「V通訳システム等の活	I		
坦	地域課題対応事業その	他事業					<u>'</u>
	いきいきかわさき区提 案事業	地域課題の解決に向けて、市民 活動団体等から事業提案を募集 し、区と提案団体が互いの特性を 活かしながら、協働による取組を 推進します。	● 市民提案型協働事	事業の募集、選定、実 放			
Σ	区の新たな課題即応事	**************************************					·
	区の新たな課題即応 事業	年度途中に新たに発生する課題 に、適切かつ迅速に対応する事 業を実施します。	●新たに発生する課題	国に対する、適切かつ迂	 弘速な対応		



川崎区における特徴あるまちづくりの取組

川崎区で展開されている市民生活を支える事業のうち、区計画に記載されている事業(地域課題対応事業) 以外の事業に関連した、区の特徴的な取組を紹介します。

●川崎区役所・支所機能再編の取組の推進

川崎区では、大師地区・田島地区の支所・地区健康福祉ステーションの申請・届出業務を川崎区役所に一元化(機能再編)する取組を進めています。令和5年(2023)度からは、3管区に分散している現在の機能・体制を再編し、複数の専門職による多職種連携体制の強化や行政サービスの質・量の向上を図ります。支所庁舎については、いこいの家やこども文化センターと複合化した新施設の整備に取り組んでおり、共に支え合う地域づくりを推進する身近な地域の拠点として令和9(2027)年度からの供用開始をめざします。

【政策体系別計画 466P:施策 5-1-3 区役所改革推進事業】

【政策体系別計画 467P:施策 5-1-3 区役所等庁舎整備推進事業】

【川崎区役所における関連した取組】

○ 新しい支所では、「人と人とをつなげてコーディネートする支所」、「地域の新しいチャレンジを後押しする支所」、「子どもたちが安心できる居場所を創出する支所」という3つのコンセプトの実現をめざしていきます。令和3(2021)年度からは、市民が主体となる活動の創出支援に取り組んでおり、学校に行きづらい子どもが過ごすための居場所づくりや、地域の若者先生によるシニアを対象としたスマホ教室の活動などが生まれました。引き続



3つのコンセプトを分かりやすく描くコンセプトブック

き、市民のやりたいことを地域課題の解決につなげられるよう、活動の試行にチャレンジしていきます。

外国人市民施策推進事業

本市には現在約 44,000 人の外国人市民が暮らしており、今後もさらに増加が見込まれる中、国籍や民族、文化の違いを豊かさとして活かし、自立した市民として共に暮らすことができる「多文化共生社会」の実現をめざした取組を進めています。今後も、多様な文化的背景を持つ外国人市民が、地域の一員として共に心豊かに暮らしていける地域社会をつくるため、外国人市民を取り巻く環境の変化を的確に捉えながら、多文化共生社会の実現に向けた取組を推進していきます。

【政策体系別計画 472P:施策 5-2-1 外国人市民施策推進事業】

【川崎区役所における関連した取組】

○ 市内外国人住民人口の約4割が居住する川崎区。社会状況の変化を踏まえつつ、引き続き、総合案内窓口での多言語対応をはじめ、外国人住民に向けた防災講座・訓練の実施や外国人世帯への子育て支援を通じた地域づくり、さらには必要な情報の多言語化やSNSの活用などにより効果的な広報事業を展開するとともに、外国コミュニティと地域とのつながりを意識しながら"まちをよくする"



地域包括ケアシステム推進の取組 (親子で参加の地域づくりワークショップ)

相談機能・コーディネート機能を持った地域の活動団体等の連携による川崎区 らしいソーシャルデザインセンターの検討を進め、暮らしやすい共生の地域の実現 に向けて取り組んでいきます。

> 外国料理の調理映像の撮影の様子 (区提案事業×SDC 実証プロジェクト)





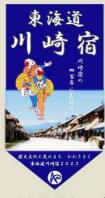
"それいいね"が広がるまちづくりに向けて

川崎区で展開されている事業のうち、地域課題の解決に向けて、市民や団体等と協働・連携して行っている特徴的な取組を紹介します。

● "川崎宿起立 400 年"を契機として、地域が一体となったまちづくり!

- 歴史と地域資源の再確認を通じて、地域への愛着と誇りを育む取組 -

- 現在の川崎区を縦断する旧東海道に、かつて江戸時代に整備された「川崎宿」。 令和5 (2023) 年に起立 400 年を迎えることを契機に、地域の歩みと成長を 再確認し地域への愛着と誇りを育もうと、町内会・自治会や商店街、市民活動 団体、企業等で構成された「川崎宿起立 400 年プロジェクト推進会議」が発足 し、400 年記念ロゴマークの制定や、メディアや地元団体への認知や露出の拡大 を図りながら、地域が主体となって、これまで以上に楽しめる街なみづくりなどの検 討を進めています。
- これに先立ち区制 50 周年を迎える令和4 (2022) 年度には、区の歴史の振り返りなどを通じて地域への愛着と誇りを育むような記録映像の制作・発信、展示等の事業に取り組むことで、川崎宿起立 400 年に向けた機運を醸成し、連続的な事業展開を進めます。
- 令和5 (2023) 年度は、記念シンポジウムやイベントなどを通じ、地域全体で 東海道川崎宿起立 400 年を発信するとともに、令和6 (2024) 年度以降 も、地域が主体的に事業を行えるよう、東海道かわさき宿交流館を核とした取組 を進めます。



東海道川崎宿フラッグ



賑わいづくりの拠点 「東海道かわさき宿交流館」

● 地域と企業が手をつなぎ、子どもたちを交通事故から守ろう!

- 新入学児童を対象とした絵のコンクールを通じて、交通安全意識の向上を図る取組 -

- 新入学児童の交通事故件数は、幼児に比べて大幅に増加することから、事故を少しでも減らすため、 区内の新入学児童を対象に「交通安全絵のコンクール」を実施し、学校や家庭で交通安全の絵を描いてもらうことで、交通安全に対する意識を高める取組を進めています。
- 絵の選考から表彰式の開催までを、交通安全対策協議会などの各種団体が担っています。入賞した児童、保護者を招待する表彰式は、区内高校の放送部による司会進行や吹奏楽部の演奏など、手作り感あふれる和やかなものとなっています。また、区内事業者からは、入選作品を施したラッピングトラックの制作や区内での走行、ギャラリーバスでの作品展示といった協力を得るなど、地域や企業等が一体となって交通安全意識の向上に努めています。

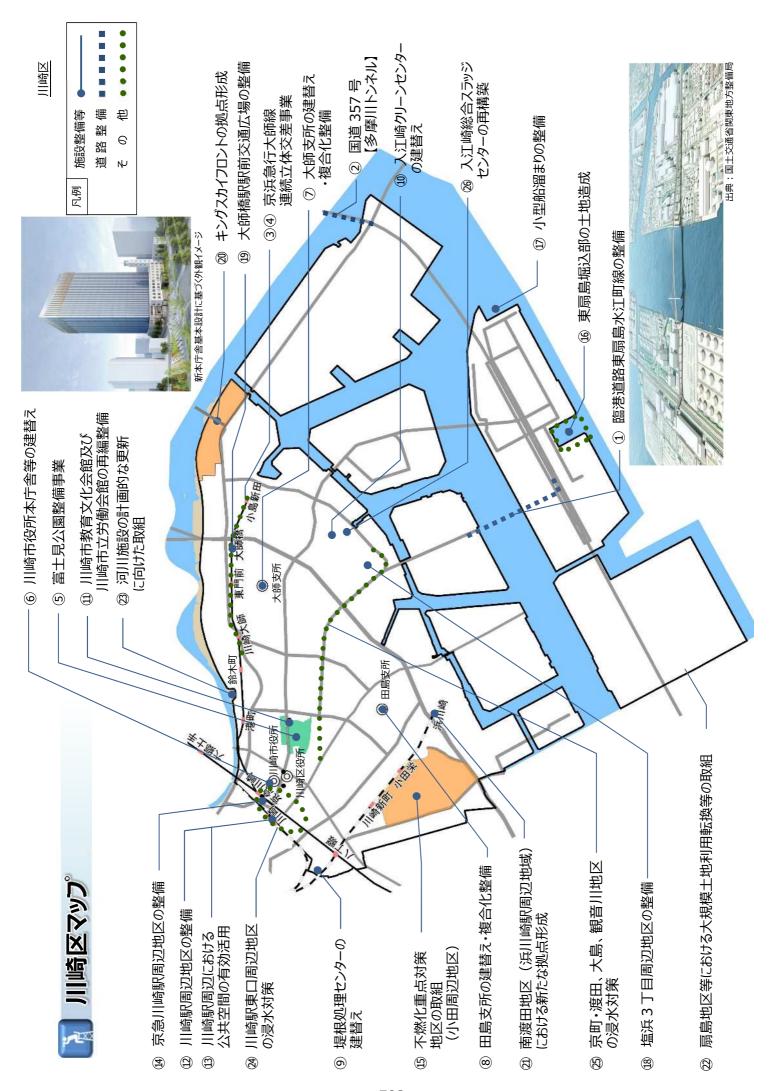


作品を載せてまちを走行するラッピングトラック

○ 子どもたち自身が交通ルールやマナーを理解して実践するだけでなく、見守る側の大人たちへの啓発もとりわけ大切であるため、今後も引き続き、保護者、学校、企業、団体などの関係者、関係機関を増やして、更なる波及効果の獲得に取り組みます。

★市民の想い、メッセージ

- (川崎宿 400 年が) 市外、市内の方それぞれの視点から川崎の良さを改めて感じられる機会となるとよい。 (川崎宿起立 400 年広報プロジェクト推進会議会員)
- 交通事故により子どもたちの夢が断たれることがあってはいけない。(絵のコンクール区民実行委員)



応表
女
720
737
N 0



名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
臨港道路東扇島水江町線の 整備	東扇島~水江町間を結ぶ臨 港交通施設の整備	R5(2023) 年度完成	Θ
国道 357 号[多摩 トンネル]	多摩川トンネルの整備	事業推進	8
京浜急行大師線連続立体 六半電光	1期①区間 (小島新田駅 東門前駅)の連続立体交 差化	R5(2023) 年度完成	<u>©</u>
X/A·李·朱	1期②区間(東門前駅〜 川崎大師駅 鈴木町駅すり 付け)の連続立体交差化	事業推進	(4)
富士見公園整備事業	公園の再編整備	R9(2027) 年度完了予定	6

訇
è
4

名	事業概要	事業予定	MAP 番号
川崎市役所本庁舎等の 建替え	災害対策活動の中枢拠点としての 耐震性能を確保するための建替え	R4(2022) 年度庁舎 完成	©
大師支所の建替え ・複合化整備	身近な地域の拠点として、支所をこど + サルセンカーサーン・シャッキア	R9(2027) 在時併用	©
田島支所の建替え ・複合化整備	o文(Licンy)、 る人いている。 等しの複合施設に建替え	计 反读用 開始予定	®
堤根処理センターの建 替え	廃棄物処理施設の建替工事	R7(2025) 年度着手	6
入江崎クリーンセンター の建替え	し尿圧送施設の建替工事	事業推進	(2)
川崎市教育文化会館及 び川崎市立労働会館の 再編整備	公共施設の再編整備の実施	R6(2024) 年度供用 開始	

川崎駅周辺地区の整備	東口地区の事業化に向けた取組の 推進	事業推進	(2)
川崎駅周辺における 公共空間の有効活用	有効活用による賑わいの創出等の 推進	事業推進	(2)
京急川崎駅周辺地区の 整備	京急川崎駅西口地区の事業着手 等	R11(2029) 年度完了予定	(<u>4</u>)
不燃化重点対策地区の 取組(小田周辺地区)	老朽木造住宅等が密集している 小田周辺地区における災害に強い 住環境形成の推進	事業推進	9
東扇島堀込部の土地 造成	川崎港臨港地区東扇島堀込部の 公有水面を埋め立て、土地を造成	R9(2027) 年度完了予定	99
小型船溜まりの整備	川崎港利用コストの低減等に向けた 小型船溜まりの整備	R5(2023) 年度完成	(5)
塩浜3丁目周辺地区の 整備	臨海部の活性化に向けた、交通レス ト機能等の導入や地区の価値を高 める基盤整備	事業推進	(2)
大師橋駅駅前交通広場 の整備	臨海部の新たな交通ネットワーク形成に向けた、交通拠点機能や地域の利便性向上に寄与する施設整備	R6(2024) 年度完成	9
キングスカイフロントの 拠点形成	ライフサイエンス・環境分野の研究 開発拠点の形成	事業推進	8
南渡田地区(浜川崎駅 周辺地域)における 新たな拠点形成	臨海部の機能転換を牽引する 新産業創出拠点の形成に向けた 取組の推進	事業推進	8
扇島地区等における大 規模土地利用転換等の 取組	市民サービスの向上や社会課題の解決に資する土地利用転換等の 取組の推進	事業推進	8
河川施設の計画的な 更新に向けた取組	河港水門の取扱いと水門周辺の土 地利用の検討	事業推進	8
崎駅東口周辺地区の 浸水対策	下水道施設の整備	事業推進	②
京町・渡田、大島、観音 川地区の浸水対策	入江崎統合幹線の整備	事業推進	8
入江崎総合スラッジセン ターの再構築	入江崎総合スラッジセンター 1 系焼却炉の再構築	R8(2026) 年度完成予定	8

地域の課題解決に向けた取組の一覧

事業名 (〇は本計画で「計画期間の主な取組」として掲載している事業)

地域資源を活かしたまちづく	りの推進
0	地域資源を活かしたまちづくり事業
0	川崎区企業市民交流事業
0	地域・生涯スポーツ振興事業
0	広報·広聴事業
	「音楽のまち・かわさき」推進事業
	市民活動支援事業
	ウェルカム川崎区事業
区のイメージアップに向けた斑	環境まちづくりの推進
0	区の花・区の木等環境改善推進事業
0	川崎駅周辺環境改善事業
	臨海部環境改善事業
誰もが安心して、生き生きと暮	らせるまちづくりの推進
0	地域包括ケアシステム推進事業
0	地域の縁側活動推進事業
0	健康づくり・介護予防支援事業
	川崎区子ども地域交流・居場所促進事業
	地域の保健福祉情報発信事業
	高齢者支援普及啓発事業
地域における子ども・子育てす	を援の推進
0	こども総合支援ネットワーク環境整備事業
0	川崎区子ども支援機関通訳・翻訳支援事業
0	川崎区思春期問題対策事業
0	日本語に不慣れな小中学生学習支援事業
	川崎区こども情報発信事業
	かわさき区子育てフェスタ事業
	待機児童対策強化事業
安全・安心なまちづくりに向け	た地域防災力の向上
0	地域防災力向上事業
0	川崎区危機管理対策事業
交通安全と自転車対策の推進	
0	自転車マナーアップ事業
0	川崎区新入学児童「交通安全絵のコンクール」事業
0	川崎区放置自転車等対策事業
	安全・安心まちづくり推進事業
区役所サービス向上事業	
	区民サービス向上事業
地域課題対応その他事業	
	いきいきかわさき区提案事業
区の新たな課題即応事業	
	区の新たな課題即応事業





■人口 171,272人 ■面積 10.09 km²

■世帯数 80,522 世帯 (令和4(2022)年1月1日現在)





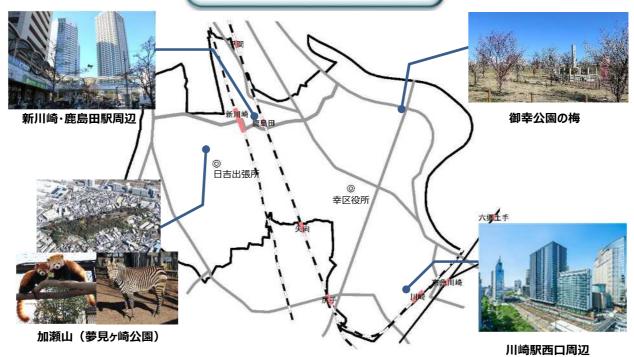




幸区の概要

- 幸区は、市の南東部に位置し、市内で最も面積が小さく人口密度が2番目に高い区です。区域は、 北から東に流れる多摩川を挟んで東京都大田区と、西から南に流れる矢上川と鶴見川を挟んで横浜 市鶴見区、港北区と隣接しています。区の中央にはJR 南武線と横須賀線が南北に通っており、JR 川 崎、尻手、鹿島田、新川崎の4駅が立地するほか、国道1号と国道409号が交差するなど、交通利 便性の高さが大きな特徴です。
- 区の名前は、明治 17 (1884) 年に明治天皇が観梅のため行幸したことに由来する「御幸村」の村 名を継承し、「幸多い」地域になって欲しいという地域の人々の願いを込めて、昭和 47 (1972) 年の 区制実施時に「幸区 と名付けられました。区役所庁舎は、昭和50(1975)年に現在地に建てられ、 40 年後の平成 27 (2015) 年には新たな庁舎に生まれ変わり、「地域コミュニティの拠点」、「地域防 災の拠点」等として重要な役割を担っています。
- 幸区の区域は、かつて水田を中心とした農村地帯でしたが、明治期には工場の進出が始まり、戦後の 高度経済成長期には公営住宅や社宅が多数建設され、人口が急増しました。昭和 40 年代以降、 工場の移転が進み、跡地には大型共同住宅や大規模商業施設などが建設されました。
- 川崎駅西口周辺には世界的な音楽ホールであるミューザ川崎シンフォニーホールや東芝未来科学館、 ラゾーナ川崎プラザ、高層集合住宅等が立地するほか、複合型街区「カワサキデルタ」など、市の新たな 顔としてのまちづくりがさらに進んでいます。
- 新川崎・鹿島田駅周辺などでは、大規模マンション等の建設が引き続き進められており、今後も人口の 増加が見込まれています。
- 都市化が進む中で、区の西部には、「加瀬山」の名前で親しまれ、地域の歴史にも触れられる自然の 中に夢見ヶ崎公園が立地し、地域住民の憩いの場となっています。

幸区の主な地域資源・魅力など



まちづくりの方向性

「しあわせあふれるまち さいわい」

- 幸区は、緑の中で動植物とのふれあいや歴史を感じることができる加瀬山や、うるおいある水辺の多摩川などの「自然空間」と、ミューザ川崎シンフォニーホールをはじめとした文化・芸術施設や商業・産業などが集積し活気のある「都市空間」が調和したまちです。
- 新たな区民も、これまで暮らしてきた区民も、誰もが地域のつながりや支え合いとともに、魅力あふれる多彩な地域の資源を大切にしながら、地域への愛着や誇りをさらに高め、やすらぎと幸せを実感することができるまちづくりを進めます。

3 これまでの主な取組状況

● 地域資源を活かしたまちづくりの推進

区内の自然や、文化・芸術・歴史などの地域資源を活かしながら、区民の地域への愛着と誇りを育んでいくため、かつて梅林の名所であった御幸公園での賑わいと集いの場を育む取組、ミューザ川崎シンフォニーホールなど、身近な場所で音楽に親しめる環境づくりといったこれまでの取組に加え、鉄道ビュースポットや絵本作家かこさとしさんゆかりの地といった新たな区の魅力の発信、新たなスポーツとして脚光をあびるeスポーツの活用など、区民や市民活動団体、企業などのさまざまな主体と協働・連携し、賑わいと彩り豊かな、魅力あるまちづくりを進めています。



鉄道ビュー スポット

かこさとしさん 紹介パネル

● 健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進

地域住民が住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるよう、町内会・自治会を中心に地域 特性に応じた地域住民主体のみまもりのネットワークづくりを進めています。また、大学等の多様な主体 と連携して地域での自助・互助の活動を広げる取組を進めています。

● 安心して子育てできるまちづくりの推進

子育て家庭のニーズが多様化している現状を踏まえ、個々の家庭の状況に応じたきめ細かな相談・支援、子育てに関わる方たちが必要としている情報の発信、地域資源とのつながりをつくる企画の実施、区民同士の情報共有の場の提供など、さまざまな取組により地域全体で子育て家庭を支えるまちづくりを進めています。

●地域コミュニティ活性化の推進

町内会・自治会への加入促進等を推進するとともに、大規模マンション建設地域における自治会組織の設立を促し、自治会と既存町内会等との連携の推進を図っています。また、多様な区民が参加・交流する場づくりや、地域活動団体への支援など、ソーシャルデザインセンターとも連携しながら、地域コミュニティの活性化に向けた取組を推進しています。

●安全で安心に暮らせるまちづくりの推進

自主防災組織等と連携した地域住民が主体となった実践的な訓練の実施や、区内に立地する企業や隣接区との防災に関する連携の強化、発災時に地域住民や企業、関係団体・機関、行政等が、それぞれの役割を果たし、迅速かつ的確な対応ができる体制づくりにより、地域の特性を踏まえた地域防災力の向上を図っています。また、自転車事故防止に向けて、幅広い世代に対して交通安全意識の向上を図るため、交通安全教室や街頭キャンペーンなどを通じた啓発活動、自転車通行環境の整備など、ソフト・ハード面の取組を推進しています。

4 現状と課題

●自然や文化などが調和し、魅力ある地域資源がたくさんあります。

- 貴重な自然が残る加瀬山には、市内唯一の動物園のある「夢見ヶ崎公園」があります。また、「御幸公園」や多摩川など、区民に親しまれる憩いとやすらぎの空間があります。
- 世界的な音楽ホール「ミューザ川崎シンフォニーホール」や、多くの来場者で賑わう「ラゾーナ川崎プラザ」、 ビジネス・宿泊・商業機能の大規模複合型街区「カワサキデルタ」などが集まる川崎駅西口周辺、最先 端分野の研究開発拠点「新川崎・創造のもり」など、魅力あふれる地域資源があり、こうした資源を活 かしながら、区民の地域への愛着と誇りをさらに高めていくことが求められています。







川崎駅西口周辺

●高齢化率が 21%を超えており、50%を超える地区もあります。

- 区全体の高齢化率は21.6%(令和3(2021)年9月末現在)と、全市平均の20.1%を上回り、超高齢社会の水準である高齢化率21%を超えています。また、町丁ごとに見ると、50%を超える地区もあります。
- ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯も増加を続けており、要介護高齢者や認知症高齢者も増えています。こうした支援を必要とする高齢者などが増加する中、地域のつながりが強い幸区の特徴を活かした地域包括ケアシステムの構築に向け、身近な地域で多様な主体が連携した、自助・互助の取組が求められています。

65 歳以上人口比率(上位 5 町丁) (令和 3(2021)年 9 月現在)

	町丁名	割合
1	河原町	54.0%
2	小倉	35.2%
3	東古市場	30.5%
4	古市場	29.2%
5	古市場2丁目	28.8%
	(幸区平均)	21.6%
	(全市平均)	20.1%

●子育て家庭が増加し、ニーズも多様化しています。

- 大規模マンションへの子育て世帯の転入等に伴い、区内の 子どもの人口が増加しています。
- 共働き家庭の保育ニーズの高まりや、核家族化による子育てへの不安、孤立感への対応など、多様化する子育て家庭のニーズに対し、子育て情報の発信や、地域でのつながりを高めていく取組などが求められています。

15 歳未満人口比率(上位 5 町丁) (令和 3(2021)年 9 月現在)

	町丁名	割合
1	新小倉	32.5%
2	新川崎	26.6%
3	塚越1丁目	22.7%
4	戸手4丁目	19.3%
5	北加瀬2丁目	18.8%
	(幸区平均)	13.5%
	(全市平均)	12.5%

●大規模マンションの建設などにより、新たな区民が増えています。

- 新川崎・鹿島田駅周辺など、大規模マンションの建設が進む地域では、新たに転入した区民と以前から暮らしている区民との交流や、地域でともに支え合う意識の醸成などが求められています。
- 区内の町内会・自治会への加入率は 65.2% (令和 2 (2020) 年 4 月 1 日現在) と全区で最 も高い水準にあるものの、近年、低下の傾向にあり、役員の

高齢化や後継者不足などの課題も抱えています。

○ 身近な課題を地域で解決するためには、住民相互の連携による自主的で活力に満ちた地域コミュニティの実現が必要であり、町内会・自治会や市民活動団体の取組への支援や、多様な主体の連携により、市民創発によって課題解決をする区域レベルの「新たなしくみ」が求められています。



新川崎・鹿島田駅周辺のマンション

●地域防災力の強化など、安全・安心への区民の意識が高まっています。

- 令和 2 (2020) 年度区民アンケート調査において、10 年後のめざすべきまちとして、「地震や大雨などの災害に強いまち」や「防犯・交通安全など安全・安心な暮らしのできるまち」が上位に挙げられています。
- 令和元年東日本台風や、新たな都市型水害などにより、 区民の地域防災力強化への意識が一層高まっています。さらに、新型コロナウイルス感染症流行の経験を踏まえ、事業 の実施にあたっては、必要な感染症対策が求められています。



避難所開設訓練

計画期間の主な取組

地域資源を活かしたまちづくりの推進









- ●区内の自然や文化・芸術・歴史などの地域資源を活かした地域への愛着と誇りを育む取組の実施
- ●区民や市民活動団体、企業などのさまざまな主体と協働・連携した、賑わいと彩り豊かな、魅力あるま ちづくりの推進

	現状		事業内!	容・目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
御幸公園梅香事業 区名の由来にもなっている御幸公園の梅林を活用し、市制100周年に向け、梅の植樹や公園の多目的利用による区の魅力向上・情報発信を行うとともに、歴史文化の伝承などに関する取組を推進	・地域住民や学校・・地域住民との協働による梅林の復活に向けた植樹の実施等の樹勢回復	交等と連携した取組等との協働による御幸な・地域住民・市民ボランティア・企業との協働による梅林の維持管理に係るしくみの構築	2園の維持管理等	・・市民ボランティア・企業との協働による梅 林の維持管理の実 施	
します。また、緑を通じて地域住民や学校・企業などさまざまな主体との連集・投機を推進し、賑わいと	· 脚辛公園一個音事業推進会議	・御幸公園梅香事業 推進会議の開催		7	・御幸公園梅香事業 推進会議による事業 総括
の連携・協働を推進し、賑わいと 彩り豊かな集いの場を創造するとと もに持続可能な施設運営のしくみ の構築をめざします。		・寄附・募金を活用し た梅の植樹・維持管 理	・寄付・募金を活用した梅の維持管理		
地元高校生との協働による梅の摘果	・高校生の観梅会への協力など、学校等と連携した公園の魅力発信・公園の利活用の促進や隣接施設との連携による地域	・区制50周年のイベントでの学校等と連	化フェアに向けた、学校等と連携した公園 の魅力発信	・市制100周年や緑 化フェアの開催を踏ま	梅会への参加など、 学校等と連携した公
*	・観梅会の開催を通	心とした区の魅力の 近た魅力発信 ・区制50周年記念	発信 ・観梅会の開催	. 古制100国在司令	・市民協働型観梅会
S DEX		観梅会の開催	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	観梅会の開催	・中氏協働空観機会の検討、開催
御幸公園の梅		・区制50周年記念 写真展や川柳コン クールの開催 継続実施 一	・写真展や川柳コンクールの開催	・市制100周年記念 写真展や川柳コン クールの開催	・梅をテーマとした写真展や川柳コンクールの開催

	現状		主学内	容·目標	
事業名	令和3(2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	テスト) 令和 5 (2023) 年度	ウェーロット 令和 6 (2024) 年度	令和 7 (2025) 年度
花と緑のさいわい事業 区内の緑化推進と区民の緑化意識の高揚を図るとともに、区民同士の交流を促進するため、花と緑のうるおいのあるまちづくりを推進します。 さいかい花クラブ、下平間小学校による大師堀公共花壇の花植え	・区内で緑化活動を行う団体への花苗等の提供 ●地域住民や学・緑化活動団体や学校等と連携した公共花壇の維持管理の取組の推進・大師堀公共花壇・夢見ヶ崎公園花壇等の花植え、・庁舎前花壇の花植え及び維持管	通じた緑化活動団体の 継続実施 一 校と連携した公共花 継続実施 一 継続実施 一	壇の花植え活動の推		
さいわい音楽推進事業 ミューザ川崎シンフォニーホールなどの地域資源を活用し、区民が身近な場所で良質な生の音楽に親しめる環境をつくり、音楽を通じて多様な区民の多彩な文化、芸術活動が創出され、区民が地域に愛着と誇りを持てる、活力と魅力あるまちづくりを推進します。	○区民が身近な場所・「夢こんさぁと」の開催		音楽を楽しめるイベント ・「夢こんさぁと」200 回記念コンサートの 開催	の開催	是供するコンサート
		ノー」を実現する取組 通じて心のバリアフリーを持		催	



・「はぴ☆こん~誰

もが幸せになるコン サート」の開催

はぴ☆こん~誰もが幸せになるコンサート の様子



「夢こんさぁと」の様子

健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進

継続実施







- 健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進
- ●住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるよう、住民主体の自助・互助の取組支援の推進

	現状		事業内	容・目標	
事業名	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和 5 (2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
地域包括ケアシステム推進事業	●多世代が互い	に見守り支え合う地域	或づくりの推進		
区民が住み慣れた地域で安心し	o町内会·自治会な	などの小地域単位でごり	丘所支え愛事業や地域	特性を活かした自助・	互助活動の支援
て暮らし続けることができる地域を	・ご近所支え愛事	・ご近所支え愛事業	実施地域数:	実施地域数:	実施地域数:
実現するため、町内会・自治会を	業による自助・互	による町内会・自治	34地域	37地域	40地域
中心に地域住民が主体となり、人		会や集合住宅等の			
と地域のつながりが活発で、見守り	援の実施	単位で自助・互助を			
支え合う地域づくりを進めます。	実施地域数:	深める活動支援の実			
	30地域	施			
		実施地域数: 32地域			
	◦多様な主体と連携	携を行うことによる、人と	し 地域のつながりが活発で	で、見守り、支え合うこと	のできる地域づくり
	の推進				
	・多様な主体との	・ソーシャルデザインセ	連携企業・団体数:	連携企業・団体数:	連携企業・団体数:
		ンター、企業、大学等	31企業·団体以上	31企業·団体以上	31企業·団体以上
	くりの推進	の多様な主体と連携			
		した取組の推進			
		連携企業・団体数:			
		31企業·団体以上			
		の意識の醸成による 開催を通じた、地域の意		けた取組の推進	
		・地域包括ケア推進		開催回数:1回	開催回数:1回
	進に関する講演	に関する講演会・講			
	会・講座の開催	座の開催			
	開催回数:1回	開催回数:1回			
	•多様な人が地域	で共に暮らすことへの意	識向上の取組		
	・多様な人が地域	・認知症の方や障害			
	で共に暮らすことへ	のある方など多様な			
		人が地域で共に見守			
		り、支え合う取組の推			
	り、支え合う取組の	進			
	実施				
健康づくり推進事業		づくり活動に向けた普			
高齢化が進む中で、地域交流や		目として発足している住」	民主体の健康づくりグル	ープ等への支援	
支え合いの促進に向けて、地域活	・講演会等を通じ				
動の担い手として期待される世代	た健康づくりグルー				
に対し、自助・互助の取組や社会	プの活動支援	ループ等の活動継続			
参加、健康づくりの普及啓発を推		に向けた支援の実施			
進します。	。ライフサイクルに応	じた健康づくり等に関す	る情報発信と普及啓	発の推進	
		・「50代からのさいわ			
			た健康づくり等に関す		
	関する情報発信		る情報発信と講演会		
		啓発の実施	等普及啓発の実施		



見守り・支え合う地域づくりの取組 (ご近所支え愛事業の部会)



地域での健康づくり活動

安心して子育てできるまちづくりの推進









- ●地域全体で子育て家庭を支えるしくみづくりの推進
- ●子育て家庭のニーズや個々の家庭の状況に応じたきめ細かな相談や支援の実施

	現状		事業内	容・目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和 6 (2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
総合的なこども支援ネットワーク	• 1 CO 1 FC.	支援関係団体同士の		rt	
事業 区内の子ども・子育て支援団体同士の情報共有と連携強化を図るとともに、情報発信や講演会、「みんなで子育てフェアさいかい」などの事業を通じて、地域で子育てを支援する環境づくりを進めます。	新たな活動への きっかけづくりと、子 育て団体や子育て サークル同士の情 報共有・連携推進 会議・交流会開催	ットワーク会議の開催に 継続実施 一 継続実施 一		等の地域への関心の塩	学
	• こども情報ネットさ	継続実施			\longrightarrow
	いわいの発行 発行回数:3回	発行回数:3回	発行回数:3回	発行回数:3回	発行回数:3回
	15.0	連携して地域で子育 要な情報を伝える「こども		••	
	・「こども・子育て講演会」の開催	継続実施			
	。「みんなで子育てこ	フェアさいわい」を地域の	子育て支援団体や企	業等と連携して開催	
	・子育て世帯が地域を知り、つながるきつかけをつくる「みんなで子育てフェアさいわい」の開催	継続実施 一			
	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回



こども総合支援ネットワーク会議



みんなで子育てフェアさいわい (スタンブラリー)

	現状	事業内容·目標				
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)	
	年度	年度	年度	年度	年度	
こども・子育て支援事業	●子ども・子育て					
子育て関連情報の提供、公園を活用した子育て交流の場の提供、中高生向け地域ボランティア等各種事業を通じ、区民の子ど	発行数: 6,800部 ・改訂に向けた検 討	・「おこさまっぷさいわい」 い」(改訂版)の発行を通じた親子の外出と地域のつながりの創出				
も・子育て支援に取り組みます。	●公園等の活用	による子育て世帯や-	子ども同士がつなが ^り)をつくる環境づくり		
	・区内公園等を活用した乳幼児向け外遊びの交流の場づくり及び学齢児向けのブレーパークの実施	継続実施 一				
	実施公園数:	実施公園数:	実施公園数:	実施公園数:	実施公園数:	
	・中高生が地域へ の愛着を持ち、自 身の幸福度向上	5か所 域活動ボランティアに ・中高生向けの地域・ 活動ボランティア「さい わいはっぴーボランティ ア(はぴ☆ボラ)」の 実施 参加者数:15人	5か所 よる若者の地域への 参加者数:15人	5か所 つながりの推進 参加者数:15人	5 か所 参加者数: 15人	



さいわいはっぴーボランティア (はぴ☆ボラ)



おこさまっぷさいわい

地域コミュニティ活性化の推進







- ●大規模マンション建設地域における自治会組織の設立支援や町内会・自治会への加入促進の実施
- ●「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」等に基づく、多様な区民が参加・交流する場づくりへの 支援などの、地域コミュニティの活性化に向けた取組の推進

事業名	現状 事業内容·目標					
	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和 6 (2024)	令和7(2025)	
	年度	年度	年度	年度	年度	
域コミュニティ推進事業	●町内会·自治会	。 会活動の活性化に向	けた取組の推進			
	○さまざまな媒体を活	5用した町内会・自治会	会への加入促進の取組	の実施		
地域社会において重要な役割を	・ホームページ等に	継続実施				
担う町内会・自治会などの地域団	よる情報発信や、					
体が安定的に地域活動に取り組	区独自のチラシの					
み、暮らしやすい地域社会の構築	作成•配布					
に寄与する取組を推進します。						
		携による活性化支援の	の取組の実施			
	・ソーシャルデザイン	継続実施				
	センターとの連携に					
	よる地域団体、町					
	内会・自治会の活					
	性化支援					
	・他団体との交流	継続実施 -				
	イベント開催による					
	地域活性化					
		は員のスキルアップ支援の	の実施			
	・活性化講座によ	継続実施				
	る町内会・自治会					
	役員のスキルアップ					
	支援					
	支援制度の周知や活用支援による自治会等への加入促進取組の実施					
	・補助金制度の活	継続実施	A () WOODD (IACAE-IAN)			
	用の促進や申請	神座的は又力也				
	補助による町内					
	会・自治会の事業					
	活動支援					
	●大規模マンショ	ンの建設増に伴う町	「内会·自治会組織影	な立のための支援等の	の検討・推進	
	大規模マンション	継続実施				
	が建設された際の					
	自治会の設立支					
	援					
\$ "朱宋卓恭	• 4 # h + H n'	本体に トスルルポスチ	WO###			
ポーツ推進事業		連携による地域スポー	一分の住進			
地域で活動するスポーツ関係団体	・気軽にスポーツに	継続実施				
等の多様な主体と連携して地域	親しめる機会の充					
の交流を促進し、誰もがスポーツに	実	6046 ±=== +				
親しめる地域づくりを進めます。	・地域の関係団体	継続実施				
	等と連携したパラス					
	ポーツの大会や講					
	習会等の実施					
	●地域主体のスポ	ポーツ活動の活性化	に向けた取組の推進			
	・地域のスポーツ大	継続実施				
	ヘニャはスロのお					



会における区の協 賛等の実施

町内会・自治会向けの活性化講座



さいわいソーシャルデザインセンター (まちのおと)



小学校でのボッチャ体験会

安全で安心に暮らせるまちづくりの推進



- 自主防災組織等と連携した訓練の実施や、区内に立地する企業や隣接区との連携強化による地域 防災力の向上
- ●自転車事故等の防止など、交通安全普及に向けた啓発活動の実施

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
幸区災害対策推進事業	年度 ●避難所開設・選・訓練の運営支援	年度 営訓練の運営支援 継続実施	の実施	年度	年度
訓練の運営支援や講座等の開催 による自主防災組織・避難所運 営会議の活性化、地域住民や企	等による、地域の 防災力の強化	,2,0 (,2			
業、関係団体・機関等との連携に よる実践的な総合防災訓練の実	●自主防災組織	を中心とした地域の	防災力強化		
施、区本部・避難所の防災資器 材の充実など、区内の防災基盤 整備の取組を進めます。	・「幸区防災講演 会」の開催 ・幸区防災マップの 発行	継続実施 一			
	●防災資器材の	記備、感染症対策物	資の整備		
	・防災用資器材の 購入・配備	継続実施			
交通安全普及啓発事業	●小学校等での	交通安全教室の実施	Ī		
区内での自転車関連事故等の現 状を踏まえて、幅広い世代に対し て交通安全意識の向上を図るため、交通安全教室などを通じて、 交通安全知識の習得などを目的 とした啓発活動を行います。	・警察及び関係団体と連携し、各種交通安全教室 (スケアードストレート方式等)の実施	継続実施 一			
CO/CET/6/13/16/13 (187)	●警察及び関係	団体と連携したキャン	ペーン等の啓発活動	かの実施	
	・交通安全期間中 及び各強化月間 における啓発活動 の実施	継続実施 —			
	●交通安全実地:	指導の実施			
	・警察等と連携した実地指導の実施	継続実施			
	・各種団体からの	継続実施 —			\rightarrow
	要望受付の機会 確保				







帰宅困難者受け入れ訓練

登下校時の見守り活動

区における地域の課題解決に向けたその他の取組

取			現状事業内容·目標				
区組の社	事業名	概要	令和 3 (2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和 5 (2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
幸区	地域資源を活かしたまち	づくりの批准					
		新川崎・創造のもりなど、研究開発施設等が集積した幸区の特色を活かした子ども向け科学体験イベントを実施します。	●科学体験イベントの	実施			
	地域の魅力発信事業	貴重な地域資源である夢見ヶ崎 公園や鉄道ビュースボット、絵本 作家かこさとしさんゆかりの地といっ た区の魅力について、その魅力を 高めるとともに区民に発信します。		田した魅力発信の推進 かこさとしさんゆかりの		信	
	地域資源を活かしたま ちづくり事業	日吉地区で活動するさまざまな団体のネットワークにより、地域固有 の資源を活用した身近なまちづく りを進めます。	●日吉のタカラモノ活	用事業の実施			
	さいわい・はじめようエ コ事業	子ども向けイベントの開催や環境 啓発パネルの活用など、多様な年 齢に即した意識啓発活動を推進 します。	●子ども向け環境啓発	発イベントの実施			
	さいわいガイドマップ発 行事業	ガイドマップの発行を通じて、転入 者等へ区民生活に必要な情報を 提供し、地域理解の促進を図りま す。	●「さいわいガイドマッ	プ」の作成・配布			
4	建康で安心して暮らし続い	けられるまちづくりの推進					
	地域の保健福祉情報 発信事業	区における地域包括ケアシステム や保健福祉に関する情報を効果 的に区民に届け、区民の関心と 理解を深めます。	● 保健福祉に関するを	効果的な情報発信			
	さいわい動物愛護推 進事業	動物愛護思想の普及啓発を行う ことにより、人と動物の共生を図り ます。	●動物愛護思想の普	' &			
	安心して子育てできるまた	うづくりの推進					
	保育所等活用事業	民間保育所を含む区内の保育所等を活用して、地域への子育て支援や、子育て支援者の育成等を進めます。	●区内保育所等におり	ける地域子ども・子育で	て支援事業の実施 -		
	幸区こども学習サポー ト事業	関係団体とボランティアが連携して、外国につながる小・中学生への学習支援活動と居場所づくりを行います。	●外国につながる小・	中学生への学習支援と	と居場所づくり		
	児童虐待防止・こども 相談支援事業	関係機関との会議や研修会、講座の開催を通じて、要保護児童の早期把握に努めるとともに、孤立感や不安感なく安心して子育てができる地域づくりを進めます。		域協議会幸区実務者 する相談と支援の実施			
	幸区待機児童対策事業	多様な保育事業に関する情報提供を行い、保育の選択肢を広げ、利用者に対するきめ細やかな相談・支援を実施して待機児童の解消を図ります。	●多様な保育事業に	関する情報提供の実施	包		

取			現状		事業内	容・目標	
区組の柱	事業名	概要	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
1	也域コミュニティ活性化の)推進					
ı	市民活動等支援事業	市民活動コーナーの運営や市民 活動団体同士の交流を促進し、 区内の市民活動と区民の主体的 な取組を促進します。	●幸区市民活動コー	ナーを利用者の会と協	動で運営		
	幸区多文化共生推進事業	外国人市民の生活に必要な情報の提供や多文化フェスタ等の開催を通じて市民同士の相互理解を深め、多文化共生意識を高めます。	●多文化共生の理解	や関心を深めるための	事業の実施		
ı	市民館コミュニティ推進事業	さまざまな区民が参加し交流する コミュニティ推進事業を通じて、区 民同士の交流と、地域活動をは じめるきっかけづくりを行います。	●コミュニテイ推進事	業を通じた区民同士の	交流促進		
ı	区民祭開催経費	地域に密着した事業である幸区 民祭の開催を支援し、新旧区民 の交流と連帯を深め、地域コミュ ニティの活性化を進めます。	●「幸区民祭実行委員	員会」への経費補助を	通じた区民祭の開催さ	援	
3	そ全で安心に暮らせるまた	うづくりの推進					
	地域防災活動推進事 業	幸区災害対策協議会の運営等 を通び、地域住民や企業、関 係団体・機関等の間で情報共 有・課題検討などを行い、地域の 防災活動に関する連携強化の取 組を進めます。	●地域住民に加え、1	企業、関係団体・機関 9	等からなる「幸区災害党	対策協議会」を中心とし	した防災対策の推進
	安全・安心まちづくり普及啓発事業	街頭キャンペーンの開催、町内会等と連携した防犯パトロールの実施などを通じて、地域に根ざした 啓発活動を進めます。	●地域の防犯意識の●子どもの安全確保(●啓発活動の実施	醸成 こ向けた地域見守り活	動の推進		
1	■ 区役所サービス向上事業						
ı	区民に身近な区役所づくり推進事業	区役所窓口の利便性の向上や、 満足度の高いサービスの提供を推 進します。	●庁舎等の環境整備	や職員研修、サービス	向上委員会等の取組	推進	
	さいわい区民アンケー ト事業	区政に対する区民の意識を多面 的に調査し、今後の区政運営や 地域課題の解決に向けた参考と していきます。	● 区民アンケート調査	をの実施(隔年)			
1	地域課題対応事業その位	也事業					
	幸区提案型協働推進 事業	地域課題の解決に向け、公益性 の高い事業を実施できる市民活 動団体等から事業提案を募集 し、行政と提案団体との協働によ り事業を推進します。	事業の提案募集及事業の実施事業の評価	び審査・決定			
	その他経費	幸区地域課題対応事業の効率 的・効果的な推進を支えるため、 必要となる事務・管理運営を行い ます。	●地域課題対応事業	を支える事務等の実施	t		
	区の新たな課題即応事業						
	区の新たな課題即応 事業	年度途中に新たに発生する課題 に、適切かつ迅速に対応する事 業を実施します。	●新たに発生する課是	夏に対する、 適切かつ迂]速な対応		



幸区における特徴あるまちづくりの取組

幸区で展開されている市民生活を支える事業のうち、区計画に記載されている事業(地域課題対応事業)以外の事業に関連した、区の特徴的な取組を紹介します。

●夢見ヶ崎動物公園にぎわい創出事業

夢見ヶ崎動物公園は、昭和49(1974)年に開園し、子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめる市内唯一の動物公園として、多くの市民の皆様に利用されてきました。今後も、適切な飼育管理を行うとともに、サポーター制度の充実を図るなど、多様な主体との連携により、動物とのふれあいや環境学習の場、さらには人々の交流を生む場として親しまれる動物公園をめざし、公園や地域の賑わい創出に向けた取組を推進します。

【政策体系別計画 323P:施策 3-3-2 夢見ヶ崎動物公園にぎわい創出事業】

【幸区役所における関連した取組】

- 夢見ヶ崎周辺の魅力向上を図るため、動物公園周辺で活動する方たちや地域の方たちが参加する「ゆめみらい交流会」を開催し、新たな「つながり」の構築とともに、意見交換等を通じ、様々な主体との連携による賑わいの創出に向けた取組を推進します。
- NPO 法人はたらくらすと協働し、夢見ヶ崎動物公園(加瀬山)を舞台にした絵本「ゆめみがさきのふしぎにゃトンネル」を制作しました。絵本を通じて、夢見ヶ崎動物公園(加瀬山)の歴史を学ぶことができ、幸図書館及び日吉分館で貸出しを行っています。



●新川崎・創造のもり推進事業

「新川崎・創造のもり」では、慶應義塾大学、早稲田大学、東京工業大学、東京大学が協力し設立した研究教育拠点と連携し、産学連携による研究開発を推進しているほか、新産業創出や新製品開発を促進するため、「産学交流・研究開発施設(AIRBIC)」を拠点としてオープンイノベーションを推進しています。第3期実施計画においても、引き続き取組を推進するとともに、新たに「かわさき新産業創造センター(KBIC)」への量子コンピューティングシステムの設置を契機とし、量子コンピューティング技術の普及や人材育成を推進するなど、オープンイノベーションの推進による研究開発への支援や、良好な研究環境の維持向上に向けた取組を推進します。

【政策体系別計画 362P:施策 4-2-3 新川崎・創造のもり推進事業】

【幸区役所における関連した取組】

○「新川崎・創造のもり」にある慶應義塾大学新川崎タウンキャンパスや KBIC と連携し、区内企業や市民活動団体の協力を得ながら、「科学とあそぶ幸せな一日」という科学体験イベントを開催し、科学技術関係機関やものづくり関連施設が集積した幸区の特色を活かして、青少年がものづくりの基礎となる科学技術を体験的に学べる機会の創出に向けた取組を推進します。





"それいいね"が広がるまちづくりに向けて

幸区で展開されている事業のうち、地域課題の解決に向けて、市民や団体等と協働・連携して行っている特徴的な取組を紹介します。

● 若者の力を活かしたまちづくり

年少人口の割合が高く若者が多い特徴を持ち、区内に2つの市立高等学校と市立看護大学がある幸区。区ではこれからも、若者の意見を反映させたり、色々な事業を協働で行い、若者の力を活かしたまちづくりに取り組んでいきます。

幸探究授業 ~高校生が区に課題解決策を提案~

- 幸高等学校では総合的な探究の時間の中で、「幸探究」と題して、 区が提示した課題について、生徒自身が取材や調査・探究をし、 課題の解決に向けた提言をしてくれており、これまでに区こどもページ の改善や SNS を活用した若者への情報発信等が実現しました。
- 令和元(2019)年度に幸高等学校で行われた車座集会では、「ボール遊びがしたい」という小学生の想いを叶えるための意見交換を行い、3年間さまざまな検討を重ね、令和3(2021)年度に高校生が協力した小学校の校庭開放の取組を実現しました。



区役所で自分たちの探究の成果を提案する幸高等学校生徒

梅香事業 ~高校生が御幸公園の梅園の魅力向上の取組に協力~

○ 御幸公園内にある梅園の魅力発信のために、川崎総合科学高校の 生徒たちが、「梅香カレンダー」の作成や「梅の接ぎ木の取組を紹介す る動画」の作成、「観梅会のチラシ」のデザイン、「観梅会でのステージ 演奏」などさまざまな面で協力してくれています。

はぴ☆ボラ ~中高生のためのボランティア活動プログラム~

中高生が地域で必要とされることでやりがいを感じ、地域の一員としてどんなことができるかを考える機会をつくることを目的に、地域活動においてボランティア活動を体験する「はぴ☆ボラ」を実施しています。

御幸公園で、梅の木の紹介動画を撮影する川崎総合科学高校生徒

大学と連携した取組 ~市立看護大学・専修大学~

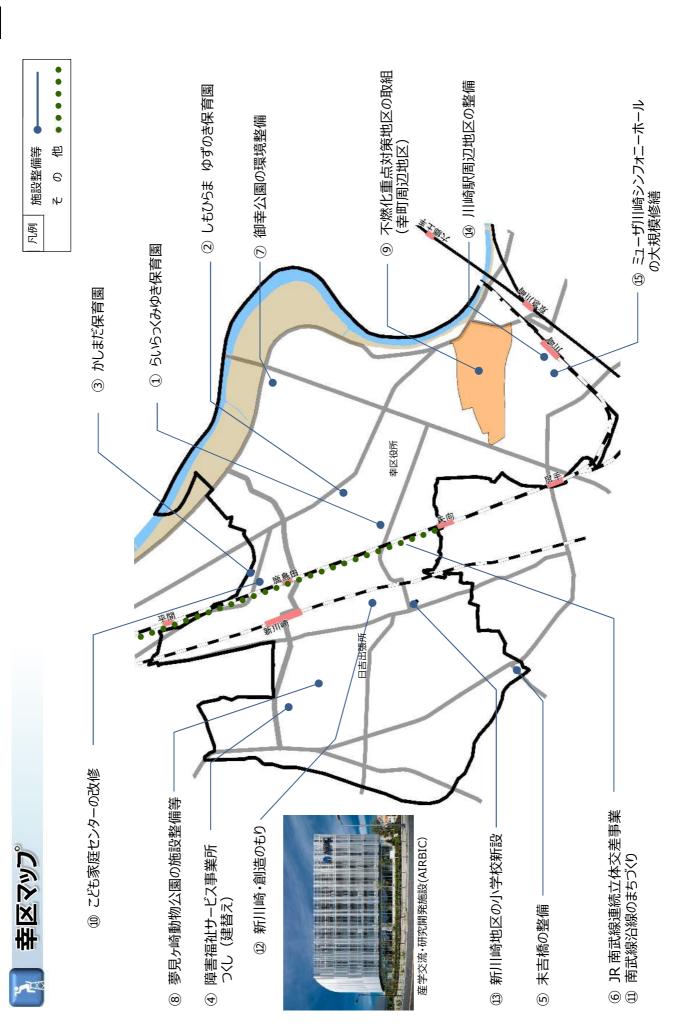
- 区民の健康づくりと、大学がめざす地域包括ケアシステムに資する看護師養成の取組が連携し、区民が看護学生の授業に「模擬患者」として参加・協力する養成講座を実施しています。
- 専修大学学生が授業の一環で、区の PR 動画を作成しています。区 長賞作品は YouTube 等で放映され、区の PR に一役買っています。



小学生向けの地域のイベントでボランティアス タッフとして参加する中高生

★市民の想い、メッセージ

- 区と連携することで、普段関わらない地域の人と関わるなど貴重な経験が出来ました。 (幸探究・幸高等学校生徒)
- 自分の作品が区役所制作のカレンダーに活用されるとのことで、多くの人たちに梅のきれいさや美しさを伝えられればと思っています。(梅香カレンダー製作者・川崎総合科学高等学校生徒)



➡ 区のマップとの対応表



福祉施設

その他

4	卜蔡分米十苯邻基 厄	・一条に単点が承地区の取る (幸町周辺地区)		こども家庭センターの改修
MAP 番号	(3	<u>©</u>	4
定員	120人	丫09	155人	生活介護40人
開所予定	R4(2022)年度	R4(2022)年度	R4(2022)年度	R4(2022)年度
名称	らいらつくみゆき保育園	しもひらま ゆずのき保育園	かしまだ保育園	障害福祉サービス事業所 つくし (建替え)

岸
$\overline{\langle}$
路
三三

叩	名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
	不燃化重点対策地区の 取組(幸町周辺地区)	老朽木造住宅等が密集している幸町周辺地区における災害に強い住環境形成の推進	事業推獲	•
	こども家庭センターの改修	施設狭あい解消のための整 備	R5(2023)年度 供用開始	(9)
ur.	南武線沿線のまちづくり	JR 南武線連続立体交差 事業や治線土地利用転換 の機会を捉えた戦略的かつ 機動的な誘導による駅を中 心とした魅力あるまちづくりの 推進	事業推 進	(3)
	新川崎・創造のもり	産学交流・研究開発施設 (AIRBIC) を拠点としたオ ープンイノベーションの推進	事業推進	(2)
	新川崎地区の小学校 新設	児童数の増加に対応した 小学校の新設	R5(2023)年度着手 R6(2024)年度完成 R7(2025)年度開校	(2)
	川崎駅周辺地区の整備	川崎駅西口大宮町地区施 設整備活用等	R4(2022)年度完了	(4)
	ミューザ川崎シンフォニー ホールの大規模修繕	次期大規模修繕の検討・ 実施	事業推進	(2)

地域の課題解決に向けた取組の一覧

事業名 (〇は本計画で「計画期間の主な取組」として掲載している事業)

地域資源を活かしたまちづく	りの推進
) 御幸公園梅香事業
) 花と緑のさいわい事業
) さいわい音楽推進事業
	さいわいものづくり体験事業
	地域の魅力発信事業
	地域資源を活かしたまちづくり事業
	さいわい・はじめようエコ事業
	さいわいガイドマップ発行事業
健康で安心して暮らし続けら	れるまちづくりの推進
) 地域包括ケアシステム推進事業
) 健康づくり推進事業
	地域の保健福祉情報発信事業
	さいわい動物愛護推進事業
安心して子育てできるまちつ	くりの推進
) 総合的なこども支援ネットワーク事業
	ンこども·子育て支援事業
	保育所等活用事業
	幸区こども学習サポート事業
	児童虐待防止・こども相談支援事業
	幸区待機児童対策事業
地域コミュニティ活性化の推	
) 地域コミュニティ推進事業
	スポーツ推進事業
	市民活動等支援事業
	幸区多文化共生推進事業
	市民館コミュニティ推進事業
	区民祭開催経費
安全で安心に暮らせるまちて	
) 幸区災害対策推進事業
) 交通安全普及啓発事業
	地域防災活動推進事業
	安全・安心まちづくり普及啓発事業
区役所サービス向上事業	
	区民に身近な区役所づくり推進事業
	さいわい区民アンケート事業
地域課題対応その他事業	
	幸区提案型協働推進事業
	その他経費
区の新たな課題即応事業	
	区の新たな課題即応事業



■世帯数 135,997 世帯 (令和4(2022)年1月1日現在)





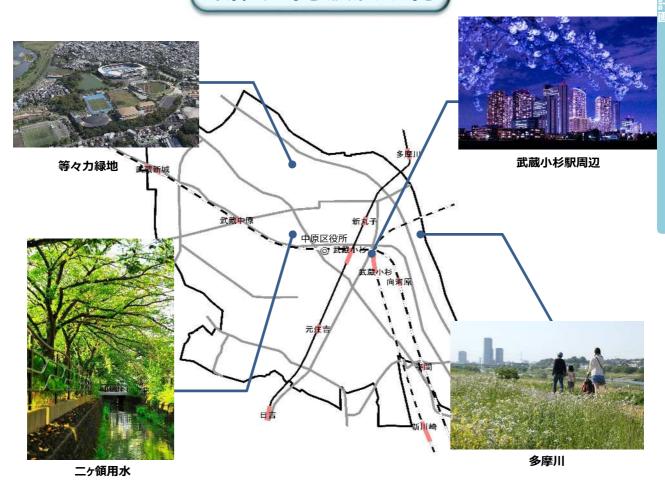




中原区の概要

- 中原区は、本市のほぼ中央に位置しており、中原御殿(平塚市)と江戸を結ぶ中原街道の中継地と しての仮御殿が小杉にあったことから中原区と名づけられました。区域の大部分は平坦な地形が広がっ ており、住宅地に点在する生産緑地には区の花パンジーなどを栽培する風景も見られ、横浜市と接する 南西部の井田地区は豊かな緑の残る丘陵地となっています。東京、横浜、川崎南部地域の郊外型住 宅地として都市化、商業地の形成が進み、あわせて、都心に本社機能を持つ企業を中心に生産部門 が進出し、現在のまちの骨格が形成されました。近年は産業構造の転換を先取りした企業による研究・ 開発部門などの都市型産業が武蔵小杉駅、武蔵中原駅、向河原駅周辺を中心に立地しています。
- 武蔵小杉駅周辺では大規模な再開発事業が展開されており、都市型住宅の建設が引き続き進んで います。また、近年大規模な商業施設の開業が相次いでおり、多くの方が訪れています。
- 駅周辺の開発により近年の人口増加は著しく、平成 31(2019)年4月には、昭和 57(1982) 年に7区に分区して以降、川崎市内の区として初めて人口が26万人を超え、今後も更なる人口増 加が見込まれており、人口、世帯数ともに市内で最も多い区となっています。また、生産年齢人口の割 合が7区で最も高く、老年人口(65歳以上)の割合は最も低いため、区民の平均年齢は最も低く なっています。出生数及び市外からの転入者数が7区で最も多く、転入者の約7割を20~30歳代 が占めており、中原区で新たに生活を始める子育て世帯も増えています。

中原区の主な地域資源・魅力など



まちづくりの方向性

水と緑と笑顔が出会い 未来につなぐ 住み続けたいまち なかはら

- 中原区は、等々力緑地、多摩川沿いの緑や二ヶ領用水の水辺、井田山などの自然に恵まれるとともに、 都心への交通利便性に優れており、武蔵小杉駅周辺は、都市型住宅が立ち並び、商業も賑わう、生 活利便性が高く都市機能が集約されたコンパクトなまちです。
- 街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人とのつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めます。

3 これまでの主な取組状況

●地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進

武蔵小杉駅周辺の再開発等によるまちの変化に対応しながら、地域が主体となるまちづくりを進めるとともに、地域の賑わい・交流創出に向けたしくみづくりに取り組んでいます。

また、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、新しい生活様式を踏まえた地域交流の 促進や、区のイメージアップをめざして、市民活動の支援、地域メディアが連携した情報発信の取組など を行っています。

●安全・安心なまちづくりの推進

防災に関わる情報の共有に加え、自助・共助(互助)を基本として地域防災力強化の担い手を育成するとともに、「武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画」に基づき、感染症等への対策を考慮した帰宅困難者対策の取組など、地域特性を踏まえた防災対策に取り組んでいます。

また、地域における防犯活動の支援や交通安全教室の開催等を通じて、交通事故の防止に取り組んでいます。

● 人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化

高齢化の進行を見据え、地域主体の見守り・支え合いの取組支援、健康づくりや介護予防などに関する情報発信、さらにそれを支える多様な主体のネットワーク構築による連携強化等に取り組んでいます。

また、すべての地域住民を対象とした地域包括ケアシステムの実現のため、地域のさまざまな主体による 人と人とをつなげる交流の場づくりや、それを支える活動の担い手づくり、支援を必要としている人が的確 に支援を受けられる取組など地域の主体的な取組の支援を行っています。

●区民と恊働したこども支援の推進

区民が主体的に運営する子育てサロンなど、地域の自主的な活動を継続して支援するとともに、さまざまな情報ツールによる効果的な子育て情報の発信、新たな担い手づくりのための子育て支援者の養成等に取り組んでいます。

●スポーツ・文化資源・緑などの地域資源を活用したまちづくりの推進

「かわさきスポーツパートナー」や地域のスポーツ団体などと連携し、地域でスポーツに親しむ機会を増やすとともに、区内にある文化資源や緑を活かして地域間・世代間交流を深め、元気とうるおいのあるまちづくりを進めています。

●区役所サービスの環境改善

今後も人口増加が見込まれ、行政需要の増加が想定される区役所サービスについて、窓口混雑期の対応や待合スペースの環境改善などを図ることで、更なる区役所サービスの向上を進めています。

4 現状と課題

- 武蔵小杉駅周辺の再開発による住民の増加や近年のコミュニティの課題に対応するため、 区民とともに進めるまちづくりが求められています。
- 区内全域で住宅開発が進み、ここ 10 年間での人口増加率が 10.0%と市平均を越えており、新たな区民が増え続けています。特に武蔵小杉駅周辺では、大規模な再開発に伴う高層マンションの建設によって人口増が顕著であり、武蔵小杉駅周辺全体の将来像を見据えた、持続可能なコミュニティづくりを進める必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響によりテレワークなど働き方が変化する中、武蔵小杉駅周辺では日中の滞在人口も増加しており、今後の居住志向の変化も見据えながら、これからも、住みたい、住み続けたいと感じられるまちづくりをさらに進めていく必要があります。



武蔵小杉駅付近の市道を フィールドとした社会実験の様子

近年地域コミュニティの課題として、身近な交流や活動の場の不足、互助の必要性の高まり、高齢化、町内会等の住民自治組織を取り巻く環境の変化といったことが挙げられています。こうした課題に対応するため、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく、市民創発によるまちづくりが進められています。

●災害対策、防犯、交通安全など、安全・安心への対策が求められています。

○ 戸建や大規模マンションなど住居の多様性、人口増や企業・商業施設の集積、多数の利用者を有する駅の存在や多摩川などの自然環境を踏まえ、区内で発生が想定されるさまざまな災害への的確な対応が必要となります。令和元年東日本台風での浸水被害後に調査した令和2(2020)年度区民アンケートでは、今後、特に力を入れてほしい区役所の業務として、「地震や風水害への対策」が最も高い結果(59.9%)となる一方、地域で行われる防災訓練や避難訓練に参加したことがないとの回答が7割を超えており(73.2%)、日頃からの災害に対する備えや、発災時の対策が求められています。また、区内の人身交通事故に占める自転車交通事故の割合が高いことから、自転車交通ルールを守

●いつまでも自分らしく暮らしていくために、地域での支え合いが必要になっています。

○ 令和元(2019)年10月1日現在の老年人口(65歳以上)の割合は、7区で最も低い15.3% となっているものの、将来人口推計によると、令和32(2050)年頃には25%を超えることから、高齢

化の進行を見据え、新しい生活様式も踏まえながら、介護予防や健康寿命の延伸に向けた取組のほか、ひとり暮らし高齢者の増加を踏まえ孤立防止などにも引き続き取り組んでいく必要があります。

る意識の啓発が求められています。

また、地域包括ケアシステムが掲げる、「誰もが住み慣れた地域や自らの望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現」を目的として、活動の担い手の育成、支援が必要な人が的確に支援を受けられる取組、地域全体での見守りや支え合いのしくみづくりなど、自助・互助の取組をさらに推進する必要があります。



健康づくりのためのご当地体操 なかはらパンジー体操

●身近な地域で子育て世帯を支えるしくみの充実が必要です。

 令和元(2019)年10月1日現在、中原区の年少人口 (0~14歳)は34,081人と7区で最も多い中、今後の 人口動態を踏まえて、想定されている保育ニーズの変化への 対応や、子ども・子育て支援が引き続き必要です。

また、令和2(2020)年度区民アンケートでは、子育て支援サービスを利用したことはないとの回答が5割近く(48.6%)となるなど、慣れない土地での孤立感や、育児に対する不安・悩みを抱えた子育て家庭を、新しい生活様式を踏まえながらも、よりサービスを利用しやすいよう、身近な地域で支え合う必要があります。



子育て世代の交流の場「子育てサロン」

●地域のさまざまな魅力を活かしたまちづくりが進められています。

○ 区内には二ヶ領用水、井田山の緑地、下小田中の農地などの豊かな自然環境や中原街道沿いの歴史ある文化資源などが残っているほか、等々力緑地には陸上競技場、野球場、アリーナなどがあります。また、中原区を拠点とするサッカー、バスケットボール、バレーボールのプロスポーツチームが活躍しています。このような地域の魅力的な資源を活かした取組をさらに進めていく必要があります。



令和2年にリニューアルされた等々力球場

●人口の増加等に対応した区役所サービスが求められています。

○ 令和2(2020)年度区民アンケートでは、窓口のプライバシーへの配慮や衛生環境への満足度が前回調査に比べて増加している一方、待合スペースの広さについては、不満との声が寄せられています。待合スペースの木質化や待ち時間の短縮の工夫など、これまでも改善に取り組んできたところですが、人口増に伴って引き続き多くの方が利用する区役所庁舎において、より安全で快適な環境を提供するとともに、区役所サービスの更なる向上や改善を行う必要があります。



木質化された区役所1階スペース



中原区子育てイメージキャラクター ミミ・ケロ



なかはらエコ推進大使 ロジーちゃん

5 計画期間の主な取組

地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進



- 再開発等により変化の著しい武蔵小杉駅周辺における地域主体のまちづくりの推進
- ●区のイメージアップ及び地元への愛着醸成に向けた地域メディアとの連携による情報発信の推進
- ●市民活動団体の活動支援及び交流促進による地域の活性化の推進

	現状		事業内	容・目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
小杉駅周辺の新たなコミュニ ティ推進事業 武蔵小杉駅周辺地域の住民や 企業との共創による取組や場づり	・企業・住民との共創による愛着づくりの取組の推進				>
を通じ、当地域の魅力と愛着を高めます。		用のための取組の検 ・共空間の利活用、維持	討・推進 持管理の促進と、地域の	住民の利活用の促進	
	・こすぎコアパーク 等における社会実験の実施・地域住民の利活用の機会創出	継続実施		・社会実験を踏まえた取組の推進	→ →
中原区広報・広聴推進事業 地域メディア等と連携しながら、区 の魅力発信などの充実に取り組み ます。	・なかはらメディア		取組の実施 NMNと連携した地域 情報の発信:42件 以上		
	●区民アンケート	の実施及び分析			
	•R1実施	・アンケートの実施、 結果の分析	・実施結果に基づく 改善	・アンケートの実施、 結果の分析	・実施結果に基づく 改善
市民活動活性化事業 地域活動団体の交流の促進及び 活動の支援により、地域の活性化 を推進します。	●活動拠点の提・中原区民交流センター「なかはらっぱ」の運営●地域活動団体	継続実施	による活動活性化の	ための支援	
	・「なかはらっぱ祭り」の開催(1回)	継続実施			-



なかはらメディアネットワークでの地域情報発信 (かわさき F M 「 E n j o y ★なかはら」収録の様子)



「なかはらっぱ祭り」

安全・安心なまちづくりの推進



- ●自助・共助(互助)・公助の考え方に基づく、区民、企業、行政等が連携した防災対策の推進
- ●区民、地域団体、行政等の連携による地域の防犯力及び防犯意識の向上

	現状		事業内	容・目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和 6 (2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
地域防災力強化事業 自助・共助(互助)・公助の考え方に基づき、区民、企業、行政等が連携して防災対策に取り組みます。	・避難所運営会議の自主運営に向けた支援:29回・自主防災組織の活動支援	・避難所運営会議の 自主運営に向けた支援: 29回 ・自主防災組織の設立・活動支援 ・改訂版中原区総合 防災マップの検討 ・感染症対策を前提 とした避難所訓練の	・改訂版中原区総合 防災マップの作成、配 布 ・感染症対策を前提 とした避難所訓練の	・避難所運営会議の 自主運営に向けた支援:29回・転入者等への配布・ ・感染症対策を前提 とした避難所訓練の	自主運営に向けた支援: 29回 ・感染症対策を前提とした避難所訓練の
	● 中原区総合防 R2実施回数:1 回(動画配信) (R1:2回)	・感染症対策を考慮 した新たな手法による 訓練の実施:2回 ・区民や関係機関と			
		の連携による地域特性に応じた実践的な 訓練の実施 を踏まえた各種訓練 情報受伝達・開設訓練: 1回以上	の実施 情報受伝達・開設訓 練:1回以上	情報受伝達·開設訓練:1回以上	情報受伝達·開設訓練:1回以上
中原区安全・安心まちづくり推進事業 区民、地域団体、行政等が連携して地域の防犯力及び防犯意識の向上を図ります。	・防犯資機材の貸 与等	・防犯意識の向上 継続実施 一 防犯パトロール実践 講座:5回以上	防犯パトロール実践 講座:5回以上	防犯パトロール実践 講座:5回以上	防犯パトロール実践 講座:5回以上



中原区総合防災訓練



防犯パトロールの取組

人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化







- ●子ども、高齢者、障害者等すべての地域住民が安心して地域で暮らし続けることができる、地域包括 ケアシステムの構築に向けた取組の推進
- ●福祉・健康に関する各種団体間の交流促進による地域福祉のネットワークの拡大

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
中原区地域包括ケアシステム推	●キギキか主体	の参加による地域与	1年ネットワークの様	统	
進事業		地域づくり・地域活動			支援
	・地域ケア会議に	継続実施	C11 22 (1) (2) (1) (2)) X J/X
「地域包括支援ネットワーク」の構築を推進し、保健・医療・介護・	対する支援	が正がしってがら			
福祉等さまざまな社会資源が有機	●「神区の宝牌」	こ合わせた地域包括な	・マシフニルの⊭箱に	ウルた取組の推進	
的に連携できるよう環境整備を図		- ロクセた心域で活っ)せた地域包括ケアシス		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
ります。また、地域包括ケアシステ	・地域の実情に合	継続実施	ノムに対する情報の光	治、用報共行の推進	
ムの情報発信や普及啓発を通じ	わせた情報の提供	松机夫加 —			
て、子ども、高齢者、障害者等す	17ピルI目報の元代				
べての地域住民が安心して地域	○中原区地区カルテ	の活用・検証・改定			
で暮らし続けられるよう取組を進め	・中原区地区カル	継続実施			\rightarrow
ます。	テの活用・検証・				
	改定				
	o地域包括ケアシス	テムの推進に関する地域	或での対話の機会創出	4. 地域課題解決の取	組推進
	・地域の中での対	継続実施 一	30 C 407/101140 1/30 ZZ/2112		
	話の機会の創出	小正小グロンへが出			
	・高齢者見守り、	継続実施			
	生活援助等、自	小正小グロンへが出			
	助・互助につながる				
	地域の主体的な				
	取組への支援				
		ノステムの推進に向け	た普及啓発の実施		
	在宅療養に関する	継続実施			
	リーフレットの配布				
	や啓発活動の実				
	施				
中原区地域交流活性化事業	●宣黔老の地域:	交流活性化に向けた	- 西紹の宇体		
	・中原区シニアのた		リストログラベルビ		
地域の交流の場や活動などの情	めのおでかけマップ	小匠小儿文力也			
報を提供し、高齢者の外出や社	の作成、配布				
会的交流を促進します。	9711300 (1011)				
なかはら福祉健康まつり実施事	●なかはら福祉優	建康まつりの開催			
業	開催:0回	開催:1回	開催:1回	開催:1回	開催:1回
福祉・健康に関する各種団体間	(R1:1回)				
の交流を図り、地域福祉のネット	●参加団体同士	の交流促進			
ワークの拡大をめざします。	・関係団体の交流	が えがほど 継続実施 一			
J JUNIAN EUROS 9.	促進支援	12.7765 (752			
	_ (1本ch +4 *** *** *** * ***				
	●障害者理解の				
	●障害者理解の ・イベント・展示の 実施	促進 維続実施 —			

区民と協働したこども支援の推進







- ●地域の特性を生かした子育でサロン等の運営の支援
- ●子育て世代へ向けた、さまざまな情報ツールを活用した情報の発信

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)		令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
中原区子育て支援推進事業 親子の孤立を防ぎ、子育て中の 不安を軽減するために、地域の特性を活かした子育てサロン等の運営を支援します。	○民生委員児童委 子育てサロン:15 か所 ○地域のボランティア ふれあい広場:3 か所 ○中原区子育て支 授推進実行委員	員などによる子育てサロ 子育てサロン: 15か 所 により実施される子育で ふれあい広場: 3か 所 援推進実行委員会全	子育てサロン: 15か 所 てふれあい広場の運営: ふれあい広場: 3か 所	子育てサロン: 15か 所 支援	年度 子育てサロン: 15か 所 ふれあい広場: 3か 所
子育で情報発信事業 子育て世代へ向けて、さまざまな情報ツールを活用した情報発信を行います。	ホームページやSN・新たな情報ツール による広報の実施・子育て情報ガイド・子育てガイドブックの作成、配布	ブック「このゆびと〜まれ 継続実施 一 の大型商業施設へのD	.! 」の作成・配布		>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>
子育て支援者養成事業 子育て支援の場を支える新たなボランティアを養成し、地域全体で子育てを応援していく体制づくりを行います。	子育て支援に関連 子育て支援者養 成講座:1回養成講座修了	養成講座:1回以 上 者への支援の実施	子育て支援者養成講	養成講座:1回以上	養成講座:1回以上



地域の子育てボランティアとして活動する 子育て支援者養成講座修了者



区で発行する子育てに関する情報紙

スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進



主な取組の方向性

- かわさきスポーツパートナーとの連携による交流機会の創出及び地域活性化の推進
- 花や緑を活用した、住み続けたいと思うまちづくりの推進

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
スポーツを通じた地域活性化推 進事業 かわさきスポーツパートナーとの連 携による事業等により、交流機会 を創出し、地域の活性化を図りま	0 13 43 C C 7 (1)	ツパートナーとの連 携 ーボール・バスケットボー 継続実施 一	続による事業の実施 ル教室、アメフット・フラッ	ッグフット普及啓発等の	実施
す。	・総合型地域スポーツクラブの活動 広報の実施 ● かわさきパラム・	章害者スポーツ体験など	D創出 ごによるかわさきパラムーフ	ブメントの取組の実施	→ ·
区民の手で花いっぱい中原事業 業 花と緑を活用した協働事業により まちの魅力向上を図ります。	●植栽管理や区」 ・市民ボランティアと の協働による公共 花壇植栽維持管 理(5か所)	民 花植体験等の実 が 継続実施 一	te.		

区役所サービスの環境改善





- ●「区役所サービス向上指針」に基づく、より質の高いサービス提供に向けた窓口環境の改善等の推進
- ●区役所サービス向上に向けた庁舎及び敷地の有効活用の推進

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
区役所サービス向上事業	●行政需要の増	加等に対応した区役	所サービスの提供		
「区役所サービス向上指針」に基づき、より質の高いサービス提供に向け窓口環境改善等を進めます。		職員研修:2回 サービス向上委員会 等:4回	職員研修:2回 サービス向上委員会 等:4回	職員研修:2回 サービス向上委員会 等:4回	職員研修:2回 サービス向上委員会 等:4回
□ ☑役所混雑緩和・環境向上事業		加等に対応した区役 ・庁舎レイアウト検討委		結果に基づく取組などの)実施
庁舎や敷地の有効活用を進め、 区役所の混雑緩和や利用者への サービス向上を進めます。	・委員会検討に基 び、取組実施・職員提案制度の 実施	・委員会開催、検討 に基づく取組実施 継続実施 一			
	・区役所敷地の有 効活用に向けた検 討	1-11-11			

区における地域の課題解決に向けたその他の取組

取			現状		事業内容	容·目標	
組の柱	事業名	概要	令和3(2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和5(2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
原区	: 也域活性化に向けたコミ	コニティづくりの推准					
		人材の発掘や企業との連携、マッチング等により、地域課題の解決を図るための環境づくりを推進します。	●企業や地域団体と ●まちづくり情報の広	劦働・連携したイベント 報	の開催		
		商店街を地域の情報交換や交 流の場として活用し、地域交流を 促進します。	●商店街と連携した名	各種教室及び地域交流	えイベントの実施		
	区民祭開催経費	区内企業及び各種団体等と連携し、"心のふれあう ふるさと中原"をテーマに区民祭を実施します。	●区民祭の開催				
3	安全・安心なまちづくりの	推進					
	中原区ガイドマップ (安心マップ)作成 事業	転入者にガイドマップを配布することにより、災害時に有用な情報や 区の基本情報等を転入後速やか に把握してもらい、区民生活の利 便性の向上と安全・安心のまちづ くりを推進します。	●「中原区ガイドマッフ	『」の作成・配布			
	案内サイン情報更新 事業	武蔵小杉駅周辺の再開発事業 などの進捗に合わせ、表示内容の 更新や、多言語表示を推進しま す。	●盤面表示内容の検	証・更新			
	中原区放置自転車対 策事業	自転車利用者のモラルやマナーの 向上を図るため啓発活動等を行 います。	●自転車利用者のモ	ラルやマナーの向上のク	こめ啓発活動等の実施	i	
	交通安全教室開催事 業	区民を対象にスケアードストレート 方式による交通安全教室を開催 し、安全な自転車の乗り方等の ルール・マナーを習得してもらうな ど、交通事故防止に取り組みま す。		- 方式の交通安全教室 で幅広い年齢層を対象	の実施とした各種交通安全教	文室の実施	
Į.	区民と協働したこども支援	受の推進					
	中原区総合子どもネッ トワーク事業	子ども・子育て支援を推進するとと もに、関係団体・機関による情報 交換、相互協力等によるネット ワークを構築することで、子どもの すごやかな成長を促すための環境 整備やしくみづくりを推進します。	●子育て情報の発信		ネットワーク会議、交流	(会などの実施	
	中原区子どもの発達 支援事業	子どもの発達支援に関わる業務 や活動を行っている機関や団体 が、課題を共有するために検討会 を開催します。また、保護者向け セミナーを開催します。	● 発達支援検討会・f	呆護者向けセミナーの乳	実施		
	中原区地域子育て支 援事業	育児負担の大きい多胎児育児の 支援のために交流会や親子の集 いを開催します。	●多胎児支援のため	の交流会、多胎児親子	その集いの実施		

			現状		事業内	容·目標	
	事業名	概要	令和 3 (2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和 5 (2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
ス	ポーツ・文化資源・みど	りなどの地域資源を活用したまちづ	くりの推進				
	環境まちづくり支援事 業	SDGsを踏まえながら、学校・企業・地域等と連携した啓発事業などを実施し、地球温暖化防止に係る地域活動の普及・啓発を行います。			「子ども環境事業」の9 実施	製造	
	中原スポーツまつり開 催事業	スポーツ推進委員会、青少年指 導員連絡協議会、子ども会、町 内会等が中心になって、年齢を問 わず、誰でも簡単にできるスポーツ の体験会を実施します。	●スポーツ大会の実が	<u> </u>			
	中原区体育及びス ポーツ振興事業	各種スポーツ行事に対し区長杯を製作、贈呈することで、スポーツを通した地域の活性化を図ります。	●区長杯の贈呈によ	るスポーツ振興の推進			
	中原区民多摩川ロー ドレース「マイペース大 会」開催事業	マラソン大会を実施することで、区 民の健康増進を図るとともに、健 康マラソンの普及を図ります。	●中原区民多摩川□	ードレース「マイペース	大会」の実施		
	中原区青少年吹奏楽 コンサート事業	音楽を通じた青少年の育成、地域間・世代間の交流のため区内 すべての中学校・高等学校による 吹奏楽コンサートを実施します。	●青少年吹奏楽コン!	ナートの開催			
	中原区役所コンサート 開催事業	ランチタイムにクラシック等のコン サートを実施することで、「音楽の まちづくり」を推進します。	●中原区役所コンサー	-トの実施			
	In Unity開催事業	音楽をきっかけとした地域間・世 代間の交流を推進するため、アマ チュアミュージシャンやダンスグルー ブなどによる音楽ライブを開催しま す。	●音楽ライブ「In Un ●「In Unity」のPR				
1	ちの魅力発信事業	「なかはら歴史と縁の散策マップ」 を作成するとともに、マップや散策 案内板を活用し、区民と協働でま ち歩きや講座を実施します。	●「なかはら歴史と緑(●「なかはら歴史と緑(の散策マップ」の作成 の散策マップ」を活用し	た講座の実施		
地	域課題対応その他事態						
	中原区市民提案型事 業	市民活動団体等から事業提案を 募集し、市が進める協働型事業 のルールに基づき、提案団体等と 行政が協働で課題解決に向けた 取組を実施します。	●市民活動団体等の	提案による中原区の記	果題解決に向けた取組	の実施 	
	地域課題対応事業一 般経費	地域課題対応事業全般の執行 に必要な事務用品の購入、複写 品費、郵送などの経費支出を行 い、円滑な事業推進を図ります。	●地域課題対応事業	全般の円滑な事業推			
	中原区制50周年記 念事業	令和4年4月に迎える区制50 周年を区民に、より地域への愛着 を持ってもらうため、記念事業を実 施します。	●なかはら世紀越え記 ●区制50周年記念即 ●区制50周年記念の		トの実施		
×	の新たな課題即応事業	ŧ					
	区の新たな課題即応 事業	年度途中に発生する新たな課題 に、適切かつ迅速に対応し、課題 解決を図ります。	●新たに発生する課是	風への適切・迅速な対 収	 芯に向けた取組の実施 		



中原区における特徴あるまちづくりの取組

中原区で展開されている市民生活を支える事業のうち、区計画に記載されている事業(地域課題対応事業) 以外の事業に関連した、区の特徴的な取組を紹介します。

小杉駅周辺地区整備事業

小杉駅周辺地区においては、公共公益施設の整備にあわせ地区幹線道路等を一体的に整備した「小杉 町3丁目東地区市街地再開発事業」が令和2(2020)年度に完了するなど、多様な都市機能がコンパク トに集積した、歩いて暮らせるまちづくりを推進しています。今後も、民間開発の適切な誘導と支援により、多様 な都市機能などがコンパクトに集約し、持続可能な魅力にあふれる都市拠点の形成を推進していきます。

【政策体系別計画 395P:施策 4-5-1 小杉駅周辺地区整備事業】

【中原区役所における関連した取組】

○ 小杉駅周辺の新たなコミュニティ推進のため、企業・地域団体のエリアプラットフォームの構築や、こすぎコアパー クなど公共空間の利活用に向けた社会実験を行っています。今後も企業・区民連携により地域への愛着づく り・魅力向上に取り組みます。

●等々力緑地再編整備事業

等々力緑地については、「等々力緑地再編整備実施計画」に基づき、緑地全体の再編整備に向けた取 組を進めています。第3期実施計画においても、社会環境の変化による新たな課題等に対応し、安全・安心 で魅力あふれる公園の実現に向けて、民間活力を導入した再編整備を推進します。

【政策体系別計画 320P:施策 3-3-2 等々力緑地再編整備事業】

【中原区役所における関連した取組】

○ 陸上競技場、アリーナなどが立地する等々力緑地では、かわさきスポーツパート ナーがホームとして活動しています。中原区ではかわさきスポーツパートナーの拠 点としての特色を生かし、各種教室・体験会などを行っています。今後も再編によ り整備される施設等を活用し、自然、文化、スポーツの拠点として更なる区の魅力発信に取り組みます。



富士通レッドウェーブの バスケットボール教室

● 区役所サービス向上事業、戸籍住民サービス事業

区役所窓口のサービス向上に向け、区役所サービス向上指針評価・研修を実施するなど市民の声を踏まえ た、満足度が高い区役所をめざした取組を進めています。また、令和4(2024)年1月に導入した、転入や

転出の届出、各種証明書の交付申請がインターネットから事前に入力可能 となるフロントシステムを活用して、今後も利便性の向上に向けた取組を推 進していきます。

【政策体系別計画 466P:施策 5-1-3 区役所サービス向上事業】 【政策体系別計画 467P:施策 5-1-3 戸籍住民サービス事業】



オリジナル動画撮影の風景

【中原区役所における関連した取組】

○ フロントシステムの導入に合わせて、転入手続を分かりやすく解説する区オリジナル動画をリニューアルしました。 また、川崎フロンターレと協力したオリジナル婚姻届や、「マスクの下は笑顔です」メッセージポスターの作成など、 区の魅力発信に取り組んでいます。今後も区民が来庁される機会を捉え、さまざまな角度から窓口サービスの 向上等に取り組むことで、区の魅力発信や協働のパートナーである区民との信頼関係を築いていきます。



"それいいね"が広がるまちづくりに向けて

中原区で展開されている事業のうち、地域課題の解決に向けて、市民や団体等と協働・連携して行っている特徴的な取組を紹介します。

● 多様な主体とともに広げる地域交流

中原区ではさまざまな分野で活動している区民や区内の企業、商業施設、スポーツチーム等との協働により、コロナ禍での工夫から生まれた新たな手法も活用しながら、地域の魅力発信、交流の取組を行っています。

中原スポーツまつり ~スポーツを通じた地域交流~

- 中原スポーツまつりは、スポーツのニーズが多様化している時代背景を踏まえ、地域団体と行政が連携して開催するイベントで、町内会、スポーツ推進委員会、青少年指導員連絡協議会、子ども会、商店街連合会、社会福祉協議会からなる実行委員会が主催しています。

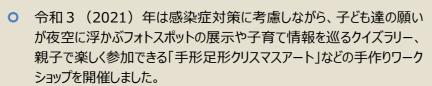
ドローンにサッカーの要素を取り入れた新 感覚スポーツ「ドローンサッカー」の様子

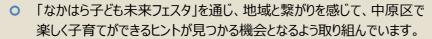
- 令和4(2022)年2月の初開催に向けて、1年以上前から構想が始まり、プロジェクトチームを立ち上げ内容を企画してきました。
- 初回は、ドローンサッカーや e スポーツなどの非接触型の最先端スポーツからスポーツチャンバラやスカッシュなど誰でも気軽に楽しめるスポーツが体験できるイベントになりました。
- 子どもからシニアまで多世代が気軽にさまざまなスポーツを体験できるこのイベントが、今後も継続して開催され、新たな中原区の魅力として地域に定着するよう取り組んでいます。

なかはら子ども未来フェスタ

~区民・商業施設・企業とともに地域の子育てを支えます~

- なかはら子ども未来フェスタは平成 18 (2006) 年から続く、親子で楽しめるおまつりです。区内で子どもや子育てに関わる活動をしている団体等で構成する実行委員会で企画・運営を行っています。
- 令和元(2019)年まで区役所を会場として開催していたイベントでしたが、コロナ禍の影響により、令和2(2020)年、令和3(2021)年は小杉駅周辺の大型商業施設を会場として開催しました。





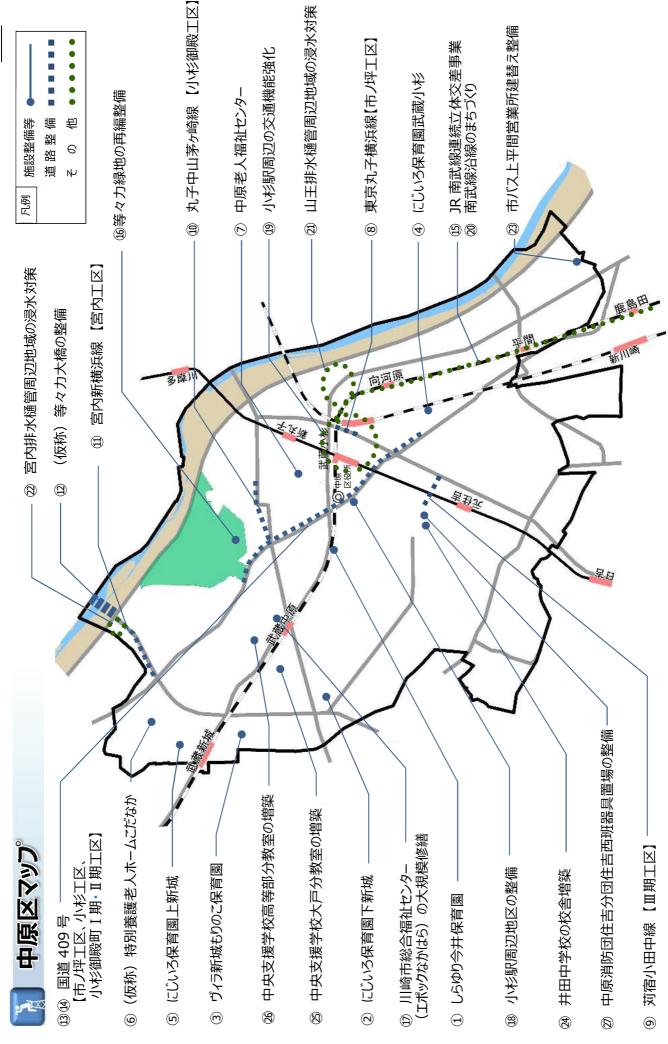


おすすめスポットマップを巡るクイズラリー



★市民の想い、メッセージ

- □ コロナをきっかけに従来のスポーツイベントを見直し、より区民の皆さんに楽しんでいただけるよう地域の皆さんで企画しました。(中原スポーツまつり実行委員/プロジェクトリーダー)
- 子どもが楽しく参加しながら自分のまちを知ることのできる素晴らしい取組だったと思います。週末ど う過ごそうか迷っていたので催しがあって助かりました。(なかはら子ども未来フェスタ参加者)



9

再編整備

等々力緑地の再編整備

	Y
١	6
l	X
	温疹

ツブとの対応表

個化施設				その他
名称	開所予定	定員	MAP 番号	4
しらゆり今井保育園	R4(2022)年度	丫 09	Θ	合物 川崎市総合福祉セン
にじいろ保育園下新城	R4(2022)年度	丫 09	3	(エポックなかはら) 修繕
ヴィラ新城もりのこ保育園	R4(2022)年度	40 人	<u>©</u>	小杉駅周辺地区の聲
にじいろ保育園武蔵小杉	R4(2022)年度	丫 09	4	
にじいろ保育園上新城	R4(2022)年度	丫 09	©	
(仮称)特別養護老人ホーム こだなか	R4(2022)年度	50 人程度	9	小杉駅周辺の交通権
中原老人福祉センター	R8(2026)年度	I	©	

公園
道路•

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号	
東京丸子横浜線[市/坪工区]	道路拡幅	R7(2025) 年度完成	8	山水
可宿小田中線[皿期工区]	道路拡幅	R7(2025) 年度完成	6	個大
4子中山茅ヶ崎線[小杉御殿工区]	道路拡幅、道路新設	R7(2025) 年度完成	9	世世
宫内新横浜線[宮内工区]	道路新設	事業推進		邢
(仮称) 等々力大橋の整備	橋りよう整備	R7(2025) 年度完成	(7)	#6
国道 409 号[市/坪工区]	道路拡幅	R7(2025) 年度完成	(1)	#6
国道 409 号【小杉工区、小杉御殿町 I 期・II 期:区)	道路拡幅	事業推進	(4)	, ##
R 南武線連続立体交差事業	矢向駅~武蔵小杉駅 間の連続立体交差化	事業推進	(3)	1

NAP 毎九	允称	事業概要	事業予定	MAP 番号
Θ (崎市総合福祉センター	施設長寿命化に伴う改修	R5(2023)	(
(5)	修繕		平浸元戏	
<u>©</u>	小杉駅周辺地区の整備	総合自治会館跡地等活用等	R4(2022) 年度事業開始	®
4			JR 横須賀線 下Nホー/新設	
(b)		男でである。 まれるでの。 となった。	R4 (2022) 作序件用開始	(
©	小杉桃司辺の文通機能強化	する安全性・利便性の向上	新規改札口	9
©			K5(2023) 年度供用開始	
IAP 番号	南武線沿線のまちづくり	JR 南武緑連続立体交差事業や治線土地利用転換の機会を投えた戦略的かつ機動的な誘導による駅を中心とした魅力あるまちべりの推進	事業推進	8
8	山王排水樋管周辺地域の浸水対策	下水道施設の整備	事業推進	(2)
6	宮内排水樋管周辺地域の浸水対策	下水道施設の整備	事業推進	8
(9)	市バス上平間営業所 建替え整備	老朽化等による建替え整備	R4(2022) 年度完成	8
	井田中学校の校舎増築	校舎の増築工事	R4(2022) 年度完成	8
(2)	中央支援学校大戸分教室 の増築	校舎の増築工事	R6(2024)年 度完成	8
(E)	中央支援学校高等部分教室 <i>の</i> 増築	校舎等の増築工事	R8(2026) 年度完成	8
(4)	中原消防団住吉分団 住吉西班器具置場の整備	消防団器具置場の改築工事	R5(2023) 年度完成	

地域の課題解決に向けた取組の一覧

事業名(〇は本計画で「計画期間の主な取組」として掲載している事業)

○ 小杉駅周辺の新たなコミュニティ推進事業 ○ 中原区広報・広聴推進事業 ○ 市民活動活性化事業 書ちづくり推進事業 商店街と連携した地域のまちづくり推進事業 区民祭開催経費 ② 地域防災力強化事業 ○ 中原区安全・安心なまちづくり推進事業 中原区安全・安心まちづくり推進事業 中原区放置自転車対策事業 中原区放置自転車対策事業 中原区放置自転車対策事業 ○ 中原区地域包括ケアシステム推進事業 ○ 中原区地域包括ケアシステム推進事業 ○ 中原区地域を指すの活性化 ○ 中原区地域を活生の活性化事業 ○ なかはら福祉健康まつり実施事業 ○ 大きを持ちたしまる地域による指述を表する。 ○ なかはら福祉健康まつり実施事業 ○ 大学でもの発達支援事業 中原区子でて支援事業 中原区と地域子で支援事業 中原区・メイーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツを通した地域活性化推進事業 ○ 区民の手で花いつばい中原事業 環境まちづくり支援事業 中原スポーツまつり開催事業
○ 市民活動活性化事業 まちづくり推進実践活動事業 商店街と連携した地域のまちづくり推進事業 区民祭開催経費 安全・安心なまちづくりの推進 ○ 地域防災力強化事業 ○ 中原区安全・安心まちづくり推進事業 中原区ガイドマップ(安心マップ)作成事業 案内サイン情報更新事業 中原区放置自転車対策事業 交通安全教室開催事業 人と人との出会いを構力をしずる地域福祉の活性化 ○ 中原区地域包括ケアシステム推進事業 ○ 中原区地域を流活性化事業 ○ なかはら福祉健康まつり実施事業 ○ なかはら福祉健康まつり実施事業 ○ 子育て情報発信事業 ○ 子育て支援推進事業 ○ 子育で支援者養成事業 中原区子どもの発達支援事業 中原区子どもの発達支援事業 中原区子どもの発達支援事業 マボーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ 区民の手で花いつばい中原事業 環境まちづくり支援事業
まちづくり推進実践活動事業 商店街と連携した地域のまちづくり推進事業 区民祭開催経費 安全・安心なまちづくりの推進 ○ 地域防災力強化事業 ○ 中原区安全・安心まちづくり推進事業 中原区ガイドマップ(安心マップ)作成事業 案内サイン情報更新事業 中原区が直転車対策事業 交通安全教室開催事業 ○ 中原区地域包括ケアシステム推進事業 ○ 中原区地域を流行化化事業 ○ なかはら福祉健康まつり実施事業 ○ なかはら福祉健康まつり実施事業 ○ 子育て支援推進事業 ○ 子育で支援推進事業 ○ 子育で支援者養成事業 中原区総合子どもネットワーク事業 中原区との発達支援事業 中原区地域予育で支援事業 スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツを通した地域活性化推進事業 ○ 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
商店街と連携した地域のまちづくり推進事業 区民祭開催経費 安全・安心なまちづくりの推進 ○ 地域防災力強化事業 ○ 中原区安全・安心まちづくり推進事業 中原区ガイドマップ(安心マップ)作成事業 案内サイン情報更新事業 中原区放置自転車対策事業 交通安全教室開催事業 人と人との出会いを積わたしする地域福祉の活性化 ○ 中原区地域包括ケアシステム推進事業 ○ 中原区地域を流活性化事業 ○ なかはら福祉健康まつり実施事業 区民と協働したこども支援の推進 ○ 中原区子育て支援推進事業 ○ 子育て支援推進事業 ○ 子育て支援推進事業 ○ 子育て支援者養成事業 中原区総合子どもホットワーク事業 中原区総合子どもホットワーク事業 中原区ともの発達支援事業 中原区地域子育て支援事業 中原区地域子育て支援事業 ○ スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツを通した地域活性化推進事業 ○ 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
安全・安心なまちづくりの推進 〇 地域防災力強化事業 中原区安全・安心まちづくり推進事業 中原区方イドマップ(安心マップ)作成事業 案内サイン情報更新事業 中原区放置自転車対策事業 中原区地域包括ケアシステム推進事業 中原区地域包括ケアシステム推進事業 中原区地域交流活性化事業 ○ 中原区地域交流活性化事業 ○ 中原区地域交流活性化事業 ○ なかはら福祉健康まつり実施事業 区民と協働したこども支援の推進 ○ 中原区子育て支援推進事業 ○ 子育て支援推進事業 ○ 子育て支援者養成事業 中原区子どもの発達支援事業 中原区ともの発達支援事業 中原区地域子育て支援事業 中原区地域子育て支援事業 ○ スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツを通した地域活性化推進事業 ○ 区民の手で花いつばい中原事業 環境まちづくり支援事業
安全・安心なまちづくりの推進 ○ 地域防災力強化事業 ○ 中原区安全・安心まちづくり推進事業 中原区ガイドマップ(安心マップ)作成事業 案内サイン情報更新事業 中原区放置自転車対策事業 交通安全教室開催事業 人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化 ○ 中原区地域包括ケアシステム推進事業 ○ 中原区地域包括ケアシステム推進事業 ○ なかはら福祉健康まつり実施事業 区民と協働したこども支援の推進 ○ 中原区子育て支援推進事業 ○ 子育で情報発信事業 ○ 子育で支援者養成事業 中原区学どもの発達支援事業 中原区がよどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツを通した地域活性化推進事業 ○ 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
○ 地域防災力強化事業 ○ 中原区安全・安心まちづくり推進事業 中原区ガイドマップ(安心マップ)作成事業 案内サイン情報更新事業 中原区放置自転車対策事業 交通安全教室開催事業 ○ 中原区地域福祉の活性化 ○ 中原区地域包括ケアシステム推進事業 ○ 中原区地域交流活性化事業 ○ なかはら福祉健康まつり実施事業 区民と協働したこども支援の推進 ○ 中原区子育て支援推進事業 ○ 子育て情報発信事業 ○ 子育で支援者養成事業 中原区総合子どもネットワーク事業 中原区子どもの発達支援事業 中原区子どもの発達支援事業 中原区地域子育で支援事業 マスポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツを通した地域活性化推進事業 ○ 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
○ 中原区安全・安心まちづくり推進事業 中原区ガイドマップ(安心マップ)作成事業 案内サイン情報更新事業 中原区放置自転車対策事業 交通安全教室開催事業 入と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化 ○ 中原区地域を流活性化事業 ○ 中原区地域を流活性化事業 ○ なかはら福祉健康まつり実施事業 区民と協働したこども支援の推進 ○ 中原区子育て支援推進事業 ○ 子育て技援者養成事業 中原区総合子どもネットワーク事業 中原区総合子どもネットワーク事業 中原区子さもの発達支援事業 中原区・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・
中原区ガイドマップ(安心マップ)作成事業 案内サイン情報更新事業 中原区放置自転車対策事業 交通安全教室開催事業 交通安全教室開催事業 (国際と地域包括ケアシステム推進事業 (国際と地域交流活性化事業 (国際とは動したこども支援の推進 (国際との場合を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を
案内サイン情報更新事業 中原区放置自転車対策事業 交通安全教室開催事業 人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化 〇 中原区地域包括ケアシステム推進事業 〇 中原区地域交流活性化事業 〇 なかはら福祉健康まつり実施事業 区民と協働したこども支援の推進 〇 中原区子育て支援推進事業 〇 子育で情報発信事業 〇 子育で支援者養成事業 中原区子どもの発達支援事業 中原区子どもの発達支援事業 中原区・おどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 〇 スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 〇 スポーツを通した地域活性化推進事業 〇 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
中原区放置自転車対策事業
人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化
○ 中原区地域包括ケアシステム推進事業 ○ 中原区地域交流活性化事業 ○ なかはら福祉健康まつり実施事業 区民と協働したこども支援の推進 ○ 中原区子育て支援推進事業 ○ 子育て情報発信事業 ○ 子育て支援者養成事業 中原区総合子どもネットワーク事業 中原区総合子どもの発達支援事業 中原区地域子育て支援事業 への区地域子育て支援事業 の区との手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
○ 中原区地域交流活性化事業 ○ なかはら福祉健康まつり実施事業 区民と協働したこども支援の推進 ○ 中原区子育て支援推進事業 ○ 子育て情報発信事業 ○ 子育て支援者養成事業 中原区総合子どもネットワーク事業 中原区学もの発達支援事業 中原区地域子育て支援事業 ○ スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツを通した地域活性化推進事業 ○ 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
○ なかはら福祉健康まつり実施事業 ○ 中原区子育で支援推進事業 ○ 子育で情報発信事業 ○ 子育で支援者養成事業 中原区総合子どもネットワーク事業 中原区子どもの発達支援事業 中原区・おどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツを通した地域活性化推進事業 ○ 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
区民と協働したこども支援の推進
○ 中原区子育で支援推進事業 ○ 子育で情報発信事業 ○ 子育で支援者養成事業 中原区総合子どもネットワーク事業 中原区子どもの発達支援事業 中原区地域子育で支援事業 スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツを通した地域活性化推進事業 ○ 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
○ 子育で情報発信事業 ○ 子育で支援者養成事業 中原区総合子どもネットワーク事業 中原区子どもの発達支援事業 中原区地域子育で支援事業 マポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツを通した地域活性化推進事業 ○ 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
○ 子育て支援者養成事業 中原区総合子どもネットワーク事業 中原区子どもの発達支援事業 中原区地域子育て支援事業 マル・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 ○ スポーツを通した地域活性化推進事業 ○ 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
中原区総合子どもネットワーク事業 中原区子どもの発達支援事業 中原区地域子育て支援事業 中原区地域子育て支援事業 スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 O スポーツを通した地域活性化推進事業 O 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
中原区子どもの発達支援事業 中原区地域子育て支援事業 スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 〇 スポーツを通した地域活性化推進事業 〇 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
中原区地域子育て支援事業 スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 O スポーツを通した地域活性化推進事業 O 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 O スポーツを通した地域活性化推進事業 O 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
O スポーツを通した地域活性化推進事業O 区民の手で花いっぱい中原事業環境まちづくり支援事業
O 区民の手で花いっぱい中原事業 環境まちづくり支援事業
環境まちづくり支援事業
The state of the s
■■■■■■■■■■■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
中原区体育及びスポーツ振興事業
中原区民多摩川ロードレース「マイペース大会」開催事業
中原区青少年吹奏楽コンサート事業
中原区役所コンサート開催事業
In Unity開催事業
歴史と緑を活用したまちの魅力発信事業
区役所サービスの環境改善
○ 区役所サービス向上事業
O 区役所混雑緩和·環境改善事業
地域課題対応その他事業
中原区市民提案型事業
地域課題対応事業一般経費
中原区制50周年記念事業
区の新たな課題即応事業
区の新たな課題即応事業

■世帯数 114,918 世帯 (令和4(2022)年1月1日現在)

高津区の木



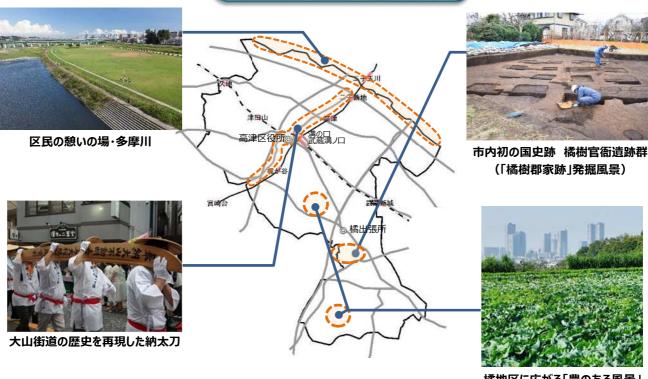




高津区の概要

- 高津区は、多摩川や二ヶ領用水の流れる平坦地と、多摩丘陵の一角を形成する丘陵地で形づくられ、 豊かな水辺空間と起伏ある地形が特徴となっています。
- 昭和 47 (1972) 年に川崎市が政令指定都市に移行した際、5つの行政区のひとつとして誕生し、 昭和 57 (1982) 年の行政区の再編により宮前区が分区して現在の高津区となっています。
- 江戸時代に大山街道沿いの宿場町として賑わった二子地区や溝口地区では、多くの人が交流し商業 が栄えるとともに、歌人・岡本かの子、陶芸家・濱田庄司、画家/彫刻家・岡本太郎や詩人/童謡 作家・小黒恵子など多くの芸術家を輩出しています。また、橘地区には、本市初の国史跡である橘樹 官衙(たちばなかんが)遺跡群をはじめ、市内で唯一現存する前方後円墳を有する蟹ヶ谷古墳群な ど、古代かわさきの記憶を今に残す豊富な歴史的・文化的資源が存在しています。
- 市街地の発展は、昭和初期に玉川電気鉄道溝ノ口線(現・東急田園都市線)と南武鉄道(現・ JR 南武線)の開通を契機として始まり、戦後は、東京への通勤圏として住宅需要が増大したことに伴 い、宅地・マンションの開発や溝口駅北口再開発等の都市基盤の整備が進められてきました。分区当 時、146,793 人 (昭和 57 (1982) 年 7 月 1 日現在) だった人口は、234,478 人 (令和 4 (2022) 年1月1日現在)となり、市内で2番目に多くなっています。将来人口推計では、令和 17 (2035) 年頃に人口のピーク(約 248,000 人)を迎えることが予測されており、今後も人口増 加が続く見込みとなっています。
- 自然や歴史・文化的特性に加え、高津区は市内でも製造業の事業所数が多く、川崎のものづくりを支 える中小の加工組立企業をはじめ、研究開発型企業やベンチャー企業が数多く立地しています。

高津区の主な地域資源・魅力など



(ステキに映え農フォトコンテスト「入賞作品」より)

「歴史と進歩が調和した、心豊かに安心して暮らせるまち」

- 高津区には、大山街道や橘樹官衙遺跡群をはじめ、受け継がれてきた歴史と培われてきた文化が蓄積され、また今も、多くの新しい区民を迎え、新たな都市文化が芽生えています。歴史文化と都市文化の調和を図りながら、まちの魅力を高め、区民がたかつのまちに愛着と誇りを持てるまちづくりを進めます。
- また、多様な文化を持つ区民、世代を超えた区民がともに集い、交わりを結び、支え合うことによって、 豊かな心と生きがいを育み、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちをめざします。

3 これまでの主な取組状況

●地域資源を活かした魅力あるまちづくりの推進

区民が愛着と誇りを持てるまちづくりを推進するため、二ヶ領用水や久地円筒分水、橘樹官衙遺跡群、多摩川の水辺や多摩丘陵の緑など、多様な地域資源の魅力向上や情報発信について、多彩な地域人材とともに区民協働の取組を進めています。また、「歩きたくなるまち」の実現をめざし、回遊性の向上を図っています。

●多様な主体との連携による地域コミュニティ活性化の推進

地域コミュニティの活性化を推進するため、町内会・自治会の活性化を図る取組を進めています。また、 市民・地域団体・企業など多様な主体の連携により、地域コミュニティを活性化させていくとともに、区民 による場づくりや、新たな"コトおこし"がしやすいまちをめざした取組を進めています。

●総合的な子ども・子育て支援の推進

地域で孤立することなく、安心して子育てができるよう、子育て支援事業や転入者子育て交流会を開催し、子育てしやすいまちづくりを推進しています。また、地域の関係機関が連携し、地域全体で子育てを応援する体制の構築をめざすとともに、子育て支援者の人材育成等により、地域の子育て力向上に向けた取組を進めています。

●すこやか・支え合いのまちづくりの推進

「高津公園体操」の普及啓発や健康づくりの活動団体の交流を図り、「多世代交流」、「見守り活動」 など共に支え合う地域づくりにつなげています。また、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、 在宅医療の普及啓発の促進や、マンションにおけるつながりづくり等により、地域の支え合いを推進しています。

● 安全・安心で住みよいまちづくりの推進

区民一人ひとりの防災意識の向上と、自主防災組織や避難所運営会議の活性化により、震災や風水害等に対する地域防災力向上や、避難行動の適正化・分散化を推進しています。また、気候変動がもたらす自然災害リスクの回避・低減を図るため、気候変動に適切に対処する「適応策」等の観点から多様な主体の連携により地域レベルで取り組むとともに、脱炭素社会の実現に向け区民の環境配慮型ライフスタイルへの行動変容の促進をめざし、市の脱炭素戦略におけるモデル地区として「脱炭素アクションみぞのくち」の取組を進めています。



大地の凸凹を実感できる3D画像を 活用した「適応策」の啓発

論

●歴史・文化、自然など魅力あふれる豊富な地域資源があります。

- 区内には、大山街道や国登録文化財である二ヶ領用水と久地円筒分水、市内初の国史跡である橘樹官衙遺跡群などの歴史的・文化的な遺跡や建造物、多摩川の水辺や多摩丘陵の緑など豊かな自然、橘地区などの農のある風景、川崎のものづくり技術を支えてきた企業の集積等、魅力的な地域資源があります。
- また、区内ではダンスや音楽を中心に、世界を舞台に活躍する人材 を輩出するなど、地域資源として新たな可能性を秘めています。
- が関係では、では、100mのでは、100

○ こうした地域資源を活かして、区民のまちへの愛着を育み、誇りを持てるまちづくりを推進するため、まちの回遊性を向上させ、区民が地域資源に触れる機会を増やすとともに、区民などと連携して、新たな地域資源を発掘し、区の魅力をさらに高め、区内外への効果的な情報発信を行っていくことが求められています。

●人と人とのつながりや、気軽に集える場所が大切になっています。

○ 令和 2 (2020) 年までの 5 年間の高津区の転入者数は 81,739 人と、新しい区民が増え続けている一方、高津区区民 生活に関わるニーズ調査(令和 2 (2020) 年実施。以下「ニーズ調査」という。)によると、「近隣の住民同士の関係が薄れている」ことをまちの課題・問題点に挙げる区民が、23.3%と増加傾向にあります。お互いが支え合いながら暮らしていけるよう、人と人とのつながりづくりや、区民一人ひとりが気軽に集える"居場所"づくりを進めていくことが求められています。

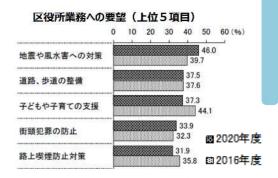


高津地区親子運動会競技風景

○ また、地域課題の解決に重要な役割を担う町内会・自治会等については、地域の活性化に向けて新たな担い手を発掘・育成していくとともに、あわせて企業なども含めた多様な主体により地域課題解決が図られるようなしくみづくりが必要となっています。

●出生数が市内で2番目に多く、転入者に占める子育て世代の割合も高くなっています。

- 令和2(2020)年の年間出生数は1,973人と市内で2番目に多く、また、転入者に占める子育て世代の割合も75.9%と全市平均より高くなっています。子育てに対する不安感や慣れない土地で地域とのつながりの不足などからくる孤立感を抱く区民が多いことが懸念されます。
- □ ニーズ調査でも、区役所への要望として 37.3%の区民が「子どもや子育ての支援」を挙げており、こうした区民のニーズに応えるため、保護者の子育て力の向上や地域の多様な主体が連携して子育てを支える環境づくり、待機児童対策などの取組を総合的に推進する必要があります。



出展:高津区区民生活に関わるニーズ調査 (令和2(2020)年度実施)

●今後、より一層の高齢化が見込まれています。

- 区内の高齢化率は 18.8%(令和3(2021)年9月末現在) と全市平均より低い状況ですが、今後は介護や医療サービスを必要 とする高齢者の増加が見込まれています。
- 一方、ニーズ調査によると、高年齢者ほど健康づくりに関する取組を 望んでいることがわかります。
- 住み慣れた地域で、安心で健康的な暮らしができるよう、医療や介護の連携の促進、見守り・支え合い体制の構築とともに、健康づくり活動への支援や参加促進の取組、多世代交流、地域のつながりづくりなどを進めていく必要があります。



近所の人と顔を合わせて行う 「高津公園体操」

●安全・安心な生活環境を求める区民の意識が高くなっています。

- 地球温暖化の進行により気候変動に伴う災害リスクが 急激に高まっており、多発する風水害等に備えて、区 民一人ひとりが「我が家のリスク」や「地域のリスク」を事 前に認識することで、災害時の適切な避難行動につな げていくことが必要です。
- ニーズ調査によると、家庭での災害への備えや地域の 防災訓練への参加状況は十分ではありません。そのた め、各家庭や地域における自主防災組織等を中心とし た自助・共助(互助)の行動につなげていくことが必要 です。



出展:高津区区民生活に関わるニーズ調査 (令和2(2020)年度実施)

○ さらに、温暖化の「緩和策」や、気候変動に適切に対処する「適応策」について、環境意識の醸成を図ることで、具体的な行動に結び付けていくともに、「安全・安心」な暮らしを守るため、脱炭素社会の実現をめざし、区民一人ひとりが、自らを当事者として捉えながら環境配慮型の行動・ライフスタイルを選択する「行動変容」が求められています。

■違いや多様性を認め合う地域づくりが重要となっています。

- 区内に居住する外国人は、5,137 人(令和3(2021)年 12 月末現在)で、10 年前との比較で約 1.4 倍と増加傾向にあり、区内人口の2%強を占めています。
- 障害に関する理解や関心を深めていくとともに、さらに国籍、年齢、性別などさまざまな違いを超えてお 互いの個性を尊重し合い、認め合う地域づくりを進めることが求められています。

計画期間の主な取組

地域資源を活用した魅力あるまちづくりの推進



- ●歴史的・文化的資源、農資源をはじめとした地域の魅力の区民協働による情報発信
- ●回遊性の向上による「歩きたくなるまち」の実現に向けた取組の推進
- ●区の新たな魅力スポット、文化などの発掘と発信によるまちへの愛着の醸成

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
たかつランドマーク保全活用事業		動による美化活動の実施	也円筒分水修景施 認 施	との管理運営	\longrightarrow
高津区のランドマークとなっている歴史的・文化的資源の保全・活用を推進し、憩いの場や賑わいの創出を図ります。	(年17回) ・美化活動体験イ/ ・体験イベントの開催(年1回)				
	○桜の維持等の専門 ・専門的な維持管 理(年1回)	門的な維持管理 継続実施 一			
			注活用 けた調整及び美化活動	の実施	\longrightarrow
	植栽の専門的な総・専門的な維持管理(年1回)				
	。河川占用範囲拡 ・再編入された河 川区域の占用に 向けた調整及び維 持管理	継続実施	整及び拡大時の管理	体制の検討	\longrightarrow
		・」連絡会との協働による	じた花と緑のまちづく 3コンテナ・花壇の維持 ⁶		
			び緑化の推進に向けた	普及啓発	
	・花壇植栽体験を・「たかつ花街道」の植栽体験を通じた普及啓発	通じた緑化推進に向け 継続実施 一	た普及啓発		→

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
地域資源を活かしたまちづくり	●歩いて地域資源	ー 原に触れるウォーキン	グイベントの実施		
	「高津のさんぽみ				\longrightarrow
推進事業	ち」等を活用した	1			
区内の歴史・文化・自然などの地	ウォーキングイベント				
域資源を活かし、回遊性のある魅	の実施				
力あるまちづくりを推進します。	- L. A. Marilia Arts				
		を活用した地域資源	の魅力発信		
	。古写真等の収集が	及び活用の推進			
	・取組の実施	継続実施			\longrightarrow
	。「高津区ふるさとア	′ーカイブ」の運営推進			
	・取組の実施	継続実施			\longrightarrow
		* # * * * * * * # * * # * # * # * # * # * #	~ ~ ~ *	- *** TIII	
			ンの改善・整備・維持	宇官埋	
	○溝口駅前等におけ	ける公共案内サインの改	できる。		
	・取組の実施	継続実施			\longrightarrow
	。「高津のさんぽみち	5」マップの配布			
	・「高津のさんぽみ	継続実施			\longrightarrow
	ち」マップの増刷				



高津のさんぽみちウォーキングイベント



たかつ花街道の花植え体験

多様な主体との連携による地域コミュニティ活性化の推進











- ●多様な主体の連携と様々な地域資源の地域全体での共有・活用による「ソーシャルデザインセンター」としての「共創プラットフォーム」や、誰もが気軽に集える地域の居場所「まちのひろば」の創出
- ●区民・団体等のイベントや、音楽・スポーツなどを通じた地域活動の新たな担い手づくりの促進による、地域コミュニティの活性化

	現状						
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和7(2025)		
	年度	年度	年度	年度	年度		
たかつ地域コミュニティ活動支援	●気軽な地域の	居場所「まちのひろは	()の創出支援				
事業	○市民創発の土壌	づくりのための「まちづくり	カフェたかつ」の開催				
地域連携の促進を図りながら、区	・「まちづくりカフェた	継続実施			\longrightarrow		
地域連携の促進を図りなから、区 民による「まちのひろば」の創出に	かつ」の開催						
向けた支援を行います。また、町内			創プラットフォーム」構築の ・共創プラットフォーム	の取組			
会・自治会の未加入世帯に向け		の構築に向けた試行					
た加入促進の取組や、地域団体の役割の発信により、地域コミュニ	の実践	的取組の実施	ル)の運用				
ティを活性化します。	o「まちのひろば」の <u>x</u>	なち上げに向けた区民村	目談・支援の実施				
	・区民相談・支援	・区民相談・支援機	・試行を踏まえた取		\longrightarrow		
	のあり方の検討	能の試行的実施	組の推進				
		会の加入促進に向け	,				
Dia Control of the Co		の活動を紹介する冊子	配布				
	・冊子配布	継続実施 一	7 ± Ø88=0:				
A THE STATE OF THE	・相談コーナーの開	(自治)会加入相談: 継続実施 一	コーナーの用設				
	設	中些构起 类加出					
	●まちづくりに必要	要な知識・活動場所・	・情報の提供による市	5民活動等の推進			
対話と交流からまちづくりを考える			民活動支援ルームの運				
「まちづくりカフェたかつ」	・取組の実施	継続実施			\longrightarrow		
	∘まちづくりに係るイ∕	ベントの実施、情報発信	等				
	・イベントの検討	・イベントの検討、実	・イベントの実施		\longrightarrow		
		施					
たかつ音楽・スポーツネットワー	トワー ●地域の音楽資源を活用した魅力あるまちづくりの推進						
ク事業			よる音楽のまちづくりの技	進進			
地域で活躍する音楽やスポーツ関	・花コンサート等のコンサートの実施	継続実施					
係団体の連携によるイベント等を	・こども文化セン	継続実施 -			\longrightarrow		
通じて、地域コミュニティの活性化	ターへの演奏者派						
や世代間交流の充実を図ります。	遣						
make the contract of the			交流や地域コミュニティ?	性化の促進			
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・区内の音楽資源を利用した小規模	継続実施 ━					
	コンサートの実施						
	・おはよう歌の広場	継続実施			\longrightarrow		
The second second	の実施・スパカリカ	・キッズパーカッション					
NOT THE RESERVE OF THE PERSON	ショップの実施	体験ワークショップの					
区民にやすらぎと喜びを届ける		実施					
「花コンサート」	●地域と連携した						
		わさきパラムーブメントの					
	・障害者スポーツ	継続実施			\rightarrow		
	体験イベントの実 施(1回)						
	スポーツ関係団体・誰もがスポーツを	と連携した取組の実施 継続実施 一					
	体験できるイベント	Ψ <u>Ψ</u> 4705 大 /IIC					
	の実施(1回)						
	ダンスを活用したま	ちづくりの推進					
			・ダンスイベントの実施		\rightarrow		
	施(1回)	連携した取組の実施	(10)				

総合的な子ども・子育て支援の推進



- ●地域の子育て力の向上と地域の関係機関のネットワークの強化及び地域全体で子育てを応援する 体制の構築
- ●子育てに必要なさまざまな情報に関する分かりやすい内容、入手しやすい手法による情報発信

	現状	現状 事業内容・目標				
事業名	令和 3 (2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和 5 (2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度	
子育て支援事業 各種子育で講座やイベントを通じて、子育で中の区民の子育でする 力の向上を図ります。	・親子の絆づくりプ ログラム「赤ちゃん	不安感・孤立感の軽・初めて赤ちゃんを育・てる親を対象とした連続講座の開催(年4回)	経滅を図る取組の推	進	\longrightarrow	
	●男性の育児参・男性の育児・地域参加をテーマとした連続講座の開催(年1回)	加 · 地域参加の促進 継続実施 一				
	●子ども・子育てフェンタの実施(年1回)				\longrightarrow	
子育てネットワーク推進事業 地域の関係機関がネットワークを 構築し連携することにより、子育て	●子ども・子育で ・情報共有・意見 交換の実施(年3 回)	ネットワーク会議を通 継続実施 一	じた共有・意見交換	の実施	\longrightarrow	
しやすいまちづくりと地域のつながりづくりを推進します。	● 子育てグループ ・子育てグループの 活動支援を図る交 流会、研修会等の 実施(年1回)				\longrightarrow	
子育て情報発信事業 子育て中の親の立場に立った、より身近な子育て情報を発信し、安心して子育てできるまちづくりを推進します。	・子育て情報ガイドブック「ホッとこそだ	民のニーズに応じた地 ・子育て情報ガイド ブック「ホッとこそだて・ たかつ」の更新・発行 (年1回)	地域の子育で情報の	提供	$\stackrel{>}{\longrightarrow}$	
20070		援センター(区内 8 ; ・リーフレット(高津区・ 版)の発行			\longrightarrow	



楽しみながら子育で情報を得られる 子ども・子育てフェスタ



子育てグループの紹介を行う イベントの開催



地域の子育て情報が満載の冊子 「ホッとこそだて・たかつ」

すこやか・支え合いのまちづくりの推進





- ●健康づくりや、つながりの場づくりの活動に取り組むグループ活動の支援による交流促進
- ●地域団体と連携した健康寿命の延伸に向けた取組の推進
- ●マンション居住者と地域とのつながりづくりの支援に向けた好事例の発信・共有

	現状	現状事業内容・目標			
事業名	令和3(2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和 7 (2025) 年度
健康長寿のまちづくり推進事業 「高津公園体操」の普及啓発や 健康づくりの活動団体の交流を図り、「健康寿命の延伸」や「多世代 交流」、「見守り活動」など共に支	・たかつ区健康福 祉まつりの実施 (年1回)	継続実施	社をともに考える場で ・閉じこもり予防・見っ	がりの推進	<u> </u>
え合う地域づくりにつなげます。		、継続参加者フォローア・公園体操体験会と フォローアップ研修の 実施	アップ研修の実施 		\longrightarrow
	・公園体操及び健康づくり活動の支援	・新規立上げ支援と リーダー向け交流会の 実施		会の実施 	\longrightarrow
		べり活動紹介リーフレッ ・公園体操動画撮影 と広報、リーフレットの 更新	・新たなリーフレットの	・新たなリーフレットを 活用した取組の推進	\longrightarrow
高津区地域包括支援ネットワーク推進事業 住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、在宅医療の普	● 在宅医療の普・区民の在宅医療の啓発のためのシンボジウムの開催 (年1回)				\longrightarrow
及啓発の促進や、マンションにおけるつながりづくり等を推進します。	●マンションにおけ ・マンション居住者 間及び居住者と地 域とのつながりづくり 支援	けるつながりづくりの支 継続実施 一	援		\rightarrow
	●団塊ジュニア世	代を対象とした健康 ・健康づくりや人生 100年時代に向けた 普及啓発	づくり・人生100年間	寺代に向けた情報発化	言等の取組



たかつ区健康福祉まつりの 測定コーナーの様子



在宅医療の普及啓発を行う 「在宅医療シンポジウム」

安全・安心で住みよいまちづくりの推進



- ●区民一人ひとりの防災意識の向上と自主防災組織等の活性化による、地域防災力向上と避難行動 の適正化・分散化の推進
- ●気候変動がもたらす自然災害リスクの回避・低減に向けた多様な主体の連携による地域レベルの取組の推進と、脱炭素社会の実現に向けた区民の環境配慮型ライフスタイルへの行動変容の促進

	現状 事業内容・目標							
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)			
	年度	年度	年度	年度	年度			
高津区防災まちづくり推進事業	● 区民の防災意識を醸成するための属性軸別の啓発活動の実施 ○マイ減災マップワークショップ、区内小中高等学校・関係機関等へのぼうさい出前講座などの実施							
自助・共助(互助)・公助の取	・取組の実施	継続実施			\longrightarrow			
組を進め、高津区全体の地域防災力・災害対応力の向上を図ります。	防災協力事業所防災協力事業所など特性を活かした啓発の実施	など多様な主体と連携 継続実施 一	した啓発の実施		\rightarrow			
	●自主防災組織	·避難所運営会議·i	訓練への継続した運	営支援				
	避難所運営会議・訓練への運営支	・自助・共助を主眼とした訓練や各種マニュアル等の作成による 運営支援の実施			\longrightarrow			
		所職員の対応力の向設置訓練の実施による 継続実施 一	河上の取組 効果的な初動体制の4	構築・強化と職員の対 応	芯力の向上			
	・風水害対応研修等の実施による効果的な初動体制の構築・強化と職員の対応力の向上							
	・風水害対応研修 等の実施				\longrightarrow			
	●高津区総合防	災訓練の実施						
		・区民や関係機関との連携による地域特性に応じた実践的な			\longrightarrow			
		訓練の実施(年2 回(高津地区・橘地 区))						
/// A EL /// EW/ - 1// =			シライン実施に向けた	検討				
総合防災訓練の様子		・各種訓練・研修、 出前講座等のオンラ インの実施・検証						

	現状	現状 事業内容・目標				
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和 6 (2024)	令和7(2025)	
	年度	年度	年度	年度	年度	
「エコシティたかつ」推進事業	●気候変動「適応	 家員を中心とした環境	境意識の啓発、理解	F促進		
地球温暖化緩和策、気候変動	・イベント等におけ	・防災や環境をテーマ			\longrightarrow	
適応策などの取組を、多様な主体	る普及啓発の推進	とした区主催イベント				
との連携により地域レベルで推進		等の機会を活用した				
するとともに、区民の環境意識の		気候変動適応策等				
向上を目指します。		の普及啓発の実施				
I see allowy	●区内小学校等	を対象とした環境学	習支援の実施			
	・「学校流域プロ	・ビオトープ等を活用			\longrightarrow	
	ジェクト」の実施	した環境学習の支援				
	●市民協働による	5生物多様性·保水	カの向上を図る実践	的取組の推進		
	「たかつ生きもの	・「たかつの自然の賑			\longrightarrow	
	探検隊」、「たかつ	わいづくり事業」の実				
	水と緑の探検隊」	施				
	の開催					
	●環境配慮型ラ	イフスタイルへの行動	変容の実現に向けた	÷「脱炭素アクションⅠ	の推進	
	◦脱炭素アクション∂	ヶぞのくちプロジェクト創む	出部会の開催	_		
	・脱炭素アクション	継続実施			\longrightarrow	
	みぞのくちプロジェク					
The state of the s	ト創出部会の開催					
12500	o脱炭素でからった。	。 yぞのくちに関するプロジ	ェクトの宇施・垪逬			
	・脱炭素アクション	継続実施 一	エノーの大川・正正			
	みぞのくちに関する	州				
「脱炭素アクションみぞのくち」	プロジェクトの推進					
推進イベント	プログエグトの対応医					

地域の課題解決に向けたその他の取組

	取			現状	現状事業内容·目標			
区名	組の柱	事業名	概要	平成30~令和3 ^(2018~21) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和5(2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
高	津区		+ 7 + + ~ 1 / 0 o 1 / 1 / 5					
	1	也域資源を活用した魅力	あるまちつくりの推進	<u> </u>				
		高津区プロモーション 推進事業	高津区の区政情報を広く区民に 周知するとともに、区民の地域に 対する愛着や誇り(シビックブライ ド)を醸成していための取組を 推進していきます。	●区民アンケート等を	を活用した区政情報(踏まえた利便性が高く 規模イベントを活用し	 、魅力的なガイドマッフ 		の実施
		たかつ魅力ネットワー ク事業	大山街道などの高津区の地域資源を活かした事業を展開し、高津の魅力を発信します。	大山街道周辺整備「たちばな農のある。ものづくりのまち推済	まちづくり」推進事業の	実施		
	1	を様な主体との連携によ	る地域コミュニティ活性化の推進					
		たかつまちおこしネット ワーク事業	取組イベントを通じて、青少年の 健全育成、親子のふれあいと健 康増進並びに近隣相互の親睦を 深め合うことによって、地域の活性 化を図ります。	●高津区子どもフェア●高津地区・橋地区●橋ふるさと祭りにおい●円筒分水スプリンク	親子運動会の開催 ける子どもイベントの実	施		
		たかつ学習・文化ネッ トワーク事業	地域資源を活用し、コミュニティの 活性化を図るため、ガイド事業の 実施及び外国人市民への支援 等を実施します。	●高津区文化振興事●高津区多文化共生●高津区生涯学習推	推進事業の実施			
		高津区民祭開催経費	地域コミュニティの活性化を図るため、地域に密着した事業である高 津区民祭の開催を支援します。	●区民により構成され	る高津区民祭実行委	員会への後援名義使	用承諾及び補助金の語	支出
	総合的な子ども・子育て支援の推進							
		高津区待機児童対策 推進事業	区内保育園の利用を検討する市 民への情報提供の充実を図りま す。	●高津区子育て施設	内映像の制作と川崎 マップ(改訂版)の作 う保育所探し」の作成。	 成と配布 	(YouTube) への公 	
	3	安全・安心で住みよいま	ちづくりの推進					
		高津区放置自転車対 策事業	交通の妨げとなる放置自転車の 解消に向けて啓発活動等を行い、通行環境の改善を図ります。	●放置禁止区域にお	ける放置自転車等の記	 一直的な撤去作業及び 	ド啓発活動の実施	
		高津安全・安心まちづ くり支援事業	地域の防犯活動を行う防犯パトロール隊の活動支援とともに、犯罪の抑止や交通事故の防止などの広報・啓発等を行い、安全・安心まちづくりの推進を図ります。		体、行政が一体となった 足進、特殊詐欺対策、		Ī	
		交通安全の普及啓発 事業	対象者の年齢や生活スタイルに 合わせた啓発活動を通じて、区 民の交通安全に対する意識を高 め、事故のない安全なまちづくりを 進めます。		意識向上に向けた交通 通関係団体等と連携し			
		ペットの飼い主等に対 する防災啓発事業	ペットの飼い主に対して、日頃から の準備や備えの必要性を啓発す るとともに、ペットとの同行避難等 の具体的な対応策を周知してい きます。	●来庁者へ冊子やリ- ●啓発品の展示	象とした防災の備え等 -フレットの配布 における啓発活動の多		Ĭ	
		土のうステーション運 営事業	大雨による道路冠水や床下浸水が発生する恐れが高い地域において、区民が土のうを迅速に入手することができる体制を整備します。	◆土のうステーションの)運営による区民が土	のうを容易に入手でき	る体制の整備	

又			現状		事業内	容·目標	
組の柱	事業名	概要	平成30~令和3 (2018~21) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
区							
D	区役所サービス向上事業		l				
	高津区役所サービス 向上事業	市民満足度の一層の向上をめざ し、市民目線に立った区役所サー ビスが提供できるよう、質の向上に 取り組みます。	●区役所及び関連施	とした接遇研修の実施 	 		
ij	也域課題対応事業その個						
	高津区市民提案型協 働事 業	地域課題の解決に資する事業を 市民団体等から募集、選定し、 区と協働で実施します。	選定事業の実施、翌年度実施事業の				
	高津区地域課題対応 事業管理運営事業	高津区地域課題対応事業の効率的・効果的な推進を支えるため、必要となる事務・管理運営を行います。	●高津区地域課題対	か事業を支える事務等	等の実施		
	高津区区民生活に関 わるニーズ調査事業	区民のニーズに対応した効率的・ 効果的な事業を執行するため、 区民アンケート調査を実施しま す。	●アンケート調査に向	けた検討・実施			
	高津区区制50周年 記念事業	令和4 (2022) 年度に迎える 区制50周年を契機として、地域 の多様な主体と連携しながら、区 民のまちへの愛着や区民であるこ とへの誇りを喚起していくための取 組を進めます。		制作した動画等を活月 の連携による、まちの・			
Σ	区の新たな課題即応事詞	K					
	区の新たな課題即応 事業	新たに生じた課題に、適切かつ迅速に対応し、解決に向けた取組を推進します。	●新たに発生する課題	 選に対応する事業の実 	i 施 		



高津区における特徴あるまちづくりの取組

高津区で展開されている市民生活を支える事業のうち、区計画に記載されている事業(地域課題対応事業) 以外の事業に関連した、区の特徴的な取組を紹介します。

●市民の環境配慮型ライフスタイルへの行動変容の実現に向けた「脱炭素アクシ ョンみぞのくち」の取組の推進

本市では、2050年の脱炭素社会の実現に向けて気候変動問題が差し迫った課題であることを市民・事業 者と認識を共有し、地球温暖化対策の取組を加速化させ、具体的な取組を実践するために、脱炭素戦略「か わさきカーボンゼロチャレンジ 2050」を令和 2 (2020) 年 11 月に策定しました。

戦略に基づく脱炭素化都市の身近な取組の具体像を示すショーケースとなるよう、高津区の溝口周辺地域 をモデル地区とした「脱炭素アクションみぞのくち」を推進しています。同地区において脱炭素化に資する身近な 取組や先進的な取組を集中的に実施し、取組の効果や利便性を実感してもらうことで、市民一人ひとりの環 境配慮型のライフスタイルへの行動変容を促す取組を推進しています。

第 3 期実施計画期間中においても、脱炭素社会の実現に向け、市民・事業者と協働し、市民の行動変 容につながる取組を推進していきます。

【政策体系別計画 302P:施策 3-1-1 地球温暖化対策事業】

【高津区役所における関連した取組】

○ 市の率先行動として、令和3 (2021) 年度から高津区役所ほ か区内の4公共施設に再生可能エネルギー100%電力を導入 しています。

また、区役所内に給水スポットを導入(令和5(2023)年3 月頃までの実証事業) するとともに、公用車への燃料電池自動 車を導入(令和4(2022)年度予定)するなどの取組を推 進しています。

○ 市民一人ひとりが実施できる脱炭素アクションの創出・拡大のため、 「脱炭素アクション推進会議 |委員などの多様な主体が連携して、 アイデアを出し合い、意見交換を進めながら、プロジェクト化に向け た取組を推進しています。



寄り、行動する経験を通じて、多様な主体の協働・連携により区の課題解決をめざす「共創プラットフォーム」の 構築につなげていきます。また、こうした地域資源・人材のマッチン グの取組を積み重ねることで、高津区における「ソーシャルデザイン センター」の創出など、「希望のシナリオ」の実現に向けた市民創発

による持続可能な暮らしやすい地域づくりを進めていきます。





○ 「脱炭素アクションみぞのくち」におけるさまざまな取組により、各主体が具体的に話し合い、地域資源を持ち



"それいいね"が広がるまちづくりに向けて

高津区で展開されている事業のうち、地域課題の解決に向けて、市民や団体等と協働・連携して行っている特徴的な取組を紹介します。

●地域の連携・交流で賑わいのあるまちへ

高津区では、賑わいのあるまちづくりのために、地域で活動する団体や企業などの多様な主体が連携してさまざまな取組を進めています。地域資源を活かしながら、人と人との交流によって連携や交流の輪を広げていきます。

高津区子ども・子育てフェスタ ~楽しく過ごしながら子育てを知る~

- 子育て中の区民が、子どもと一緒に楽しく過ごしながら子育てを学ぶことで子どもを育てる力の向上を図るとともに、区内の子育て支援機関・活動団体の情報を得ることで日常的な子育て支援にもつなげていきます。



楽しい催し物で子育てを応援します

ダンス!ダンス!たかつ ~ジャンルを超えた"ダンス"で区民がひとつに~

- 「ダンス!ダンス!たかつ(通称: DDT)」は、「キミが躍れば、みんながマチが踊りだす。」を合言葉に、ジャンル、世代、言語、障がいの有無など、すべての違いを超えて、区内で活動するダンサーが集うオールジャンルのダンスの祭典として令和の時代とともに始まりました。
- 武蔵溝ノ口駅の南北自由通路に集う若者ダンサー、区内に数多くあるダンス教室の存在、区内に位置する音楽大学のダンスコースなど、区内に点在する「ダンス」を一つの地域資源と捉え、今後のまちづくりの一つの核として、これらの資源を活用した取組を進めていきます。



ダンス!ダンス!たかつ 2020 フィナーレ。 すべての違いを乗り越えて 盛り上がりました!

たかつ自然の賑わいづくり ~学校、企業等と連携した森づくりの挑戦~

- 市立緑ヶ丘霊園内の森の一部は、常緑樹により、林床が暗く、下草が少なくなり、保水力が低下している状況であったことから、平成 26 (2014) 年から、この森をモデル地区として、専門家立会いのもと、健全な森の再生や、ホタルやトンボが舞う森づくりをめざしています。
- 可現在は、区内小学校の児童とともに、間伐作業や外来植物の防除を進めているほか、区内ものづくり企業との連携・協力により、森で発見した希少なラン科植物「エビネ」の保全等に取り組んでいます。今後も、学校・企業など、地域と連携して森づくりを進めていきます。

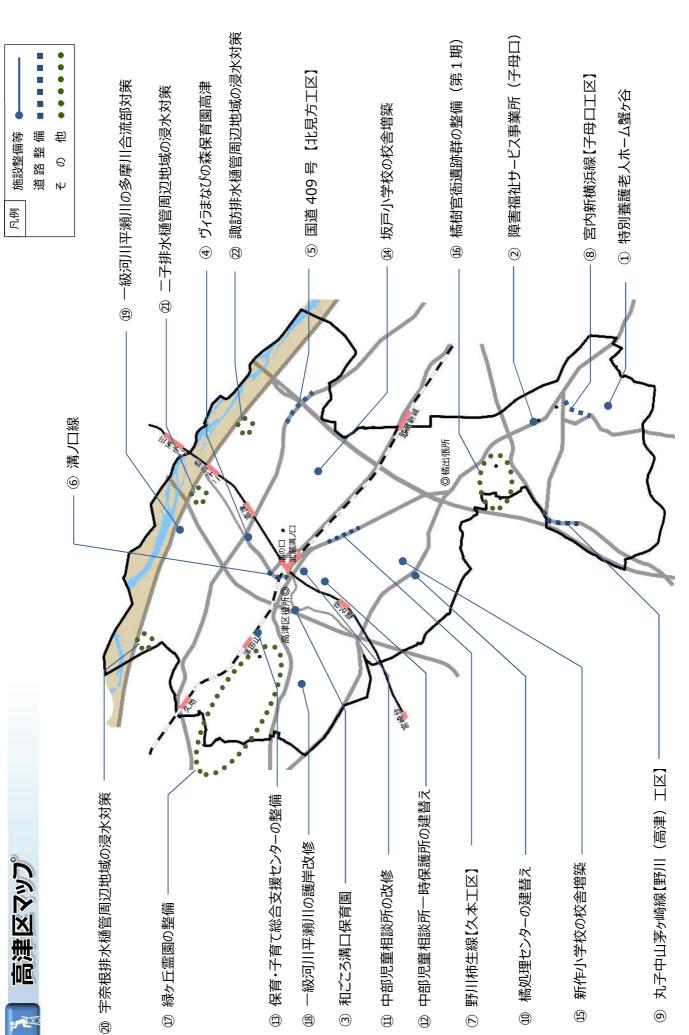


ノコギリで木を切る作業などを通じて、 楽しみながら、環境について学んでいます

★市民の想い、メッセージ

- 年齢問わず、誰もが参加できて、楽しくダンスを発表できる企画をありがとうございました。今後も盛り上げていただきたいです。(ダンス!ダンス!たかつ 2020 来場者アンケート)
- 楽しく木を切ったりすることで、森を良くすることに自分も役立つことができ、うれしく思いました。またこの森に来たいです。令和3(2021)年度水と緑の探検隊参加児童アンケート)







➡ 区のマップとの対応表

- その他

福祉施設

格格	開所予定	识	MAP 番号	<u> </u>
特別養護老人ホーム蟹ヶ谷	R4(2022)年度	150 人 短期入所 10 人	Θ	#
障害福祉サービス事業所(子母口)	R5(2023)年度	生活介護 40 人 短期入所 12 人 共同生活 援助 10 人 日中一時 支援 10 人	@	年1 在力
和ごころ溝口保育園	R4(2022)年度	个09	©	书
ヴィラまなびの森保育園高津	R4(2022)年度	丫09	4	

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
国道 409 号【北見方工区】	道路拡幅	事業推進	©
溝/口線	道路抗幅	事業推進	9
野川柿生線【久本工区】	道路抗幅	事業推進	©
宮内新横浜線【子母口工区】	道路新設	R4(2022) 年度完成	®
九子中山茅ヶ崎線 【野川(高津)工区】	道路拡幅	事業推進	6

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
橘処理センターの建替え	廃棄物処理施設の建替工事	R5(2023) 年度稼働	9
中部児童相談所の改修	施設狭あい解消のための整備	R5(2023) 年度供用開始	
中部児童相談所 一時保護所の建替え	一時保護児童の生活環境改善 に向けた整備	R7(2025) 年度供用開始	(2)
保育・子育て総合支援 センターの整備	保育・子育て支援拠点の整備	事業推進	(3)
坂戸小学校の校舎増築	校舎の増築工事	R5(2023) 年度完成	(4)
新作小学校の校舎増築	校舎の増築工事	R5(2023) 年度完成	(2)
橘樹官衙遺跡群の整備 (第1期)	国史跡橋樹官衙遺跡群の保存 と史跡整備	R5(2023) 年度完成	9
緑ケ丘霊園の整備	小区画の一般墓所の整備	事業推進	
一級河川平瀬川の護岸改 修	施設機能向上のための護岸改 修	事業推進	(8)
一級河川平瀬川の多摩川 台流部対 策	治水安全度向上のための堤防 整備	事業推進	(E)
宇奈根排水樋管周辺地域 の浸水対策	下水道施設の整備	事業推進	8
ニ子排水樋管周辺地域の 浸水対策	下水道施設の整備	事業推進	(2)
諏訪排水樋管周辺地域の 浸水対策	下水道施設の整備	事業推進	8

地域の課題解決に向けた取組の一覧

事業名(〇は本計画で「計画期間の主な取組」として掲載している事業)

地域資源を活用した魅力ある	るまちづくりの推進
	たかつランドマーク保全活用事業
C) 地域資源を活かしたまちづくり推進事業
	高津区プロモーション推進事業
	たかつ魅力ネットワーク事業
多様な主体との連携による地	也域コミュニティ活性化の推進
	たかつ地域コミュニティ活動支援事業
	たかつ音楽・スポーツネットワーク事業
	たかつまちおこしネットワーク事業
	たかつ学習・文化ネットワーク事業
	高津区民祭開催経費
総合的な子ども・子育て支援	の推進
C) 子育て支援事業
C) 子育てネットワーク推進事業
C) 子育で情報発信事業
	高津区待機児童対策推進事業
すこやか・支え合いのまち <u>づ</u>	くりの推進
C) 健康長寿のまちづくり推進事業
) 高津区地域包括支援ネットワーク推進事業
安全・安心で住みよいまちづ	くりの推進
C) 高津区防災まちづくり推進事業
C) 「エコシティたかつ」推進事業
	高津区放置自転車対策事業
	高津安全・安心まちづくり支援事業
	交通安全の普及啓発事業
	ペットの飼い主等に対する防災啓発事業
	土のうステーション運営事業
区役所サービス向上事業	
	高津区役所サービス向上事業
地域課題対応その他事業	
	高津区市民提案型協働事業
	高津区地域課題対応事業管理運営事業
	高津区区民生活に関わるニーズ調査事業
	高津区区制50周年記念事業
区の新たな課題即応事業	
	区の新たな課題即応事業

字前区 ● 人口 234,394 人 面積 18.60 km²



■世帯数 103,724 世帯 (令和4(2022)年1月1日現在)







宮前区の概要

- 宮前区は、多摩丘陵の一角に位置し、区内には、平瀬川、矢上川、有馬川の3つの河川が流れてい ます。これらの川に挟まれて、丘陵、坂、谷戸などで構成された起伏に富んだ地形が特徴です。
- 明治 22(1889)年の市制・町村制の施行に伴い、橘樹郡(たちばなぐん)宮前村(みやさきむら) 及び向丘村(むかおかむら)が誕生しました。両村は、昭和 13(1938)年に本市に編入され、昭 和 47 (1972) 年に本市が政令指定都市に移行した後は高津区に属していましたが、昭和 57 (1982) 年に分区し、現在の宮前区となりました。
- 昭和41(1966)年の溝の口から長津田間の田園都市線の開通、昭和43(1968)年の東名高 速道路・東名川崎インターチェンジの開通・開設などによる交通基盤の整備とともに、郊外住宅地として の開発が進みました。その結果、人口は、分区当時の約15万人から急速に増加し、令和4(2022) 年1月現在で約23.4万人となっています。
- 市内7区の中では生産緑地面積が最も広く、農産物直売所が区内各地に点在しているほか、公園 緑地数も2番目に多いなど、身近に農や緑を感じることができます。また、旧石器時代の鷲ヶ峰遺跡や 弥生時代・古墳時代の東高根遺跡、本市初の国史跡である橘樹官衙(たちばなかんが)遺跡群 (影向寺 (ようごうじ) 遺跡) などが存在し、歴史のある土地でもあります。

宮前区の主な地域資源・魅力など



影向寺·影向寺遺跡(橘樹官衙遺跡群)

まちづくりの方向性

「人が好き 緑が好き まちが好き」

- 宮前区は、起伏に富んだ多摩丘陵の一角に位置し、地域に根付いた歴史・文化、農のある風景や平瀬川の水辺、菅生緑地や身近な公園の豊かな緑などの多彩な地域資源に恵まれているとともに、多くの主体的に活動する区民に支えられてきたまちです。
- キャッチフレーズ「人が好き 緑が好き まちが好き」は、それぞれ「コミュニティ豊かな区民の和」、「豊かな 自然」、「自然と区民の生活が調和する豊かな地域」を象徴しており、平成 5 (1993) 年に区制 10 周年を記念して区民により選ばれ、親しまれてきたものです。
- 今後も、区民が守り、大切に育んできた歴史・文化や農・自然などの多彩な地域資源を活かし、誰もが 地域に愛着を持ち、生きがいを持って暮らせる、区民が主役のまちづくりを進めていきます。

3 これまでの主な取組状況

● 多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進

歴史ガイドや農産物マップの配布、ウォーキングイベントや「響け!みやまえ太鼓ミーティング」など、多彩な歴史・文化、農や自然などの地域資源の魅力の発信や地域資源を活かした参加型イベントの開催により、地域への愛着や活動への意識の醸成を図り、区民の主体的な活動によるまちづくりを進めています。

●地域コミュニティ活性化に向けた地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進

身近な地域課題の解決に向けて、区民自らが主体的に取り組めるよう、子育て世代と地域活動団体等の接点となる多世代交流の場の創出や多様な主体の連携促進に取り組むことなどにより、地域活動に関わるきっかけづくりや人材育成、市民活動団体間のネットワーク形成等を促進するとともに、市民活動に必要な場の提供や環境整備を進めています。

●心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進

高齢者に限らず、障害者や子ども、子育て中の親などを加え、現時点で他者からのケアを必要としない方々を含めたすべての区民が安心して暮らし続けることができるよう、地域のつながり・支え合いの大切さへの理解と共感を広げる取組やネットワーク会議等を通じた区民・事業者・行政等の連携強化の取組等により、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進しています。

●地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進

子ども・子育てネットワーク会議の開催や、「冒険遊び場」の活動支援を通じ、地域の子育て活動に携わる区民と協働し、切れ目のない子ども・子育て支援を進めるとともに、情報誌やホームページ、SNS等の各種情報メディアを効果的に活用することにより、さまざまな情報を発信・提供し、地域で安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいます。

●区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進

さまざまな世代が参加する防災フェア等の普及啓発事業から地域の自主防災組織訓練や避難所開設訓練へとつなげるしくみづくりを構築するとともに、区内の地域人材を活用し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進しています。また、学校連携により防犯・防災教育を通じて啓発活動を推進し、さらに、より多くの区民がスポーツに親しみ、健康や体力の維持増進が図れるよう、スポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいます。

現状と課題

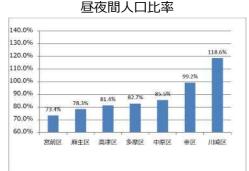
●区民の手で守り、育ててきた地域の魅力を次の世代へと引き継ぎます。

- 宮前区は、本市初の国史跡に指定された橘樹官衙遺跡群(影) 向寺遺跡)や地域に根ざした伝統芸能などの歴史・文化、農のあ る風景や平瀬川流域の水辺、菅生緑地などの緑豊かな自然等、 魅力ある地域資源に恵まれており、豊かな自然環境を活かした区 民主体のまちづくりの取組が盛んで、区内外で高い評価を得ていま す。
- 今後も、魅力ある地域であり続けられるよう、より多くの区民に地域 の魅力と大切さを知ってもらい、次の世代へと引き継いでいくことが 求められています。



●昼夜間人口比率が 73.4%と市内で最も低くなっています。

- 昼夜間人口比率が73.4%(平成27(2015)年国勢 調査)と市内で最も低くなっており、区外を日常の生活圏と している区民が多数いることから、地域の魅力を知ることで、 地域への愛着や誇りを育むことが必要となっています。
- 地域包括ケアシステムの構築や地域防災力の向上など、地 域の課題解決にあたっては、地域の一員としての自覚を高 めるとともに、地域での活動のきっかけづくりや、人と人とをつ なげる地域コミュニティづくりが一層求められています。



資料: 平成 27 (2015) 年国勢調査

●急速に高齢化が進む中で、「元気な高齢者が多いまち」という長所を維持する取組が求 められています。

○ 宮前区は、男性・女性の平均寿命が共に全国 10 位 (男 性 82.4 歳。女性 88.4 歳。平成 27 (2015) 年市区 町村別生命表(厚生労働省))で、要介護認定率が 17.5% (令和 2 (2020) 年 3 月末現在) と市内で最 も低いなど、「元気な高齢者が多いまち」です。この特長を 維持していくためには、高齢者に加え、若年層に対しても健 康づくりの大切さを伝えていくとともに、元気な高齢者が地域 で活躍できる場づくりやきっけけづくりが必要です。

が求められています。

○ 一方で、今後は急速に高齢化が進んでいくことが見込ま れ、また、ひとり暮らしで見守りが必要な高齢者など、支援 が必要な区民も増えています。それぞれの地域で区民が主体的に活動し、互いに支え合えるしくみづくり



資料:健康福祉局資料 (令和2(2020)年3月末現在)

●安心して子育てできる環境の整備が求められています。

- 区内の0~14歳の人口の割合は、13.7%(令和2 (2020)年国勢調査)と7区の中で最も高く、「夫婦と 子」のみからなる世帯の比率は、32.5%(令和2 (2020)年国勢調査)と、これも7区の中で最も高く、 区内には多くの核家族が暮らしています。
- 転入等により慣れない土地で育児をする保護者を含め、すべての子育て中の家庭が安心して子育てできるよう、地域全体で子育てを支える環境をさまざまな主体が連携して整備し、子ども・若者や保護者を支えることが必要です。

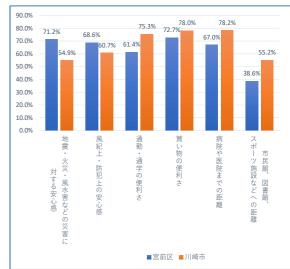


資料:令和2(2020)年国勢調査

●安全・安心で、快適なまちにしたいという区民の意識が高まっています。

- 令和 2 (2020) 年度かわさき市民アンケートでは、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」や「風紀上・防犯上の安心感」など、安全性への満足度は市全体より高くなっているものの、「市政の仕事で今後特に力をいれてほしいこと」の上位に「防犯対策」が挙げられ、より一層、安全・安心なまちにしたいという区民の意識が伺えます。
- 一方で、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」や「通勤・通学の便利さ」、「病院や医院までの距離」など、利便性等への満足度が市全体の平均を下回っています。そのため、鷺沼駅周辺再編整備の機会を捉えた宮前区全体の将来を見据えた取組との連携や、坂の多い地域の交通課題への対応をはじめとする生活環境向上、それぞれの地域で身近にスポーツや文化に親しめる環境づくりなど、区民と協働しながら、より快適に暮らせるまちづくりを進める必要があります。

生活環境満足度



資料:令和2(2020)年度かわさき市民アンケート

計画期間の主な取組

多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進









- ●文化・伝統の保存・継承に向けた次世代の人材の発掘と育成の推進
- ●歴史・農などの地域資源を活用した魅力発信・参加型イベントの開催による、郷土愛の醸成と多様な人材の参画による地域づくりの推進
- ●スポーツ施設等を活用した、さまざまな世代がスポーツや健康づくりに親しめる環境づくりの推進

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
みやまえ太鼓ミーティング開催事業 和太鼓団体による演奏のほか、地域に伝わる民俗芸能の紹介を取り入れたイベントを行い、文化・伝統の再認識と、保存・継承に向けた次世代の人材の発掘と育成につなげます。	○和太鼓演奏や民俗:R2·3:中止(R1 和太鼓12団体、民俗芸能1団体、民俗芸能1団体参加)	芸能の発表などによる「 参加団体数:和太 鼓12団体、民俗芸 能1団体 を中心とした実行委員	響け!みやまえ太鼓ミー参加団体数:和太鼓12団体、民俗芸能1団体	参加団体数:和太	鼓12団体、民俗芸 能1団体
地域の魅力発信事業 区内の「歴史的遺産」、「農」といった地域資源を活用したマップの布による情報発信等によ	●「歴史的遺産」を ・市民活動団体との協 ・配布の実施	協働による宮前歴史ガイ	・改訂に向けた調査、配布の実施	・改訂、配布の実施	・配布の実施
り、郷土愛の醸成と多様な人材の参画による地域づくりを推進します。	・2コース改訂 発行部数: 各6,000部		・2コース改訂、発行及び配布の実施	・改訂に向けた全コース調査及び配布の実施	
	・歴史ガイドでまち歩 き (春1回、秋1回 開催)	継続実施	を紹介するまち歩きイベ	ントの開催	
	市民活動団体との協・配布の実施宮前区の農の魅力を	そ伝えるイベントの開催		・改訂、配布の実施	・配布の実施
	・農家巡りウォーキン グの実施 (春1回、 秋1回開催)	継続実施			



響け!みやまえ太鼓ミーティング



農産物直売所ガイド&マップ

現状	事業内容・目標				
令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)	
年度	年度	年度	年度	年度	
教室等開催回数:	教室等開催回数:	教室等開催回数:	教室等開催回数:	教室等開催回数:	
45回	40回以上	40回以上	40回以上	40回以上	
●スポーツふれあい	事業の実施				
ふれあいスポーツ事業	美の実施				
開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	
	令和3(2021) 年度 ● フロンタウンさぎぬ ○ボールウォーキング& 教室等開催回数: 45回 ● スポーツふれあい ○ふれあいスポーツ事美	令和3 (2021) 年度 中度 ◆フロンタウンさぎぬまとの連携事業の多。ボールウォーキング&ストレッチ教室、スポーツ教室等開催回数: 45回 ◆スポーツふれあい事業の実施 ○ ふれあいスポーツ事業の実施	令和3 (2021)	令和3 (2021) 令和4 (2022) 令和5 (2023) 令和6 (2024) 年度 年度 年度 年度 年度 年度 ● プロンタウンさぎぬまとの連携事業の実施 ○ボールウォーキング&ストレッチ教室、スポーツ体験会等の開催 教室等開催回数: 教室等開催回数: 教室等開催回数: 40回以上 40回以上 ● スポーツふれあい事業の実施 ○ふれあいスポーツ事業の実施	



ポールウォーキング



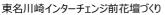
地域コミュニティ活性化に向けた地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進

- ●町内会・自治会をはじめとする地域活動の活性化に向けた取組の推進
- ●緑化活動団体の主体的な花壇管理・整備の支援による、花と緑のあふれる住みよいまちづくり等の区 民主体の取組の推進
- ●さまざまな世代や多様な主体が参画するイベントの開催による市民の交流促進に向けた取組の推進

	現状	事業内容・目標				
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)	
	年度	年度	年度	年度	年度	
みやまえご近助さん事業	●子育て世代の地域	域活動への関心や参	・加の促進、多様な主	E体の連携促進の取	組	
子育て世代に対して、町内会・	○宮前区ご近所情報!	ナイト「みやまえご近助さ	た」の運営			
自治会をはじめとした地域活動	・サイトの運営	継続実施			\longrightarrow	
への関心や参加を促すとともに、	。「ご近助コンシェルジ	1」の活動を通じた子育	て世代の地域活動への	関心や参加の促進、多	多様な主体の連携	
地区カルテの情報を区民と共有	促進の取組					
することで、地域のこれからにつ			・多様な主体の連携		\rightarrow	
いて考えるきっかけとします。			促進の実証を踏まえ			
			た「ご近助コンシェル			
			ジュ」の活動実施			

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
花と緑のあふれる住みよいま ちづくり事業		壇づくりを契機とした 壇づくりのための緑化流			
区民が主体的に花壇管理、整	提供回数:1回 (36団体)	提供回数:1回	提供回数:1回	提供回数:1回	提供回数:1回
備を推進し、地域コミュニティの形成を支援するとともに、地域の		- チェンジ前花壇づく! 業者との協働による花塩		のイメージアップ	
緑化により区のイメージアップを 図ります。	活動回数:2回	活動回数:2回	活動回数:2回	活動回数:2回	活動回数:2回
多様な主体が参画する子ども	●工作や昔遊びなる	どで楽しめる夏休み子	どもあそびランドの開	引催	
あそびランド事業	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回
「夏休み子どもあそびランド」を開催し、遊びを通じて多様な市民の交流を図ります。	●あそびの達人の育	育成			
	養成講座数: 0講座 (H30:1講座)	講座数:1講座	講座数:1講座	講座数:1講座	講座数:1講座







夏休み子どもあそびランド

心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進









- ●地域のつながり・支え合いの大切さへの理解と共感を広げる取組や区民・事業者・行政等の連携強化に向けた取組の推進
- ●障害の有無に関わらず、すべての区民が安心して暮らし続けることができる地域づくりに向けた、交流と相互理解を深める取組の推進
- ●さまざまな媒体を活用した健康づくりに関連した情報やその大切さを伝えていく取組の推進

組を支援します。

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和 6 (2024)	令和7(2025
	年度	年度	年度	年度	年度
也域包括ケアシステム推進事	●区民等の互助の	取組支援と関係団体	トの連携強化に向け	た取組の推進	
E	◦地域課題の解決に「	句けた地域活動団体へ			推進
		・地域課題の解決に			
子どもから高齢者までがゆるやか	0回	向けた地域活動団			
につながり、全ての区民が安心	(R1:16回)	体の支援の実施			
して暮らせるよう、区民等への互	◦多様な主体と連携し	た地域包括ケアシステ	ム推進に資する取組の	実施	
助の意識づくりを行うとともに、	・高齢者等に関する	・地域包括ケアシステ			
区民・事業者・行政等の連携	展示の実施	ム推進に資する効果			
強化を図ります。		的な取組の推進			
	ゆるやかにつなが	り、安心して暮らせる	地域づくりに向けた耳	収組の推進	
	○地域包括ケアシステ	ム推進に関する講演会	等の開催		
	R2開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回
	o子ども、子育て世代	や高齢者等に向けた広	報•啓発		
		・効果的な広報物の	тк ш уб		
	の発行・配布	作成・配布			
,あわせを呼ぶコンサート開催				」の開催	
業		ーヴェンの「第九」などの			
空中されたこの バロナバタ トロナ	・開催回数:0回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回
障害者施設の利用者が参加することは	(R1:1回)				
るコンサートを開催し、交流と相 互理解を深め、心のバリアフリー	●障害者施設にお	ける音楽活動支援			
日理解を深め、心のハリアフリー や障害者の自立支援・社会参	•声楽家の巡回による	障害者施設利用者へ	の合唱指導		
画の拡大をめざします。	·合唱指導:0回	・合唱指導回数、実			
画の近人でのとします。	(R1:2回)	施場所等の検証と今	た取組の推進		
		後の検討			
建康づくり支援事業	▲健康に思する情報	服や地域の活動の場	に思する情報の発信		
世界ノバソメ1及事未		成 1233の石動の物 カフェ等のマップの配布	に対する旧形の元官	ā	
区民の健康づくりの実践を支援	・マップの改訂及び配				
するために、健康に関する様々	布の実施	111111111111111111111111111111111111111			
な情報や、地域の活動の場につ		w#645	### = 次 + > E- 60	·	
いての情報を発信するとともに、		地域包括ケアシステ <i>L</i>		ル夫 他	
地域主体による健康づくりの取り		は操」などによる健康づく	りの推進		

・「宮前区オリジナル・区政40周年におけ・地域主体による取

た取組の実施

る実施事業と連携し 組への支援の実施



体操」の作成

地域包括ケアシステム推進講演会(R2)



❤️ 宮前区 宮前区公園体操マップ

地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進



- ●誰もが安心して子育てできる地域づくりに向けた、子育てに関する情報の効果的な発信
- ●地域全体で子ども・子育てを支える環境づくりに向けた、関係機関や団体等との連携強化や、子育て 世代と地域のあらゆる主体との交流を促進する取組の支援の実施
- ●地域に関心を持ち、子どもの健やかな成長を促すための、さまざまな世代との交流や地域と連携した 取組の推進

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和 7 (2025) 年度
子育で情報発信事業 情報誌やホームページ等を活用 して、子育でに関する必要な情報を効果的に発信し、地域の中で安心して子育でができるよう支援します。	●子育て情報の普点。子育てガイド「とことで発行部数: 7,000部 ・ホームページやSNSできまざまな媒体を活用した情報発信				
子ども子育て支援事業 子ども・子育てに関わる地域の関係者の連携により、子どもとその保護者の支援や、子どもたちが安全・安心に暮らせるまちの実現を図ります。	R2子ども・子育てネットワーク会議の開催:2回 ●子育て世代と地は。乳幼児を持つ親子とR2交流会の開催回数:0回	ワーク会議の開催: 2回 或とのつながり強化へ 子育てグループやサロン	子ども・子育てネット ワーク会議の開催: 2回 向けた支援	子ども・子育てネット ワーク会議の開催: 2回	子ども・子育てネット ワーク会議の開催: 2回
	●子ども安全·安心 R2開催回数:2回		開催回数:2回	開催回数:2回	開催回数:2回



子育てグループ交流会(R1)



みやまえ子育てガイド「とことこ」

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
外遊び活動支援事業		どもの外遊び「冒険 め 拡充に向けた支援の9	遊び場」等の開催支 捷 実施	爰	
親子で自然体験ができる機会の創出や地域住民を主体とした 「冒険遊び場」活動を契機として、子どもの自然を大切にする	R2冒険遊び場ネット ワーク会議開催回 数:12回		冒険遊び場ネットワーク会議開催回数: 12回	冒険遊び場ネットワー ク会議開催回数: 12回	冒険遊び場ネットワー ク会議開催回数: 12回
心を育むとともに、子どもたちのす		、子どもが自然や地域と	:関わるイベントの開催		
こやかな成長と地域コミュニティ の活性化をめざします。	R2開催回数:0回 (R1:3回)	・効果的なイベントの検討・開催			
	。シンポジウムの開催、	リーフレットの配布等に。	よる外遊び等に関する瓜	は報・啓発の推進	
	R2シンポジウム開催	シンポジウムの開催回	シンポジウムの開催回	シンポジウムの開催回	シンポジウムの開催回
	回数:1回	数:1回	数:1回	数:1回	数:1回
	リーフレット発行部 数:4,000部	・リーフレットの改訂及び配布	・リーフレットの配布		



「冒険遊び場」活動風景



みやまえく冒険遊び場リーフレット

区民との恊働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進







- ●さまざまな世代が参加する防災フェア等の普及啓発事業から地域の自主防災組織や避難所開設訓練へとつなげるしくみづくりの構築と多世代にわたる地域の人材育成
- ●地域の防犯活動の支援と安全・安心に関する啓発による、安全で安心して暮らせるまちづくりの推進

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
防災意識普及啓発事業	- 1122 412111112	に向けた普及・啓発の ニック と連携した防災ご			
防災フェア、防災推進員養成 研修等を行い、区民の防災意 識向上と地域人材の育成を図 ります。	R2イベントの開 催: 0回 (H30:1回)		イベントの開催:1回	イベントの開催:1回	イベントの開催:1回
73.9	地域における防災防災推進員養成研	&に関する人材の育成 修の実施	芨		
	研修の開催:1回	研修の開催:1回	研修の開催:1回	研修の開催:1回	研修の開催:1回
	。防災推進員フォローを 研修の開催:2回		研修の開催:2回	研修の開催:2回	研修の開催:2回
安全・安心まちづくり推進事業 地域の防犯パトロールやあいさ つ運動の推進などにより、安全	●地域防犯対策の ・地域防犯団体のパト ・用品貸与及び地域 主催の防犯講習への 支援(随時)	 -□-ル活動への支援 継続実施 			
で安心して暮らせるまちをめざします。	○地域防犯団体の落・地域と連携した落書き消しの実施、用	書き消し活動への支援 継続実施 一			
	品貸与(随時)	交におけるスケアード	ストレート方式の交通	量安全教室の実施	
	開催回数:1回 (R1:3回)	開催回数:3回	開催回数:3回	開催回数:3回	開催回数:3回



交通安全教室(スケアードストレート方式)



防災フェア 2019

区における地域の課題解決に向けたその他の取組

	取			現状		事業内	容·目標	
区名	柱	事業名	概要	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
宮	前区		+ ++~~~/					
	3	彩な地域資源を活かし宮前区市民提案型総合情報発信事業	区内のさまざまな魅力・情報の発信に向けて、市民活動団体等からの事業提案を募集し、協働による取組を推進します。	●区内のさまざまな魁	力・情報の発信に向け	けた市民提案型事業の	実施	
		地域情報発信事業	ガイドマップや地域で行われている 伝統行事やイベントを掲載した情報誌、地域の魅力を盛り込んだ冊子の作成等により、地域への関心を高め、コミュニティの活性化を図ります。	●各種刊行物の作成 ●宮前区PRキャラクク	・配布 ターを活用した区の魅	力発信		
		みやまえカルタ活用事 業	地域の魅力を発信する「みやまえ カルタ」を活用し、世代間・地域間 等の交流促進を図り、地域コミュ ニティの活性化につなげます。	●「みやまえカルタ」の	販売·貸出			
		宮前区ふるさと意識高揚アーカイブ事業	宮前区の歴史や昔の景観を世代間で共有することにより、区民のふるさと意識の向上を図ります。	●写真等資料の収集	・展示			
	地	域コミュニティ活性化に	向けた地域活動の担い手・ネットワ	ーク・場づくりの推進等				
		地域活動の促進に向 けた人材育成及び推 進体制の整備事業	「宮前区地域人材育成に係る基本指針」に基づき、講座などを活用した地域人材の育成を進めます。	●「宮前区地域人材育	育成に係る基本指針」	こ基づく取組の推進		
		まちづくり推進事業	区内の市民活動団体への支援や 団体間の交流・連携の促進、イベントの実施等を通じて、地域の活 性化を図ることにより、区民主体 のまちづくりを推進します。	●市民活動団体の活 	性化に向けた市民活動	タートアップ・自立促進 制 動団体の交流の場の息 動の様子などを紹介す	I .	開催
		まちづくり支援事業	区民と協働のまちづくりを効率的・ 効果的に推進するために、コンサ ルタントの意見や地域にとらわれな い外部の立場からの提案、助言 及び情報等を活用し区のまちづく りを支援します。	●まちづくりに係る社会	会・環境変化等に応じた	と適切なコンサルティン ・	ブの実施	
		みやまえスポーツふぇ すていばる開催事業	各種スポーツ大会を企画し実施することで、さまざまな世代がスポーツに親しむ機会を提供し、区民の健康増進と地域コミュニティの活性化を図ります。	●各種スポーツ大会の ●区民が自主的に開				
		市民活動支援拠点のネットワーク事業	市民活動に必要な活動場所の確保や機能整備等を行い、活動団体の運営支援や情報発信を行うことで、地域コミュニティの醸成につなげます。	●市民活動の活性化	に向けた活動の場等の	D提供、紹介		
		みんなの道路公園事 業	地域コミュニティの核としての公園の利活用を進めるため、区民との協働による公園の樹木への名札の取付や公園の清掃活動を通して公園愛護活動団体の設立支援、活性化を図ります。また、区のシンボルマークを掲載した園名板の更新によるイメージ向上を図ります。	● 区民との協働による ・ 区民参加型による ・ 國名板の作製・設置	公園等の清掃活動の乳	尾施		
		町内会·自治会加入 促進事業	地域コミュニティの形成に重要な 役割を担っている町内会・自治会 の広報活動・加入促進を支援し ます。	1	・自治会エリアマップの 内会・自治会加入促進	作成・配布 リーフレットの作成・面	3布	
		区民祭開催経費	区民の手作りによる宮前区民祭 を開催することにより、世代間交 流や地域コミュニティの活性化を 図ります。	●宮前区民祭実行委	員会による区民祭の	掲催		

取			現状		事業内	容・目標	
収組の柱	事業名	概要	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
地	域における、切れ目のな	い子ども・子育て支援の推進					
	宮前区子育て支援事 業	子育て世代の育児の孤立化の防止や育児不安についての軽減に向け、より効果的な地域支援に繋げていけるよう、子育てに関わる施設等に関する情報発信に取り組みます。	●子育てに関わる施設	役等に関する情報発信			
	子ども包括支援事業	「こどもサポート南野川」におけるさまざまな課題を持つ子どもたちの居場所づくりと生活・学習支援など、きめ細やかな子ども子育て支援を行います。		を持つ子どもたちへの支 する相談・情報提供の			
	友好都市交流事業	交流都市である長野県佐久市と の物産観光交流などを実施しま す。	●物産·観光交流事業	業の実施			
X	民との協働による安全・	・安心で、快適なまちづくりの推進					
		資器材の配置等による避難所の 環境整備により、地域防災力の 向上を図ります。	資器材の配置等に	よる避難所の環境整値	#		
2	次世代まちづくり事業	宮前区における次世代につながる 暮らしやすさの向上に資する地域 主体の取組の支援を行います。	●区民の暮らしやすさ	の向上に資する地域:	主体の取組への支援		
	宮前区スポーツ環境 整備事業	より多くの区民がスポーツに親しみ、健康や体力の維持増進を図れる環境づくりのため、西長沢公園多目的広場の整備や、鷲ヶ峰けやき公園多目的広場の維持管理を行います。		の鷲ヶ峰けやき公園多の西長沢公園多目的	目的広場の維持管理 広場の維持管理		
X:	役所サービス向上事業						
	区役所庁舎エコ化事 業	庁舎の省エネルギー化を推進し、 身近な省エネの取組として区民へ の啓発を行うとともに、庁舎利用 の快適性と来庁者へのサービスの 向上を図ります。	●照明設備のLED化	の実施			
	みやまえロビーコンサー ト開催事業	区役所2階ロビーほか区内行政 施設においてコンサートを開催する ことにより、区役所への親近感、イ メージアップ、区民サービスの向上 を図ります。	●区役所2階ロビー等	ドにおける「みやまえ ロビ	ーコンサート」の開催		
	バリアフリー推進事業	区役所庁舎及びその周辺のバリア フリー化を推進し、区民が安全に 利用できる環境を整えます。	●区役所市民広場の	タイルの改修等			
	窓口サービス向上事 業	来庁者が、区役所窓口を快適に 利用していただくための環境整備 を行います。	●転入者への各種手	ムを結成し、よりよい窓 続案内チラシの作成及 コーナーへの絵本の補	なび配布	ためのあり方等の検討	t
	区役所サービス向上 事業	区役所庁舎内において、快適な 利用環境の実現と、サービスの向 上を図ります。	●快適な庁舎利用環	境の実現、サービス向	上の推進		
地	域課題対応事業その他	事業					
;	宮前区制40周年事 業	令和4(2022)年度に区制 40周年を迎えることから、記念事 業を実施します。	●記念式典及び関連	事業の実施			
	地域課題事業一般経 費	各地域課題対応事業の実施に 必要な事務経費を適切に管理・ 執行します。	●地域課題事業一般	経費の管理・執行			
区	の新たな課題即応事業						
	区の新たな課題即応 事業	新たに生じた課題に、適切かつ迅速に対応し、解決に向けた取組を推進します。	●新たに発生する課是	種に対する、 適切かつ迂	1速な対応		
区 (費 の新たな課題即応事業 区の新たな課題即応	必要な事務経費を適切に管理・ 執行します。 新たに生じた課題に、適切かつ迅 速に対応し、解決に向けた取組			込速な対応		



宮前区における特徴あるまちづくりの取組

宮前区で展開されている市民生活を支える事業のうち、区計画に記載されている事業(地域課題対応事業) 以外の事業に関連した、区の特徴的な取組を紹介します。

●宮前区のミライづくりプロジェクトの推進

鷺沼・宮前平駅周辺地区において、再開発の機会を捉えて、多様な都市機能の集積や交通結節機能の 強化に向けた取組を推進するとともに、地域の皆様の意見を伺いながら、向丘出張所の機能をはじめとして、 区全体の公共機能のあり方について検討を進めています。今後も、区全体の活性化を促す地域生活拠点の 形成に向け、地域の皆様とともによりよい宮前区のミライにつながる取組を進めます。

【政策体系別計画 296P:施策 2-3-2 生涯学習施設の環境整備事業】 【政策体系別計画 398P:施策 4-5-2 鷺沼駅周辺まちづくり推進事業】

【政策体系別計画 466、467P:施策 5-1-3 区役所改革推進事業、区役所等庁舎等整備推進事業】

【宮前区役所における関連した取組】

○ ミライづくりプロジェクトにおける区役所等施設の鷺沼駅周辺への移転・整備など関連する事業の進捗にあわせて、区民への丁寧な情報提供、周知を行っていきます。また、現在の区役所等施設・用地の活用に向けた市民参加による検討や、向丘出張所の一層の活用をめざした市民との協働・連携の取組など、区全体の将来を見据えた取組を進めていきます。

●多様な主体による協働・連携推進事業

本市では、平成30(2018)年度に策定した「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、「市民創発」による持続可能な暮らしやすい地域社会の実現をめざすため取組を進めています。第3期実施計画においても、地域の取組を支援する区域レベルのプラットフォーム「ソーシャルデザインセンター」の創出や、これまでの区民会議に替わる新しい参加の場としての「地域デザイン会議」の取組を進めていきます。

【政策体系別計画 457P:施策 5-1-1 多様な主体による協働・連携推進事業】

【政策体系別計画 466P:施策 5-1-3 区役所改革推進事業】

【宮前区役所における関連した取組】

○ 宮前区は多彩な地域資源に恵まれ、主体的に活動する多くの区民がいます。区内の資源や人を活かしながら、 それらをつなぎ、さらに豊かにしていくためのしくみづくりを進めています。

● 社会教育振興事業

市民館においては、市民の自主的・主体的な学びを支援していくため、講座やイベント等を実施しています。 今後も、取組を推進するとともに、社会教育を担う団体等の育成・支援、ネットワークづくり等を通じ、学習と活動がつながる好循環を生み出し、学習や活動を通じた人づくり、つながりづくりを進めていきます。

【政策体系別計画 294P:施策 2-3-2 社会教育振興事業】

【宮前区役所における関連した取組】

 みやまえ子育てフェスタは、乳幼児のいる保護者への情報発信や 子育てに関わる地域団体との出会いと交流の場として、市民館で 20 年に渡って続けられているイベントです。その時々の子育ての当 事者である多くの親が、毎年公募する企画委員会に参加してお り、企画・運営の中心を担っています。





"それいいね"が広がるまちづくりに向けて

宮前区で展開されている事業のうち、地域課題の解決に向けて、市民や団体等と協働・連携して行っている特徴的な取組を紹介します。

● 宮前区内の多様な「つながり」が生まれています

みやまえご近助さん ~ご近所でのゆるやかなつながりづくりを応援~

- 町内会・自治会や地域のカフェ・サロンなどの地域活動の情報をはじめ、町名ごとの人口データや施設情報等の地区カルテを、宮前区ご近所情報サイト「みやまえご近助さん」で発信しています。子育て世代を中心とした若い世代が地域に関心を持ち、地域活動に参加するきっかけとなるよう取組を進めています。
- 当サイトは、「ご近助コンシェルジュ」と呼ばれる子育て世代の区民の 方々と連携した取組を進めています。子育て世代の視点で地域活動 の取材・記事作成を行っていただくなど、同世代の共感を生み出せる よう運営しています。



パソコンやスマートフォンで気軽に閲覧することが可能

公園体操 〜身近な公園が、健康づくりと地域交流の場に〜

- 区内 50 か所近くの公園や町内会館、駐車場、神社の境内などで、健康づくり・介護予防・地域交流を目的とした公園体操が行われてきました。コロナ禍でさまざまな地域活動が難しい状況でも、屋外のため実施しやすく、貴重な交流の場となっています。
- 坂の多い宮前区でいつまでも健康で暮らせるよう、区制 40 周年を 契機に区民や運動の専門家の意見を取り入れ宮前区のオリジナ ル体操を制作しました。幅広い世代への普及をめざします。



いつまでも坂道を歩ける体をつくる体操と 椅子に座ってできる体操の2種類

平瀬川流域まちづくり協議会 ~豊かな緑を守り、育てる~

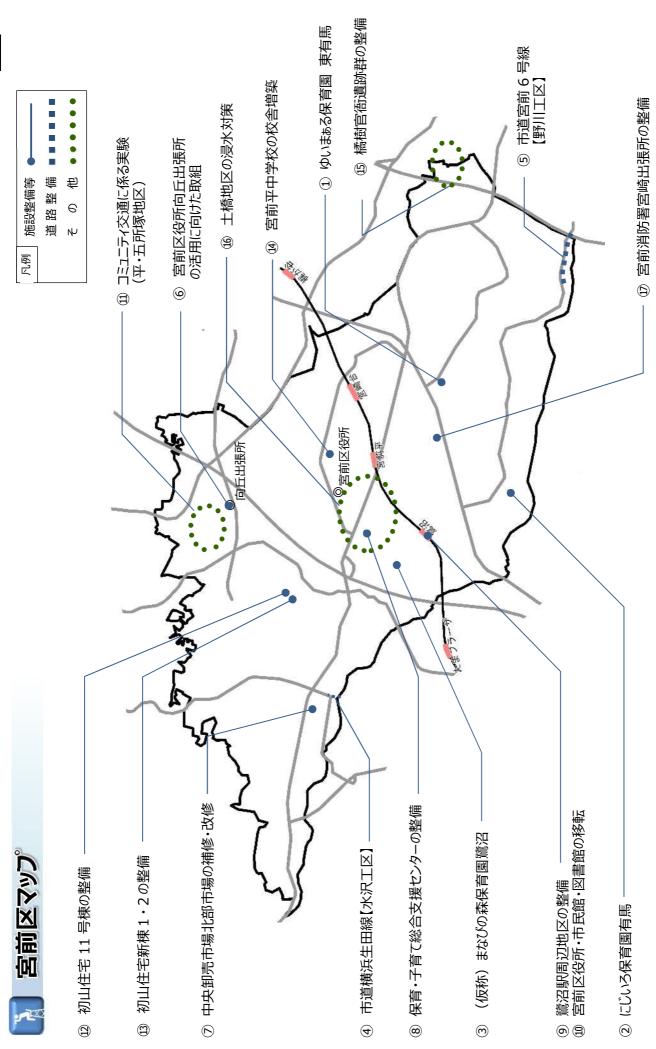
- □ コンクリートではなく、多自然型工法での護岸工事を市に提案することからはじまった活動が、今では、桜祭りと鮎の放流、田植え教室、小中学校と連携した川の清掃と学習発表会、サツマイモ掘り、野鳥観察会等、多彩に広がっています。
- 区内には、水沢森人の会、飛森谷戸の自然を守る会等、多くの緑に 関わる団体があり、お互いに交流・協力しながら取組を続けています。



桜の時期の平瀬川

★市民の想い、メッセージ

- 公園体操は身体を動かすだけではなく、皆さんのお顔が見られるので元気になります。気軽に 参加できるので、1週間で3か所の公園体操に通っています。(公園体操参加者)
- 平瀬川流域には菅生緑地、とんもり谷戸、東高根森林公園があり、これだけの豊かな資源が 近接している地域はめずらしいです。これからも多くの方に、この環境を守り、育てる活動に参加 していただきたいと思います。(平瀬川流域まちづくり協議会メンバー)





その他

名格	開所予定	定員	MAP 番号
ゆいまある保育園 東有馬	R4(2022)年度	个09	Θ
にじいろ保育園有馬	R4(2022)年度	个09	0
(仮称)まなびの森保育園鷺沼	R4(2022)年度	个09	<u></u>

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
市道横浜生田線[水沢工区]	道路新設	R7(2025) 年度完成	(4)
市道宮前 6 号線[野川工区]	道路拡幅、道路新設	事業推進	⑤

允 教	事業概要	事業予定	MAP 番号
宮前区役所向丘出張所 の活用に向けた取組	宮前区役所向丘出張所の改修 工事等	事業推進	9
中央卸売市場北部市場の 補修·改修	市場機能の維持・向上のための 補修・改修	事業推進	©
保育・子育で総合支援 センターの整備	保育・子育て支援拠点の整備	R5(2023) 年度運営 開始	⊚
鷺沼駅周辺地区の整備	鷺沼駅前地区の市街地再開発 事業	R6(2024) 年度工事 着手	•
宮前区役所・市民館・図書 館の移転	移転・整備に向けた取組の推進	事業推進	(9)
コミュニティ交通に係る実験 (平・五所塚地区)	本格運行の実施に向けた取組の 推進	R4(2022) 年度実施	
初山住宅 11 号棟の整備	市営住宅の建替工事	R4(2022) 年度完成	(2)
初山住宅新棟 1・2 の整備	市営住宅の建替工事	R7(2025) 年度完成	(2)
宮前平中学校の校舎増築	校舎の増築工事	R6(2024) 年度完成	(2)
橘樹官衙遺跡群の整備	国史跡橋樹官衙遺跡群の 保存と史跡整備	事業推進	(2)
土橋地区の浸水対策	下水道施設の整備	事業推進	9
宮前消防署宮崎出張所の 整備	消防出張所の改築工事	R5(2023) 年度完成	(2)

地 域 の 課 題 解 決 に 向 け た 取 組 の 一 覧

事業名 (〇は本計画で「計画期間の主な取組」として掲載している事業)

多彩な地域資源を活かし	たま	ちづくりの推進
		みやまえ太鼓ミーティング開催事業
	0	地域の魅力発信事業
		宮前区スポーツ推進事業
		宮前区市民提案型総合情報発信事業
		地域情報発信事業費
		みやまえカルタ活用事業
		宮前区ふるさと意識高揚アーカイブ事業
地域コミュニティ活性化に	向け	た地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進
	0	みやまえご近助さん事業
	0	花と緑のあふれる住みよいまちづくり事業
	0	多様な主体が参画する子どもあそびランド事業
		地域活動の促進に向けた人材育成及び推進体制の整備事業
		まちづくり推進事業
		まちづくり支援事業
		みやまえスポーツふぇすていばる開催事業
		市民活動支援拠点のネットワーク事業
		みんなの道路公園事業
		町内会·自治会加入促進事業
		区民祭開催経費
心がつながり、互いに支え		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
		地域包括ケアシステム推進事業
		しあわせを呼ぶコンサート開催事業
		健康づくり支援事業
地域における、切れ目のな		子ども・子育て支援の推進
		子育て情報発信事業
		子ども子育て支援事業
	0	外遊び活動支援事業
		宮前区子育て支援事業
		子ども包括支援事業
다마니아네워드 L 7 한스.	. rtn si	友好都市交流事業
区氏との協働による女主・		ンで、快適なまちづくりの推進 吹災金融・みの発車
		防災意識普及啓発事業 安全・安心まちづくり推進事業
)	地域防災力向上事業
		次世代まちづくり事業
		宮前区スポーツ環境整備事業
■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		日前にハバーン球先を囲ず木
		区役所庁舎エコ化事業
		みやまえロビーコンサート開催事業
		バリアフリー推進事業
		窓口サービス向上事業
		区役所サービス向上事業
地域課題対応その他事業		
		宮前区制40周年事業
		地域課題事業一般経費
区の新たな課題即応事業		
		区の新たな課題即応事業

■世帯数 115,760 世帯 (令和4(2022)年1月1日現在)

多摩区の木





多摩区の花





多摩区の概要

- かつての稲田村、生田村そして向丘村(むかおかむら)の一部からなる現在の多摩区は、昭和 47 (1972) 年に本市が政令指定都市に移行した際に誕生し、市民の公募で区名が決定されました。 昭和57(1982)年の行政区再編では区の西部が「麻生区」として分区し、現在の区域に至っていま す。
- 多摩区は本市の西北端に位置し、多摩川によってできた沖積平野と多摩丘陵の丘陵地で形成され、 都市部には貴重な「水と緑」に囲まれています。
- 首都圏を代表する緑豊かな生田緑地には、世界的にも著名な芸術家・岡本太郎の作品を収蔵した 「岡本太郎美術館」や、東日本の代表的な古民家などを集めた「日本民家園」、世界最高水準の星 空を映す「かわさき宙と緑の科学館」、そして世界的に人気のあるまんが「ドラえもん」などの原画が鑑賞 できる「藤子・F・不二雄ミュージアム」と、個性豊かな文化・教育施設が点在し、市内有数の観光名 所となっています。
- 昭和 30 年代に都市化が急速に進んだ菅や中野島の住宅地でも、かつて「多摩川梨」の栽培が盛ん だった農村地帯としての景観も随所に見られます。
- また、市内を南北につなぐ JR 南武線が登戸駅で小田急小田原線と、稲田堤駅では京王相模原線と 交差し、都心への交通の便が良いこともあり、区民の就業者の約半数が、都内に通勤しています。
- さらに、3つの大学(専修大学、明治大学、日本女子大学)とゆかりがあることも区の大きな特徴で

多摩区の主な地域資源・魅力など



まちづくりの方向性

「水と緑と学びのまち ~うるおい豊かな住み続けたいまちへ~ |

- 多摩川や二ヶ領用水などの「水辺」、多摩川崖線軸の斜面緑地や生田緑地などの「緑」、そして区にゆかりのある大学などの知的資源を活かした「学び」など、多摩区は魅力あふれる地域資源の豊かなまちです。
- これまで培ってきた多くの魅力や価値を引き継ぎ、高めながら、区民一人ひとりがうるおいやあたたかい地域のつながりを身近に感じ、これからも住み続けたいと実感できる、すこやかに安心して暮らせるまちづくりを進めます。

3 これまでの主な取組状況

●地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進

生田緑地をはじめとする自然や文化施設といった豊富な地域資源を活用しながら、多様な主体との協働により区の魅力を内外に積極的に発信し、まちへの愛着や満足度の向上を図るとともに、訪れる人も住む人も楽しむことができる魅力あるまちづくりを推進しています。

●災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進

地域防災活動の中心的な役割を担う自主防災組織、避難所運営会議への支援や区民の防災意識の醸成を進めるとともに、地域特性に応じた訓練の実施や隣接自治体との連携強化等により、地域防災力の向上に取り組んでいます。また、地域や警察、消防といった関係機関との連携により、犯罪発生の抑止や交通事故防止に向けた取組を推進し、安全で安心できるまちづくりをめざした取組を推進しています。

●たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進

子ども・子育て支援団体や関係機関と連携しながら、子ども・子育てに関する課題やニーズを把握し、 地域全体で支援の取組を推進するとともに、子育て中の家庭を見守る環境づくりや人材育成を推進し ています。また、子育ての悩みや不安を解消し、地域で安心して子育てができるよう、子ども・子育てに 関する情報や相談窓口の情報を多様な方法で効果的に発信しています。

● すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進

地域包括ケアシステムの構築に向けて、多様な主体の連携を促進し、住民主体による地域での見守り活動や交流活動などと連携・協働しながら、地域特性に応じた多世代で支え合う地域づくりを進めています。また、区民主体の健康づくり・介護予防を推進し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりに取り組んでいます。

●市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進

区にゆかりのある 3 大学の知的資源を活かして地域課題の解決を図るとともに、大学生の地域参加を促進し、大学の持つ価値や魅力を活かした地域づくりを進めています。また、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組として、ソーシャルデザインセンターへの運営支援を行うなど、地域で活躍する多様な主体が、市民創発によって地域の課題を解決していくための取組を推進しています。



多摩区ソーシャルデザインセンター

現状と課題

- ●多摩川、生田緑地などの自然環境、歴史や未来を感じる文化施設をはじめ、個性豊かな 地域資源が輝きます。
- 多摩川や二ヶ領用水などの水辺環境にも恵まれ、首都圏でも有数の自然環境を残す生田緑地を有するなど豊かな自然があふれ、令和3(2021)年に開館50周年を迎えた「かわさき苗と緑の科学館」や、「藤子・F・不二雄ミュージアム」など個性豊かな地域資源が数多く存在しています。令和4(2022)年度には、生田浄水場用地において新たなスポーツ拠点施設「フロンタウン生田」などの供用開始が予定されています。



生田緑地東口ビジターセンター

○ これらの地域資源を活かした魅力あるまちづくりに向けて、令和 3 (2021) 年に策定された「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくりビジョン」とも連携した取組を進めるとともに、区の魅力を積極的に内外に発信し、多摩区に住みたい、住み続けたいと思えるように、地域への愛着や誇りを高める取組を進め、令和 4 (2022) 年 4 月に迎える区制 50 周年を契機として、地域の更なる活性化につなげる必要があります。

●安全で安心して暮らせるまちづくりへの区民の意識が高くなっています。

- 北部には多摩川、五反田川などの河川が流れ、南部には171の土砂災害警戒区域が指定(令和3(2021)年5月現在)されており、自然災害が発生しやすい地域特性を持っています。稲城市や狛江市などの隣接自治体と、日頃から災害時に備えた連携を進めていく必要があります。
- 災害時の対応などの危機管理 41.3 新型コロナウイルス感染症対策として 市政だよりなどによる情報発信や区内 施設の安全管理 防犯対策 32.2

区役所が力を入れて取り組むべき施策

○ 交通事故件数は減少傾向であるものの、自転車事故 の割合が高く「自転車事故多発地域」に指定されていることから、自転車利用者の交通ルールやスナーについて

資料:令和2(2020)年度区民意識アンケート

- ることから、自転車利用者の交通ルールやマナーについて一層の啓発に取り組む必要があります。
- 令和 2 (2020) 年度区民意識アンケートでは、区役所が力を入れて取り組むべき施策として「災害時の対応などの危機管理」が最も高くなっており、安全・安心に対する区民意識が高いことがうかがえます。

●子育て家庭の不安を解消し、安心や希望を持って子育てできる環境づくりが求められています。

- 令和 2 (2020) 年度市子ども・若者調査によると、多摩区の 0~6歳の子どもがいる保護者の 48.4%が「孤立感を感じた」と答えた一方で、子育て支援情報については、21.0%の人が「特に得ていない」と答えています。
- 子育てへの悩みや孤立感を募らせる家庭の不安等を解消するため、支援を必要とする保護者へ家庭状況に応じた情報を提供するとともに、子育て支援団体や関係機関などが緊密に連携し、子育て家庭を地域全体で支え、安心や希望をもって子育てできる環境づくりを一層推進していくことが求められています。



子育て支援団体や関係機関による連携会議

●区内の単独世帯の割合は50%を超え、高齢化率は30%を超える地域があります。

○ 区全体の高齢化率は19.9%(令和3(2021)年9月末 現在)ですが、既に30%を超える地域も点在しています。

● 単独世帯の割合が半数を超える50.2%(令和2(2020)年国勢調査)となっているほか、令和2(2020)年度区民意識アンケートでは、困ったときに近所に手助けを頼める人がいないと答えた人が51.1%という結果になっており、多世代で支え合う地域づくりが課題となっています。

	町丁別高齢化率(上位5町丁)							
1	多摩区 菅北浦4丁目	34.3%						
2	多摩区 菅仙谷3丁目	32.3%						
3	多摩区 寺尾台2丁目	32.0%						
4	多摩区 三田3丁目	31.5%						
5	多摩区 東三田1丁目	31.0%						
	多摩区全体	19.9%						

令和3(2021)年9月末現在 資料:市町丁別年齢別人口

●大学の知的資源の活用や、区民が主体となったまちづくりを一層推進していく必要があります。

○ 区にゆかりのある大学と連携し、大学の専門性や知的資源を活かした地域課題解決のための取組や大学生の地域参加促進事業などを進めていますが、令和 2 (2020)年度区民意識アンケートでは、「知っている 3 大学関連の取組・イベントはない」と答えた人は 61.8%という結果になっており、今後、大学の知的資源を活用したまちづくりをさらに推進していくためには、大学と地域の交流を一層促進していく必要があります。



地域イベントへの大学生参加の様子

○ 区民が主体となったまちづくりを一層推進していくため、住民自治組織として重要な役割を担う町内会・ 自治会を取り巻く課題への対応が求められています。また、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」 における区域レベルの取組を進め、地域で活躍する多様な主体の連携による課題解決を一層促進し ていく必要があります。

●登戸土地区画整理事業の進展により、これまでの賑わいを引き継ぎ、地域全体の活性化 につなげていくことが期待されています。

- 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区では、商業・業務の中心地区としてふさわしいまちをめざして、登戸土地区画整理事業が進められています。これまでの進捗率は、令和3(2021)年4月1日現在で、仮換地指定率が約93.6%、宅地使用開始率が約74.3%となっています。
- 土地区画整理事業の進展により、これまでの賑わいを引き継ぎ、将来にわたって地域全体の活性化につなげていくことが期待されています。



区画整理事業が進む登戸駅付近 令和3(2021)年6月

計画期間の主な取組

地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進







- ●生田緑地をはじめとする豊かな資源の活用や、多様な主体との協働による魅力発信を通じた、訪れる 人も住む人も楽しむことができるまちづくりの推進
- ●令和4(2022)年度供用開始予定の「フロンタウン生田」との連携による、スポーツを行う機会の 提供等を通じた地域住民の交流、地域の活性化の推進

	現状		事業内	容・目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和 6 (2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
見光振興・タウンプロモーション		体と協働・連携したり	也域資源の魅力発信	Ī	
推進事業	○観光ガイドブック・		T+c 7// 1	T+C 3V/= 1344	T+c 30/- 1744
自然や文化施設といった豊富な地	更新·発行四数: 1回	更新·発行回数:1	更新·発行回数: 1 回	更新·発行回数:1	更新·発行凹致:
国然や文化施設といった豊富な地域資源を活用し、多様な主体との			ഥ	드	드
協働により、区の魅力を内外に積	ホームページによる・随時情報更新	消報発信 継続実施 —			
極的に発信し、区への関心を深め		12000		l	
て、誘客及び地域の活性化につな		光協会)が主体となっ		1	即发同类,4 同
げます。		開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回
ことしましく出るから 三ケ、領の 大学めとり		ソアーの実施(新規ルー			
	開催回数:0回 (R1:7回)	開催回数:8回	開催回数:8回	開催回数:8回	開催回数:8回
	(,				
	・地域観光の活性・				
	・地域行事・イベントの広報支援	松 柳 大 加			
			10.1.1.4.4.4.4.0E4.		+ I + m=
	● I ヒクニックタワ 取組の推進	ン多摩区」をキーワー	・ドとしたまちの賑わり	いとタウンイメージの	同上を図る
		した「ピクニックタウン・多	摩区 IのPR・イメージM	穣成につながるイベントの)開催
		開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回
Charles the second second second second	。区の地域資源を流	舌用した、新聞、WEB	メディア. テレビ等のメデ.	ィアへのアプローチ	
A STATE OF THE PARTY OF THE PAR	・年間を通じたPR		··)) () b c (0 00) ·)	17 (0))	
地域観光の活性化に向けた PR	.,	活用を含めた各種SNS	ことを 麻豆の触 もば	≛₽♪¤	
	・年間を通じた情	継続実施	のによる多序位の配力	月羊収り光1日	
	報発信	が正力も入力と			
	●抽転が主体と	なった都市間交流の	宇体		
	·多摩区観光協会		大 ル也 		
	を通じた交流都市	が正わりくがと			
	との交流				
\$5. 点上C数周即用汀州区	●賑わいと魅力倉	削出に向けた取組の打	佳)佳		
登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区 最わい継承事業		の回遊性向上・活性(—· —	R! 等の推進	
以わい性外尹未		・コンテンツ等の更新			
土地区画整理事業の推進により	新、アクセス数の分	、アクセス数の分析等			
変貌するまちの賑わいを引き継ぎ、	析等	による効果や手法の			
さらに発展させることで、魅力ある		検討			
まちづくりに取り組みます。					

	現状		事業内容	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
スポーツを活用したまちづくり推		アまで気軽にスポーツ	を楽しむ機会を提供	する「多摩区スポーソ	ツフェスタ」の開催
進事業	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	「フロンタウン生田」、 多摩スポーツセンター			\longrightarrow
令和4(2022)年度に予定されている「フロンタウン生田」などの	田」と連携した開 催の検討	との連携による開催 開催回数:1回			
供用開始を踏まえ、事業者や地域と連携したスポーツの活用等により、誰もが気軽にスポーツを楽し		日年記念事業を契機の 」などの供用開始に関連			- 17:55
むことができる機会を提供し、地域 住民の交流、地域の活性化を進	・記念パネルディス カッションの内容検 討	記念パネルディスカッ ションの実施 実施回数:1回			
めます。		・記念事業の実施結果を踏まえた取組の検討・実施			\longrightarrow
		田」や地域と連携した	たスポーツ事業の実施	TE	
	・ 連携事業内容の 検討	・連携事業内容の検 [・] 討・実施			

災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進









主な取組の方向性

●地域特性に応じた実践的な訓練や隣接自治体との連携強化等による地域防災力の向上

●関係機関との地域連携による犯罪発生の抑止や、交通ルール・マナーの定着による交通事故防止に 向けた取組の推進

現状		事業内	容·目標	
令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
年度	年度	年度	年度	年度
●自主防災組織	、避難所運営会議か	で主催する各種会議	・訓練への支援の実施	拖
・各種会議・訓練	継続実施			\rightarrow
への支援				
	*** + + + + + + + + + + + + +	-4112		
			宇佐同数 . 1 同	実施回数:1回
美吧四数:1四	美吧凹数:1凹	美旭四数:1四	美旭四数:1四	美心四致:1四
●防災を「自分事	ことして捉える防災意	意識の醸成		
o地域団体、関係植	幾関と連携した防災フェ	アの開催		
実施回数:1回	実施回数:1回	実施回数:1回	実施回数:1回	実施回数:1回
o地域団体·学校等	幹を対象とした防災出育	う が講座の実施		
・出前講座の実施	継続実施			
タ種声光い声推り	+17+(((+ L) %) A 5	₽ +⁄=		
			宝饰同数 . 2 回	実施回数:2回
大旭四女 . 2 四	大旭出致,乙凹	大旭山奴 . Z 山	大旭山奴 . 2 山	大旭凹奴 . 2 凹
●区民や関係機関	関との連携による地域	域特性に応じた「多層	摩区総合防災訓練」(の実施
実施回数:1回	実施回数:2回	実施回数:2回	実施回数:2回	実施回数:2回
(R1:2回)				
	令和3 (2021) 年度 ●自主防災組織 ・各種会議・訓練 への支援 ●地域人材の防 ・災害発生時に備 実施回数:1回 ●防災を「自分事 ・地域団体、関係科 実施回数:1回 ・地域団体・学校等 ・出前講座の実施 ・各種事業と連携し 実施回数:2回 ●区民や関係機 実施回数:1回	令和3 (2021)	令和3 (2021)	令和3 (2021)

現状	事業内容・目標					
令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)		
年度	年度	年度	年度	年度		
			宇华同类,1回	実施回数:1回		
			大旭山 奴,1日	关心回数. 1日		
交通安全意識	の定着に向けた啓発	の実施				
◦幼稚園、保育園、	小学校を中心とした交	通安全教室の実施				
実施回数:80回	実施回数:80回	実施回数:80回	実施回数:80回	実施回数:80回		
。区内危険箇所への	の啓発看板等の設置					
・取組の推進	継続実施			\rightarrow		
	令和3 (2021) 年度 ●安全・安心な地。 防犯・交通安全等 実施回数:1回 。地域防犯活動団で・活動物品の貸与 ●交通安全意識での対策園、保育園、 実施回数:80回。区内危険箇所への	令和3 (2021)	令和3 (2021) 令和4 (2022) 年度 年度 年度 年度 年度 年度 年度 年度 年度 中度 中度 中度 中度 中度 中度 中度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	令和3 (2021)		

たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進







主な取組の方向性

●多様な主体の連携による地域が一体となった子ども・子育て支援や、多様な方法での効果的な情報 発信による地域で安心して子育てができる環境づくりの推進

<u>k</u>								
	現状		事業内	容·目標				
事業名	令和3(2021)	和3(2021) 令和4(2022) 令和5(2023)		令和 6 (2024)	令和7(2025)			
	年度	年度	年度	年度	年度			
多摩区こども総合支援推進事	●地域全体での	ー 子ども・子育て支援の	の取組の推進					
業	○多摩区こども総合	うまでは	こ情報共有・意見交換	の実施				
*	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回	開催回数:1回			
子ども・子育て支援団体や関係機	▲ヱ奈ァについて	・抽般を沈めるための	(信報担併や人分字)	北の推進				
関と連携し、地域全体で子ども・	子育てについて理解を深めるための情報提供や人材育成の推進○子ども・子育て支援への理解を深めるための講演会、学習会の開催							
子育て支援の取組を推進するとと	開催回数:2回		開催回数:2回	開催回数:2回	開催回数:2回			
もに、人材育成や子ども・子育て			/пішшх. 2 Ц	/пішшж. 2 ш	MIEUX. 2 U			
家庭を見守る環境づくりを推進し	o子育て支援者養							
ます。	/C1/04/3/21/3/12/	連続講座開催回	連続講座開催回	連続講座開催回	連続講座開催回			
	数:1回	数:1回	数:1回	数:1回	数:1回			
	●地域での子育	て世代への見守りや	交流の促進					
A STATE OF THE STA	・住民主体の外遊	○住民主体の外遊びイベントを通じた多世代交流の促進						
W. L. T.	開催回数:3回	開催回数:3回	開催回数:3回	開催回数:3回	開催回数:3回			
	o多摩区子育7寸	ー 援パスポート事業の実力	布					
	・パスポート発行、		<u></u>					
住民主体の外遊びイベント	パンフレット作成	1121707 (70						
EDUZINOS/1201 31								
多摩区こども・子育て情報収	●子育て家庭のニーズに応じた情報発信							
集·発信事業	○地域の子ども・子育て情報冊子「多摩区地域子育て情報BOOK」の作成、ホームページ等の活用							
	による情報発信							
子育ての悩みや不安を解消し、地			更新•発行回数:1					
域で安心して子育てできるように、	1 🗇	<u> </u>	回					
子ども・子育てに関する情報や相	・ホームページ等で	継続実施						
談窓口の情報を多様な方法で提	の情報発信							

供します。

o子ども・子育てに関する相談窓口案内リーフレットの作成

更新·発行回数: 更新·発行回数: 1 更新·発行回数: 1 更新·発行回数: 1 更新·発行回数: 1回

◦地域における保育所等の子育て支援応援冊子「たまっ子ノート」の作成

更新·発行回数: 1 更新·発行回数: 1 更新·発行回数: 1 更新·発行回数: 1 回 回 回 1回 回

すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進



8

主な取組の方向性

●地域での見守りや交流活動、健康づくりなど、住民主体の取組と連携・協働した、多世代で支え合い、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりの推進

	現状	事業内容・目標						
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)			
	年度	年度	年度	年度	年度			
多摩区地域包括ケアシステム推 進事業	◦地域の課題を共存	じた健康づくり、支え 行 可し、住民が主体的に角 ・地域課題の解決に	合いの地域づくり 解決していくための地域	づくりの支援				
地域特性に応じた地域づくりの推 進を目的に、多様な主体と連携・ 協働した取組や、啓発活動に取り	た取組の推進	向けた取組等を通じた地域づくりの推進						
組みます。	・地域活動団体の 交流機会の提供	松枕夫 加						
		システムの理解促進に テムの理解促進に向け ・広報誌の発行及び 次年度に向けた事業 の検証	た広報の実施 ・検証を踏まえた広	・広報の実施及び次年度に向けた事業の検証				
	o小学生に対する認知症サポーター養成講座及び中学生に対する認知症講演会の開催							
支え合いの地域づくりに係る	開催回数:13回 (R1:19回)	開催回数:21回	開催回数:21回	開催回数:21回	開催回数:21回			
Ͻ ォ ーラム	·在宅療養推進協	成で暮らし続けるため ・在宅療養推進協議 会と連携した公開講 座等の取組の実施	の医療と介護の連携	5促進				
パサージュ・たま開催事業 多摩区総合庁舎アトリウムで、障	 ●障害のある方など社会的マイノリティへの理解を深めることによる「心のバリアフリー」の促進 ○区内の障害者の団体、生活・就労支援を行っている障害者施設等の活動紹介や作品展示などを行う「パサージュ・たま」の開催 							
害者の団体や作業所等の活動紹介、作品展示などを行い、障害のある方など社会的マイノリティへの理解を深め「心のバリアフリー」を促進します。	(H30:11回) 。「心のパリアフリー」	開催回数:11回 の推進に向けた広報の ・広報誌、動画を活	開催回数:11回 実施	開催回数:11回	開催回数:11回			
	び広報手法の検 討	用した広報の実施			7			

市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進



- ●「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組など、多様な主体が連携した 市民創発による地域課題の解決に向けた取組の推進
- ●町内会・自治会との連携や、区にゆかりのある 3 大学と地域との連携促進などを通じた活力ある地域 づくりの推進

	現状	事業内容·目標						
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和 6 (2024)	令和7(2025)			
	年度	年度	年度	年度	年度			
多摩区·3大学連携事業	● 大学との連携による地域課題解決に向けた「大学・地域連携事業」の実施 本機事業の事務							
大学と地域の交流・連携を図ると	・連携事業の実施	継続実施						
ともに、地域のさまざまな課題の解決に向けて、大学の知的資源を活用した取組を実施します。	・大学生の地域参加に向けたプログラ ムの実施	連携を促進する「たま・効果的な地域参加プログラムの検討・実施	なびプログラム」によ	る地域づくりの推進	→ ·			
クラロロス大学コンサート:	学情報の発信	・多様な手法による 大学情報の発信 ・公開講座等による 交流促進			→ →			
THE REAL PROPERTY OF THE PARTY	• ELWAND	マスナ学の学生もは	ことはも「夕麻豆っ	上巻ついみ しゅほ	1/ W			
大学生と地域の交流 (多摩区3大学コンサート)		る3大学の学生を中 開催回数:1回	・心とした1 多摩区 3 開催回数:1回	スチョンサート」の展 開催回数:1回	開催回数:1回			
(タ序位3八子コン) 1)	●大学と連携した	生生田緑地エントラン	ススポットの維持管理	型と広報での活用				
	・施設の維持管	継続実施			\longrightarrow			
	理、広報での活用							
地域コミュニティの活性化促進	●町内会・自治会・加入促進のため	そへの加入に向けた唇 継続実施 一	各発活動など支援の	実施				
事業 町内会・自治会の抱える課題を 共有し、その実情に応じた支援を	の啓発活動の実施	・子育て世帯等に向	•効果的か広報物の					
進めることにより、町内会・自治会活動、さらには地域コミュニティの活性化を図ります。	トの発行	けた広報物の検討・作成						
1主1しを図ります。	●地域住民を対	象とした地域活性化	に向けた講演会等の	開催				
	・講演会等の開催	継続実施			\longrightarrow			
		性化に向けた各種 補 ・活動事例等の調	・冊子等を活用した	等の情報発信				
		査、冊子の作成	情報発信					
多摩区コミュニティ施策区域レベ				援の実施				
ル取組推進事業	・協定に基づく支援の実施	・協定に基づく支援の 実施						
「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組として、多摩区におけるソーシャルデザインセンターへの運営支援等を行い、市民創発による地域		はまえた多摩区におけ ・区域レベルの取組に対する評価・検証の 実施及びソーシャルデ ザインセンターへの支	・ソーシャルデザインセ ンターへの支援など区 域レベルの取組の推	の推進	・区域レベルの取組に 対する評価・検証の 実施及びソーシャルデ ザインセンターへの支			
の課題解決に向けた取組を進めます。		援など今後の区域レベルの取組のあり方の 検討	_		援など今後の区域レベルの取組のあり方の検討			

地域の課題解決に向けたその他の取組

		現状事業内容·目標				
事業名	概要	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度	令和6(2024) 年度	令和7(2025) 年度
×						
地域資源を活用した販 音楽による区の魅力	び民が身近に音楽に触れる機会 や地域の音楽家に演奏を披露す	- E20C-3 IM/E31COV	 る「たま音楽祭」の開催 _			
発信·地域交流創出 事業	る場を提供し、音楽を通じて、まちの賑わいや地域交流の活性化を推進します。		∵の「たまアトリウムコン! 		É	
多摩区エコロジーライフ事業	, 区民が家庭で取り組める地球温 暖化対策を、区民との協働により 推進します。	●子どもたちの環境等	 ゴーヤの種子の配布な 学習を目的とした「夏休 た使用済みてんぷら油(あ!多摩区エコフェスタ 	 タ 」の開催 	
水辺の愛護活動事態	町内会・自治会等による二ヶ領 用水の清掃・愛護活動を支援 し、緑豊かな水辺空間づくりと、区 民の環境愛護活動を推進しま す。		 用水の清掃・愛護活動 	に対する支援・協力		
多摩川環境啓発展 事業	多摩川に生息する淡水魚等を多摩区総合庁舎1階アトリウムで飼育展示し、多摩区への愛着を含め、環境意識の啓発を図ります。		 の展示及びパネルの掲 	出 		
多摩まちかど祭開催 事業	区民祭の会場でステージイベント を開催し、区民が日頃の文化芸 術活動の成果を発表できる機会 を提供するとともに、区民相互の 交流と地域活性化を図ります。	●区民祭会場におけ	 	│ 画・実施		
区民祭開催経費	区民一人ひとりが担い手となること で、心温かい地域コミュニティを作り、暮らしやすい快適なまちづくりを 推進することを目的に区民祭を開催します。		を いまだ。 と連携した多摩区民気 と	 (
区制50周年記念事業	令和4 (2022) 年度に迎える 区制50周年を、地域と行政が一体となりお祝いする機運を醸成す るとともに、長く区民に親しまれる レガシーの形成に取り組みます。		を活用したまちづくりの 		マルディスカッション及び 	関連事業の実施
災害に強く安全で安心	できるまちづくりの推進					
多摩区危機管理事	多摩区防災連絡会議を通じて関係機関との連携を強化するとともに、隣接自治体と連携した訓練の実施により、区全体の総合的な危機管理機能の向上を図ります。	●洪水·土砂災害・雪 ●区防災対策の充実		 	防災会議・部会の開催	<u> </u>
自転車利用マナーアプ促進事業	多摩区は自転車事故の割合が 高い地域のため、自転車交通安 全標語を活用した啓発の実施等 により自転車運転マナーやルール の定着を図ります。	●区内由学校 享等	 た自転車交通安全標 学校を中心とした、スク			in the second se
	+	-	-			

●「どうぶつ愛護フェアinたま区」の開催

●動物愛護・適正飼養の更なる周知・啓発に向けた情報発信

●区内小学校低学年向けに、生命の大切さを伝える体験型「いのちの授業」の実施

学校・地域・家庭へ動物愛護思

想を浸透させ、動物の飼養上のさ まざまな問題を解決へとつなげるこ

とにより、人と動物の調和のとれた 共生社会の実現を図ります。

多摩区動物愛護推進

ι			現状事業内容·目標					
	事業名	概要	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度	令和6(2024) 年度	令和7(2025) 年度	
ħ	たまっ子を区民みんなです	ー 育てるまちづくりの推進						
	たまたま子育てまつり 開催事業	支援団体等との協働により、参加 しやすい子育てまつりになるよう変 化を加えながら、親子で学び、遊 べる場の提供や相談、情報提供 などを行う子育てまつりを開催しま す。	●たまたま子育てまつ	りの開催				
	子ども・子育て支援推進事業	支援団体や関係団体と連携し、 地域全体で子ども・子育ての取組 を推進するとともに、人材育成や 子ども・子育て家庭を見守る環境 づくりを推進します。		 の情報提供や公立保証 			 (もね!]の実施 	
	地域子育て力向上事 業	子育て中の親子が気軽に集まり 交流する中で子どもとの関わり方 を体験しながら育児の力をつけて いく環境づくりを推進します。		 保進と育児力向上に応 ア配置による各種健診 		 定実		
형	すこやかに安心して暮らせ	さる地域福祉・健康のまちづくりの批	進進					
	精神保健普及啓発事 業	精神保健福祉の課題に取り組む 場として、「精神保健福祉連絡会 議」を設置し、メンタルヘルスの普 及啓発に向けた講演会等を実施 します。	●メンタルヘルスに関●チラシ等を使った広	 する講演会の開催 報及び普及啓発の実 	施			
ħ	5民自治を一層進める地	域人材によるまちづくりの推進						
	多摩区区民意識アン ケート事業	地域の課題解決や魅力を活かした取組を効果的に推進していため、多摩区役所が推進する主な取組に関する意識などを調査し、結果を分析します。	●多摩区区民意識万	アンケートの実施(隔年	実施)			
	市民活動支援事業	「多摩区民活動・交流センター」を 区民との協働により運営し、市民 活動団体等の自主的な活動の 発展、交流、相互支援を促進し ます。		れる運営委員会との協 				
		公園が地域コミュニティの場となり、地域の活性化が促進されると ともに、利用者の利便性が向上す るように、公園の案内冊子を作成 します。	●多摩区内の公園情	青報を掲載した「多摩区	公園BOOK」の作成			
	区役所サービス向上事業 窓口サービス改善推 進事業	分かりやすい案内表示や窓口対 応等を実行し、区役所利用者の 利便性と満足度の向上を図りま す。	●窓口対応時のスキ	 外部評価実施に基づく ルアップのための職員の による課題解決策の検 	│ 肝修の実施 │			
Ħ	地域課題対応事業その個	也事業						
	共通事務経費	地域課題対応事業において共通 で必要となる物品を一括購入し、 事務の効率化を図ります。	●一般事務用品、備	品類の調達 				
D	区の新たな課題即応事詞	業						
	区の新たな課題即応 事業	新たに生じた課題に、適切かつ迅速に対応し、解決に向けた取組を推進します。	●新たに発生する課績	 題に対応する事業の実 	施			



多摩区における特徴あるまちづくりの取組

多摩区で展開されている市民生活を支える事業のうち、区計画に記載されている事業(地域課題対応事業) 以外の事業に関連した、区の特徴的な取組を紹介します。

●登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくり推進事業

登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区では、安全で快適な暮らしを支える都市基盤整備等のため、昭和63 (1988) 年から登戸土地区画整理事業に取り組んできました。今後も、令和7 (2025) 年度の移転・基 盤整備の完了をめざし事業を推進するとともに、令和3 (2021) 年7月に策定した「登戸・向ヶ丘遊園駅 周辺地区まちづくりビジョン」に基づき、多様な主体と連携し、交通結節機能や自然環境、文化施設等のまち のポテンシャルと民間活力を活かした魅力的な拠点形成に向けた取組を進め、更なるまちの魅力や賑わい創出 に取り組んでいきます。

【政策体系別計画 398P:施策 4-5-2 登戸土地区画整理事業】

【政策体系別計画 398P:施策 4-5-2 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくり推進事業】

【多摩区役所における関連した取組】

- 登戸土地区画整理事業の進展によって街なみが変貌していく中で、これまで のようにまちが賑わい、活性化するための取組として「たまく de AR! 」を行っ ています。登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区や生田緑地等のアクセスルートに AR スポットを設置し、スマートフォンのカメラで QR コードを読み込むことで、そ れぞれのスポットにちなんだ個性豊かなキャラクターと一緒に写真が撮れるな ど、楽しみながら、まちや施設を巡ることができます。
- また、「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくりビジョン」とも連携し、地域の 人と人とがつながり、まちへの愛着を持ち、まちの魅力を多くの人が共有できる ような取組を進めていきます。



スマホを片手にまち歩きを楽しめます。

●「フロンタウン生田」などの供用開始に向けた取組

牛田浄水場用地の一部について、更新用地として利用するま での間、有効利用を図るための取組を推進しています。当該用地 を有効利用する事業者として選定された株式会社川崎フロンター レと、令和元(2019)年度に事業の実施に関する基本的な事 項を定めた協定を締結し、令和4(2022)年度中に市民へス ポーツ及び交流の機会を提供する施設としてフロンタウン生田、ふ れあい広場及び多目的広場の供用開始を予定しています。



フロンタウン生田の整備イメージ

【資料編 655P: 施策 1-3-1 水道・工業用水道事業における経営基盤の充実・強化事業】

【多摩区役所における関連した取組】

- ○「フロンタウン生田 | 等を区の重要なスポーツ資源として捉え、地域や事業者などとの 効果的な連携により、スポーツを活用した地域の一層の活性化を進めます。
- 令和4(2022)年4月に迎える区制 50 周年を記念する事業の一環として、「フ ロンタウン生田」等の開設に関連付けたパネルディスカッションを実施するなど、供用開 始に向けた機運を盛り上げながら、効果的に地域の活性化や多様な主体のつながりづくりに繋げていきます。



地域と連携し開催している 「多摩区スポーツフェスタ」



"それいいね"が広がるまちづくりに向けて

多摩区で展開されている事業のうち、地域課題の解決に向けて、市民や団体等と協働・連携して行っている特徴的な取組を紹介します。

● 訪れる人も住む人も楽しめる! 「ピクニックタウン多摩区」

多摩区の自然や文化施設、歴史といった豊富な地域資源を活用し、区の魅力をその内外に積極的に発信することにより、区への関心を深めてもらい、誘客及び地域の活性化につなげています。

豊富な地域資源を活用した地域周遊の取組

○ 多摩区の自然豊かなスポットや、グルメスポットなどをゲーム感覚で巡る 『SHIGENARI-多きを解き明かし摩天楼へ-』を実施しました。区内の さまざまなスポットに設置した QR コードを活用した周遊型謎解きゲーム で、コロナ禍でも人や物と接触せずに楽しめるイベントとして、過去2年 で延べ約3,000人の方々に参加いただきました。実施にあたり、明治 大学クイズサークルのほか、区内の多くの施設・店舗にも協力いただき、 地域一体となった、多摩区の活性化、魅力向上をめざしています。



多原区を開催し、更なる暗号メナモージを解き引かせ: まち歩き謎解きゲーム SHIGENARI2

○ 多摩区観光協会が主催する、区の主要な観光資源である生田緑地と多摩川を活用した地域周遊イベント「ピクニックラリー」を支援しています。区内の飲食店等が出店し、コロナ禍での地域の活性化を図るとともに、各店舗等の PR や集客増につなげています。

ピクニックコンサート

○ 「音楽のまち・かわさき」を推進するため、多摩区の象徴である生田緑地の豊かな自然の中でコンサートを開催しています。ピクニックを楽しみながら音楽を楽しめるよう出店ブースを設置したり、地域イベントと同時開催するなど、多くの方に楽しんでいただいています。令和3(2021)年度はかわさき苗と緑の科学館開館50周年記念として実施し、令和4(2022)年度は区制50周年記念として実施予定です。



生田緑地でのピクニックコンサート

みんなで発信!多摩区の魅力

- 区民主体の観光ボランティアガイドによるツアーを年間を通じて開催しています。四季折々に表情の違う自然や、歴史、文化に触れることができるさまざまなツアーを用意し、多くの方に楽しんでいただいています。
- 多摩区の魅力をメディア、SNS 等さまざまな媒体を通じて発信しています。特に、SNS に注力し、SNS インフルエンサーを活用した PR や、参加型 SNS キャンペーンなど、若い世代への PR を積極的に行っています。



SNS を活用した参加型キャンペーン

★市民の想い、メッセージ

- この企画によって知らなかった公園やお店に出会えるのでとても良かったです。街の人とお話したりもできて地域の人との交流があったりととてもよかったです。また次回の企画を楽しみにしています!(SHIGENARI2 アンケート)
- このまち歩きゲームを通じて、色々な場所を知れてとてもよかったです。クイズも面白くて家族で楽しめました。(SHIGENARI2 アンケート)
- 初めて見学できた場所も多く、この機会に見学出来て充実していました。ボランティアの方の説明や対応がとてもよく楽しめました。(ガイドツアーアンケート)

	Ŀ	4	١	I	
ı	ì	ľ	•	ı	ì
		Þ	-	1	
	Ł	1	Ę	ĕ	
J		Z	ė	3	

5のマップとの対応表

有礼施設

名称	開所予定	定員	MAP 番号
特別養護老人ホーム長沢壮寿の里 (建替え)	R6(2024)年度	132 人 短期入所 8 人	Θ
中野島住宅福祉施設用地障害福祉サービス事業所	R6(2024)年度	生活介護· 就労継続支援 B型 40~50 人程度	<u>©</u>
スターチャイルド «登戸ナーサリー» (保育園)	R4(2022)年度	丫 09	<u>©</u>

名称	世田谷町田線【登戸工区】 橋り。	横浜生田[東三田工区] 道路
事業概要	橋りよう整備	直路拡幅
事業予定	事業推進	事業推進
MAP 番号	4	(5)

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
保育・子育て総合支援 センターの整備	保育・子育て支援拠点の整備	R6(2024) 年度運営開始	9
北部児童相談所の増築	施設狭あい解消のための整備	R5(2023) 年度供用開始	©

登戸土地区画整理事業	魅力と活力にあふれた市北部 の拠点地区の形成を推進する ための土地区画整理	R7(2025) 年度 移転・ 基盤整備 完了	⊚
登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区のまちづくり	自然環境、文化施設等のまち のポテンシャルと民間活力を活 かした魅力的な拠点形成に向 けた取組の推進	事業推進	6
コミュニティ交通に係る実験 (生田山の手地区)	本格運行の実施に向けた取組 の推進	R4(2022) 年度実施	(9)
JR 稲田堤駅の橋上駅舎化	駅へのアクセス向上を図るため の自由通路及び橋上駅舎の 整備	R5(2023) 年度完成	
生田住宅新棟1の整備	市営住宅の建替工事	R5(2023) 年度完成	(2)
生田住宅新棟2の整備	市営住宅の建替工事	R8(2026) 年度完成予定	(2)
五反田川放水路の整備	五反田川の洪水全量を地下トンネルで直接、多摩川へ放流する施設の築造工事	R5(2023) 年度運用開始	2
一級河川平瀬川支川の 改修	治水安全度向上のための河川 の改修	事業推進	(2)
生田浄水場用地の 有効利用に係る整備	地域の住民等が利用できる ふれあい広場、多目的広場、 フロンタウン生田の供用開始に 向けた取組の推進	R4(2022) 年度供用開始	(9)
三沢川地区の浸水対策	下水道施設の整備	事業推進	
上河原堰堤の更新	堰堤の機械・電気施設の更新	R9(2027) 年度完成予定	(29)

事業名(〇は本計画に掲載している主な事業や取組)

地域資源を活用した賑わいと	魅力あるまちづくりの推進
0	観光振興·タウンプロモーション推進事業
0	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区賑わい継承事業
0	スポーツを活用したまちづくり推進事業
	音楽による区の魅力発信・地域交流創出事業
	多摩区エコロジーライフ事業
	水辺の愛護活動事業
	多摩川環境啓発展示事業
	多摩まちかど祭開催事業
	区民祭開催経費
	区制50周年記念事業
災害に強く安全で安心できる	まちづくりの推進
0	市民防災活動支援事業
0	多摩区安全・安心まちづくり推進事業
	多摩区危機管理事業
	自転車利用マナーアップ促進事業
	多摩区動物愛護推進事業
たまっ子を区民みんなで育て	るまちづくりの推進
0	多摩区こども総合支援推進事業
0	多摩区こども・子育て情報収集・発信事業
	たまたま子育てまつり開催事業
	子ども・子育て支援推進事業
	地域子育て力向上事業
すこやかに安心して暮らせる	地域福祉・健康のまちづくりの推進
0	多摩区地域包括ケアシステム推進事業
0	パサージュ・たま開催事業
	精神保健普及啓発事業
市民自治を一層進める地域ノ	人材によるまちづくりの推進
0	多摩区·3大学連携事業
0	地域コミュニティの活性化促進事業
0	多摩区コミュニティ施策区域レベル取組推進事業
	多摩区区民意識アンケート実施事業
	市民活動支援事業
	多摩区公園案内事業
区役所サービス向上事業	
	窓口サービス改善推進事業
地域課題対応その他事業	
	共通事務経費
区の新たな課題即応事業	
	区の新たな課題即応事業

床生区 (□ □ □ □ 180,826 人 □ 面積 23.11 km²



■世帯数 80,365 世帯 (令和4(2022)年1月1日現在)





麻生区の花



麻生区の概要

- 麻生区は昭和 57 (1982) 年に、多摩区から分区して誕生しました。「麻生」の名は、8世紀頃、こ の地が朝廷への貢物だった麻布の原料である麻を産したことによると伝えられています。
- 昭和2(1927)年に小田急線の柿生駅が開設され、その後、昭和49(1974)年に新百合ヶ丘 駅が誕生、さらに小田急多摩線が開通しました。新百合ヶ丘駅周辺地区には行政機関、大型商業施 設、病院などの都市機能が集積し、市北部における広域拠点として機能強化が図られてきました。
- 平成24(2012)年に区制30周年を迎え、区の花「ヤマユリ」、区の木「禅寺丸柿」を制定しました。 また、10月21日を「禅寺丸柿の日」と制定し、禅寺丸柿キャラクター「かきまるくん」による普及活動な ど、麻生区固有の魅力と価値を後世に伝承する活動が進められています。
- 麻生区は、里地・里山など緑のうるおいにあふれ、一人あたりの公園緑地面積は約10㎡と、7区で最 も高くなっています。区内には、「黒川」・「岡上」・「早野」の農業振興地域、農産物直売所「セレサモス」 があり、平成 24(2012)年には「明治大学黒川農場」が開場するなど、農業資源に恵まれています。
- 麻牛区では、芸術・文化のまちづくりが進められ、大学や施設が集積し、年間を通じて、市民の手による。 さまざまな芸術・文化のイベント等が開催されています。また、芸術・文化や子育て、農などさまざまな分 野で、区内の6大学(昭和音楽大学、玉川大学、田園調布学園大学、日本映画大学、明治大学、 和光大学) や企業との連携も進んでいます。



まちづくりの方向性

豊かな自然と芸術が溶け合う活力のあるまち

- 麻生区は、新百合ヶ丘駅周辺をはじめ区内に芸術・文化が輝き、黒川・岡上・早野などに広がる豊かな自然や農のある風景、景観の整った美しい街なみが調和し、安全・安心で魅力にあふれ、心の安らぎが感じられるまちです。
- 区民がまちに愛着と誇りを持ち、こうした貴重な地域の資源を大切に育むとともに、地域や大学などのさまざまな主体が手を取り合い、支え合うことで、未来に広がる、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めます。

3 これまでの主な取組状況

●芸術・文化のまちづくりの推進

豊かな芸術・文化資源を活かし、多彩な主体と協働・連携して、誰もが芸術・文化に親しめる環境づくりを進めています。

また、麻生区の地域に根ざした特有の伝統・伝承文化や観光資源について、地域の文化団体や観光関係団体等と連携し継承するとともに、さまざまな媒体を活用しその魅力を広く発信しています。

●農と環境を活かしたまちづくりの推進

農業資源や環境資源への理解を深め、その魅力を伝えるために大学や農業事業者、区民等との協働による地域資源を活用した取組を推進しています。

また、市民活動団体等との協働により、地球温暖化対策や自然エネルギーの活用などの環境問題に関する普及啓発の取組や、区内に残る里地・里山の魅力を伝えるための保全に関するイベント、人材育成交流事業等を実施し、環境資源の保全に向けた取組を推進しています。

● 高齢化への対応とすこやか・支え合いのまちづくりの推進

高齢化が進展するなかで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、麻生区らしい地域包括ケアシステムを構築し、互いに支え合える地域づくりを推進しています。

また、区民と地域団体、関係機関、行政のそれぞれが地域福祉の目的や課題を共有し連携を図ることによって、区民ひとりではできない、行政だけではできない自助・互助のしくみづくりを進めています。

●安全・安心まちづくりの推進

区民一人ひとりの防災意識の向上や自主防災組織の活動の活性化を通じた地域の自助・共助体制の強化を図るなど、災害に強いまちづくりを推進しています。

また、区民が安全・安心に暮らすことができるように、交通安全の啓発事業や、地域の防犯組織と連携 した取組を行っています。

●総合的な子ども・子育て支援の推進

多様化・複雑化する子育て支援ニーズに対応するため、関係機関や団体等との連携を強化するととも に、大学や民間企業等の地域資源を活用した子ども・子育て支援の取組を進めています。

● 地域資源を活用したコミュニティづくりの推進

多様な主体の連携により、「市民創発」によるコミュニティづくりに向けた取組を進めるとともに、地域コミュニティの核である町内会・自治会に対し、加入促進等の地域活性化に向けた取組を推進しています。

また、地域資源を活かしたスポーツのまち麻生の推進を通じて、豊かなコミュニティづくりを進めています。

●芸術・文化が輝き、豊かな自然に恵まれています。

- 麻生区内には、「昭和音楽大学」、「日本映画大学」、「川崎市アートセンター」など芸術・文化関連施設等が集まり、「アルテリッカしんゆり」、「麻生音楽祭」、「あさお芸術のまちコンサート」など、さまざまな芸術・文化イベントが開催されてきました。さらに、多くの区民が芸術・文化を身近に感じ、楽しみ、参加できる魅力あふれるまちを創るため、市民団体、事業者、教育機関、市民、行政等多彩な主体が交流を深め、一層の連携のもと、豊かな芸術・文化資源を活かした取組を進める必要があります。
- 麻生区は、黒川・岡上・早野地区の農業振興地域をはじめ、 市内の農地、山林の 43%が区内に集積するなど豊かな自然 に恵まれており、令和 2 (2020) 年度のかわさき市民アンケートでは区民の 81.3%が「公園や緑の豊かさ」について満足していると回答しています。こうした地域の農業資源、環境資源を活かして、地域の魅力やブランド力をさらに高めることが必要です。また、SDGs の目標達成のため、環境問題の対応に加え、多様な主体と連携した取組を進める必要があります。



麻生音楽祭



収穫体験 (明治大学黒川農場)

●人口減少・高齢化に対応するため、支え合いの地域づくりを進める必要があります。

○ 麻生区の人口は、令和 12 (2030) 年頃をピークに約 18.7万人まで増加を続けますが、その後減少に転ずることが予測されています。現在の区内の高齢化率は 23.4% (令和 3 (2021) 年6月現在)と既に市内トップになっており、町丁別に見ると 50%を超える地区もあります。今後、更なる高齢化の進展によるケアを必要とする高齢者の増加や地域活動の担い手不足などに対応するため、地域における自助・互助の意識づくりやしくみづくりの推進が求められています。



地域包括ケアシステム講演会

●安全・安心なまちづくりをめざした取組を進める必要があります。

- 麻生区内の土砂災害警戒区域は305区域(令和3 (2021)年5月現在)と7区で最も多く、また、首都直下 地震のみならず風水害の頻発化・激甚化が想定されることから、被害を最小限に食い止めるために、自助・共助体制の強化による、災害に強いまちをつくる必要があります。
- 交通安全に関する取組について、麻生区の交通事故発生件数は他区と比較し少ない状況ですが、令和2(2020)年は子ども関係事故発生件数が7区で最も多くなっていることから、効果的かつ実践的な交通安全の啓発を行うなど、交通事故をなくすための取組を進める必要があります。また特殊詐欺についても発生件数は少ないものの、被害額が大きいことから幅広い年齢層を対象とした注意喚起を行っていく必要があります。



自主防災組織による訓練の様子

- ●少子化·核家族化など子育て環境の変化に伴い、子ども·子育て支援の充実が求められています。
- 麻生区の年少人口は今後緩やかな減少傾向に転じると予測されている中、万福寺やはるひ野など、近年の住宅開発により年少人口の割合が高い地区もあり、子ども・子育て支援については依然として高いニーズがあります。核家族化や地域のつながりの希薄化などを背景に、育児への不安や負担感を抱きやすい家庭も増えていることから、子育て支援情報の発信、気軽に子育ての相談や交流ができる場づくり、地域活動の支援など、子育て家庭を地域全体で支え、安心して子育てできる環境づくりが求められています。



子育てサークルの活動支援

●地域では知識や経験を持った区民によるさまざまな活動が行われています。

○ 市民主体で運営する市民活動支援の拠点である「麻生市民交流館やまゆり」では、シニアなどが培ってきた知識や経験を活かした市民活動が行われています。これからは、暮らしを取り巻く環境の変化がもたらすさまざまな課題に対応するため、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、多様な主体と連携して市民創発によるまちづくりを進める必要があります。また、町内会・自治会は、地域住民をつなげ、福祉や防災など身近な暮らしの課題の解決に大きな役割を担っていますが、加入率の低下や担い手不足、役員交代により継続した取組が困難になるなどといった課題への対応も必要となっています。



目指せ!アクティブシニア講座

○ そのほか、総合型地域スポーツクラブの更なる活動支援や区内の各種スポーツ大会支援を通じ、スポーツを通した地域の活性化、豊かなコミュニティづくりを進める必要があります。また、「障害などの有無にかかわらず誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち」をめざして、誰もがスポーツに参加できる環境づくりに取り組む必要があります。



総合型地域スポーツクラブでの体操教室



ボッチャ体験

計画期間の主な取組

芸術・文化のまちづくりの推進







主な取組の方向性

す。

- ●多彩な主体と協働・連携した誰もが芸術・文化を身近に感じる「芸術・文化のまち麻生」をめざす取組 の推進
- ●地域の文化団体や観光関係団体等と連携した麻生区特有の伝統・伝承文化や観光資源を活用した 魅力の発信

	現状		事業内	容・目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
しんゆり・芸術のまち推進事業	●芸術・文化等の ・ホームページやSN)情報発信 S等による情報発信の	継続的な実施		
新百合ヶ丘駅周辺や黒川エリアなど、区内に集積する芸術関連団	・情報発信の実施 及び見直し	・効果的な情報発信 の実施			
体等と連携し、情報発信やネット ワークづくり、イベント支援等誰もが 芸術・文化を身近に感じる魅力あ		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	叩する「あさお芸術・文	術文化を通じたつな 化交流カフェ」の開催	がりづくりの推進
るまちづくりを推進します。	・あさお芸術・文化・交流カフェの開催		・実施手法の検討	検討を踏まえた開催	
	◦区の芸術・文化活	動を知り、体験できる ん	崖しとして「カフェ・グラン	デ あさお」の開催	
		・区制40周年記念 事業と連携した企画	17.572.572.502	検討を踏まえた開催	<u> </u>
	o芸術·文化分野(c	の実施 「おけるネットワークを活	かしたプラットフォームの倉	訓出	
		・取組の検討及び試 行実施	・試行の検証	・検証結果を踏まえ たプラットフォームの運 営	
	▲新古会左丘即日	司辺の更なる魅力向	トに向けた取組の埃	_	
		・新百合ヶ丘エリアマ	エルフロック アイスルロックコロ	EVE	
	施するイベント等への支援	ネジメントコンソーシア ム等と連携した事業			
		の実施や支援 ・更なる魅力向上に			
		向けた検討			
麻生音楽祭開催事業		体や学校との協働に ・区制40周年記念		月催	
区を中心に音楽活動を行う団体 や学校が、日頃の活動の成果を		事業と連携したコン	· - · · · · · - · - · ·		
披露する機会を参加する市民が 主体となって創出することで、相互 交流や芸術文化の向上を図りま					

麻生音楽祭スクールコンサート

◎ 第36回麻生音楽祭 2021 **

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
あさお芸術のまちコンサート事業 業 区にゆかりのある音楽家や芸術文 化関係団体が主体的に連携を図 り、区内各地でのコンサート等の開 催を通じて地域や人のつながりをつ くります。		・区制40周年記念	・検討結果を踏まえた開催	えて誰もが音楽を楽しも	コンサート等の開催
あさお観光資源の魅力紹介事	●区の観光資源	の魅力発信	← □ 1 (1)		←□ \ \
業	・観光ガイドブック発行		・観光ガイドブックの発行		・観光ガイドブックの発行
観光ガイドブックの発行、観光写 真コンクール及び禅寺丸柿のPR	・観光写真コンクールの開催	・観光写真コンクールの開催		・観光写真コンクールの開催	
などにより、区の魅力を発信し、区 のイメージアップや地域の活性化を 促進します。	•麻生観光協会との	3」イベントの開催 D協働による柿もぎ体験	等のイベント開催		
	・柿もぎ体験等イベント開催	継続実施			



あさお芸術のまちコンサート



柿もぎ体験

農と環境を活かしたまちづくりの推進









主な取組の方向性

- ●大学や農業事業者、区民等との協働による麻生区の貴重な農業資源や環境資源を活用した地域 活性化に向けた取組の更なる推進
- ●持続可能な開発目標(SDGs)の考え方を踏まえ、多様な主体と連携し、地球環境の保全に関する普及啓発をはじめとした持続可能なまちづくりへの取組の推進

<u> </u>					<u> </u>
	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
			-"47-45 - 1454		
農と環境を活かした連携事業		ける実施計画等に基		0.141.44	
		会・専門部会活動の技	寺続化に向けた取組の	の推進	
大学や農業事業者、区民等と連		・実施計画の見直し			/
携し、区内の農業資源や環境資源を活かした地域活性化に向けた	し、田川地区物業会	に基づく取組の推進			_
取組を推進します。	・黒川地区協議会 の開催	継続実施			
4次が近で1年度しより。	・収穫体験イベント	継続実施 -			_
	等の開催	中型小儿文 // 尼			
		野地区における地域		の推進	
		边域資源調査結果等			_
		・地域イベント等の企			
	た地域活性化の	画検討	画·実施		
	検討				
	○早野地区の農業	業資源や地域資源を	舌用した各局、関係	者との連携による取組	の推進
	・各局との連携によ		・検討を踏まえた取		
	る取組の検討		組の実施		
		= . = . =			
麻生区SDGs推進事業		句けた取組の実施		<u> </u>	_
 				・プラットフォームによる	7
麻生区のローカルプラットフォームの		携した麻生区全体で	ム剧設、取組の美施	取組の美施	
創設に向けた取組を推進し、持続 可能なまちづくりをめざすとともに、	討	のプラットフォーム創出に向けた検討、講演			
自然エネルギーの活用など地球温		会、交流会の開催			
暖化防止等に関する普及啓発を					
推進します。		に関する普及啓発の			
3220000		による各種イベント等の	開催		
		・保育園・小学校の			
		出前授業等の各種イ			
	13 - 11 15 15 1 2 1 1 2 1	ベント等の開催、新			
	他体制の見但し	体制での事業実施			
京 上 田山 田山/日入州/本市州	●里地・里山保全	全に関するイベント、ノ	人材育成交流事業等	その関係	
麻生里地・里山保全推進事業				エロカフェ塾や里山フ	フォーラムの閚従
麻生区の貴重な資源である里地・	・里地里山カフェ		くれのにいるく主心	主田 ガブエ至 (主田)	ON DESCRIPTION OF THE PROPERTY
里山の魅力を、保全・活用の担い	塾、里山フォーラム	小正小グレンへが占			
手として期待される若い世代に対	の開催				
して発信し、普及啓発を推進しま	4°=> = .30 /		+ 1 + + + + + + + + + + + + + + + + + +	***	
ब		成、確保等を目的とし	ルた人材育成父流事:	美の美施	_
	・あさお里山こども クラブの実施	継続実施			/
	ソノノの天心				
	●里地・里山の鬼				
	•里地、里山への	関心を高め、変わりり	X自然、風景の保存	を目的とした風景写真	真展の開催、風景写
	真展記録集の発				
	・写真展開催、写	継続実施			
	真記録集の発行				



収穫体験







里山フォーラム 地球環境保全に関する出前授業

高齢化への対応とすこやか・支え合いのまちづくりの推進



主な取組の方向性

- ●誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる麻生区らしい地域包括ケアシステムの推 進
- ●住民主体の地域づくりに向けた情報発信の推進
- ●多様な主体との連携による支え合いの地域づくりに向けた取組の推進

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	令和7(2025
	年度	年度	年度	年度	年度
域包括ケアシステム推進事美		域づくりに向けた取組 ートを活用した住民主	1の推進 E体の地域づくりに向い	けた取組の支援	
也域包括ケアシステムの推進に不可欠な、人材の発掘・育成をし、	・ちいきのちからシー トの活用	・ちいきのちからシート を活用した取組支援			
区民が主体的に関わる地域づくり を進めます。また、新しい生活様式	○関係機関、団体	に対するヒアリングの	実施、結果等を反映	した地区カルテの充実	Ę
で進めます。また、新しい土冶様式を踏まえた、自助・互助の意識の	・町会・自治会ヒア	・ヒアリング結果等を	・関係機関・団体に	・町会・自治会ヒアリ	・ヒアリング結果等
選成を図るための普及啓発や情	リングの実施	反映した地区カルテ	対するヒアリングの実	ングの実施	反映した地区かり
級残で図るための自然日光では 服発信を実施します。		の充実	施		の充実
W) 0 10 C V 10 C V 10	健康づくり・介記	夢防の推進			
	新たなボランティン				
	7,772-071132377	・ボランティア養成講			
		座の開催			
	/#F=~\\\\\\ \^=#	マルズものサフラ	7 4.		
		予防活動の普及啓	光		
4 4 6 A 6 6	・講演芸の用作、 健康体操CDの配	・地域に向けた普及			
	布	台光伯勤の九天			
		予防ボランティアグル・	ープへの支援		
地域包括ケアシステム講演会	・ボランティアグルー	継続実施			
	プへの支援				
	●自助・互助の意	意識の醸成を図るため	めの普及啓発・情報	発信	
	∘地域包括ケアシ	ステムや保健福祉に	関する講演会、講座の	D開催等	
	・地域包括ケアシ	継続実施			
	ステム講演会の開				
	催				
	·感染症関連公開	継続実施			
	講座の開催				
		・地域づくりの好事例			
		等の紹介			
1#15 2 11 1 2 1 2 1 4 1 4 1 4 1 4 1	●おさお垣がまつ	りの開催による地域	連かの 推進		
様な主体との連携事業		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ではいました。 めの活動団体、作品	異元と短か活動団 <i>は</i>	の交流の提づい
マロス 日本			シップロ野川四十八十日日	ス小CIETIL/口到12/1/又	^v/又//ll v <i>)-m</i> ノヽ'.

区民と地域団体、関係機関、行・あさお福祉まつり 政のそれぞれが地域福祉の目的 や課題を共有し連携を図ることに よって、区民ひとりではできない、行 政だけではできない自助・互助の 仕組みづくりを進めます。

の開催(R3中

●高齢者見守りネットワーク事業の充実による支え合いの地域づくりの推進

○年1回以上の情	報交換会開催による	が協力事業者等との過	里携強化・支え合いの	り「環境しくり
・情報交換会の開	継続実施			\longrightarrow
催				
	・協力事業者及び関			\longrightarrow
	係機関の情報交換			
	会参加促進の取組			
	実施			

安全・安心まちづくりの推進









主な取組の方向性

- ●区民の防災意識の向上、自主防災組織の活動の活性化や自立した避難所運営に向けた支援を通 じた自助・共助体制の強化
- ●交通安全啓発の一層の充実や高齢者・子どもを狙った犯罪への対策の推進

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
地域防災力の向上事業 個人、自主防災組織、避難所運営会議の役割を明確化することで、災害対応力のスパイラルアップを図り、災害時に誰一人取り残さない災害に強いまちをめざします。	● 区民の防災意 ・個人に向けた適 ・啓発の実施	意識の醸成 正避難行動及び家原 ・防災啓発動画作成 連携による総合防災訓	至内備蓄の啓発		>
避難所宿泊訓練	・訓練等の活動支援 ・自立した活動へ向けた支援 ● 避難所運営会	D開催や、自主防災系 継続実施 ー 継続実施 ー	組織による訓練への支		運営会議を支援
麻生区安全・安心まちづくり事	●関係団体等と	≤連携した街頭啓発	活動の実施		

交通事故や犯罪のない安心して 暮らせるまちの実現に向けて、さま ざまな啓発等を行うことで、安全意 識の高揚を図り、区民一丸となっ た安全・安心なまちづくりを推進し ます。



交通安全教室 (スケアードストレート方式)

○交通安全キャンペーンや二輪車・自転車の安全指導等、継続した街頭啓発活動の実施

・ 街頭啓発活動の 継続実施

●交通安全教育の実施

o小学生や幼稚園・保育園児を対象とした交通安全教育の実施

•交通安全教室等 継続実施 の実施

•中高生を対象としたスケアードストレート方式の交通安全教育の実施

・スケアードストレー 継続実施

ト方式の交通安全

教室の実施

•高齢者を対象とした交通安全教育の実施

・シルバードライビン 継続実施

グ教室の実施

●安全パトロール実施組織への支援

○パトロール物品の貸与、研修会の開催等による活動支援の実施

・活動支援の実施 ・研修会内容等の検 ・検討を踏まえた研

討 修会の開催

●関係団体等と連携した防犯啓発

·研修·講習会等 継続実施 の実施 ・メール配信による 継続実施 情報提供の実施

総合的な子ども・子育て支援の推進



主な取組の方向性

- ◆大学や企業、関係機関や団体等との更なる連携強化により、地域ぐるみで子育て支援ができる環境 整備に向けた取組の推進
- ●さまざまなツールを活用した効果的な情報発信の推進

	現状		事業内	容·目標	
事業名	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
子育て支援・企画事業 区民や関係機関、民間企業等と	●麻生区子ども関	見連ネットワーク会議 連団体等との連携会	の開催による情報共 会議を通じた情報共存	有と子育て支援に応	
連携し、子育て支援や情報発信、子育てグループの活動支援等、新しい生活様式を踏まえ区の		1	り組むための研修、講	極等の実施 	<i></i>
状況に応じた子ども・子育て支援 を推進します。			保育所等と連携した 育てサークル等への活		実施
			携した子育て支援事業 	業の実施 	
総性処子育てガイドブック 2021	・あさお子育てフェ スタの開催(R3	連携によるあさお子育 ・検討を踏まえた開 催	ティスタの開催		
# Child care Guide book #	中止) ・開催方法の見直 し・検討				
	●子ども・子育では ・子育で情報誌 「きゅっとハグあさ お」と「ちびっこおで かけMAP」の発行 ・HPやSNSを活用	情報の発信 継続実施 一 継続実施 一			>

こども関連大学連携事業

「麻生区・6 大学 公学協働ネットワークに関する協定」に基づき、 近隣の大学の専門性を活かした 講座や体験学習を通して、子ども・子育て支援に取り組みます。

きゅっとハグあさお

●麻生区・6大学公学協働ネットワークの連携・協力による子ども・子育て支援の取組

大学との連携・協力による体験学習等の実施

·未就学児親子向 継続実施 =

け支援事業の実施

した広報の実施

・小学生向け支援 継続実施 事業の実施



昭和音楽大学連携事業交流コンサート

地域資源を活用したコミュニティづくりの推進



主な取組の方向性

- 多様な主体の連携による「市民創発」のコミュニティづくりや地域コミュニティの核である町内会・自治会に対した加入促進等の取組の推進
- 地域資源やスポーツを活用した豊かなコミュニティづくりの推進

					<u>林生以</u>
	現状		事業内	容・目標	
事業名	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和 6 (2024)	令和7(2025)
	年度	年度	年度	年度	年度
町内会·自治会加入促進事業	●町内会·自治会	会加入促進ガイドブッ	クラック等を活用した町内	3会・自治会への加入	、促進
	・町内会・自治会	継続実施			
町内会・自治会への加入を促進し、地域のつながりづくりや地域コ	加入促進ガイドブッ				
これによっている。	ク発行				
ニエニノイの心は1七七を進めより。					
森生区市民活動支援施設利用	●市民活動団体	交流イベント、市民	舌動参加を促す人材	育成講座等の実施	
·····································			民活動への参加促進の	Dためのアクティブシニアi	講座等の実施
「麻生市民交流館やまゆり」を通じ	・イベント、講座等	継続実施			
て市民活動支援の促進を図りま	の実施		<u> </u>		
す。		を活用した情報発信			
	・情報発信の実施	作された広報紙を活用 継続実施 一	りに情報発信の美施 		<u> </u>
		1	の情報提供等、市民活	チェーンナンギスカックロの守	>t/⊑
		・効果的な情報提供		1里川にフなりる4X社のチ	= `
		方法の検討	報提供の実施		
	●「麻牛市民交流	た館やまゆりIによる技	是室型事業の実施		
			業の実施、報告会の開	間催	
	・提案型事業の実	継続実施			`
	施、報告会の開催				
あさお希望のシナリオ推進事業	●市民創発による	るまちづくりに向けたB	収組の推進		
りこの中主のファッカル選手来			た検討・立ち上げ支持	爱	
様々な地域資源を活用しながら、 多様な主体と連携し、「麻生区版 ソーシャルデザインセンター」の創出 や「まちのひろば」の創出等希望の シナリオ実現に向けた取組を推進 します。	・あさお希望のシナ			・ソーシャルデザインセ	
	リオプロジェクト検			ンターの立ち上げ支	N. F. W. S. C.
	討会開催			援	
	○まちのひろばの創				
	・まちのひろばの広 報等支援の実施	継続実施			
	収分又吸が大心			14.70 th + +	
	141-15 19				リオプロジェクト検討会
スポーツのまち麻生推進事業		/資源を沽用した活動 各種スポーツ大会の	動支援、教室開催、 開催支援	イベント実施	
区内のさまざまなスポーツ資源を活		・新規大会への支援	一一		
用しながら、区民のスポーツ参加を	•スポーツ教室等(
促し、区内各スポーツ関連団体が	・ポールウォーキング	- 7 (1)2			
交流を図ることで、活力ある地域 づくり、豊かなコミュニティづくりを促	イベント等の実施				ĺ
進します。	◦スポーツ健康ロー	- ド等の広報			
	・広報支援やチラ	継続実施			
	シ作成等の実施				
	∘あさお青玄まつり	、ホームゲーム観戦ツ	ソアーなど交流イベント	等の実施	
	・イベント開催等に	継続実施			
	よる地域活性化の				
	取組				
			支援と他団体との連		15 / 1-
	100		援と他団体との連携		他に何けた文援
スポーツ・健康ロードを活用した	た活動支援		・検討・試行を踏まえた新たな連携事業の		
ポールウォーキング			実施		
	●パラスポーツの	普及・促進に向けた	取組の推進		
			・体験教室の開催支		`
		援、大会開催に向け			
		た検討			

区における地域の課題解決に向けたその他の取組

取			現状		事業内容	容·目標	
区組の住	事業名	概要	令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和5(2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
麻生[14.14					
	芸術・文化のまちづくりの野外上映会開催事業	市民団体等との協働で野外上映会を開催し、「芸術・文化のまち麻生」の取組を区内各地へ広げます。	● 地域資源を活かし7	に野外上映会及 び関連	連イベントの開催		
	ふるさとあさお再発見 事業	区に伝わる伝統行事「七草粥」を 再現し、地域の豊かな自然の恵 みと文化の香りに触れる機会を提 供します。	●地域文化団体等と	連携した伝統行事「七	草粥」の実施		
	イメージアップ推進事 業	区内の文化芸術やスポーツ資源 の魅力をアピールし、芸術・文化 のまちづくりを推進します。	●kirara@アートしん ●芸術・文化やスポー	υゆりへの協力 ツ活動に関する懸垂幕	事や柱巻き広告の掲出		
	区制40周年記念事業	令和4年7月に麻生区が区制40 周年を迎えることを契機として、区 民の区に対する誇りや愛着を高め ることを目的に、区制40周年事 業を実施します。	●区民主体の実行委	員会における企画検討	寸、記念式典の開催及	び記念事業の実施	
	農と環境を活かしたまちこ	びくりの推進					
	あさお花いっぱい推進 事業	美化活動団体への支援を通じて、区民との協働による地域の環境美化及び地域コミュニティの推進を図ります。	●公共的空間にある	花壇等を自主的・継続	的に管理している団体	への花苗等の提供	
	ヤマユリ植栽普及促進事業	地域の団体と連携しながら消えつ つある区の花ヤマユリの植栽活動 を促進・支援し、植栽のノウハウの 蓄積・普及を推進します。	●ヤマユリ植栽地の観 ●ヤマユリ普及のため	察・管理活動の実施 の育苗講習会や広報	舌動の実施		
	安全・安心まちづくりの推	進					
	小学校区危険箇所案 内マップ作製事業	区民、地域団体、学校等の連携 により、区民の日常生活における 交通・防犯上の危険箇所を表示 したマップを作製し、配布します。	●「小学校区危険箇所	所案内マップ』の作製 及	とび配布		
ı	麻生区ガイドマップ増 刷改訂事業	転入者等への初期情報として、 地図を中心とした区内の各種情報を提供するため、麻生区ガイドマップを改訂し、配布します。	●麻生区ガイドマップ	の改訂・発行及び区木	ームページの地図デー	夕等の更新	
	麻生落書き消し事業	駅周辺等の一斉落書き消しや、 地域の要請による「出前落書き消 し」を実施し、区内の美化と安全 で安心なまちづくりを推進します。	●区内駅周辺等の「-	一斉落書き消し」や地域	成の要請に応じた「出前	落書き消し」の実施	
	総合的な子ども・子育で	支援の推進					
	外国籍等子ども学習 支援事業	外国籍及び外国につながる児童・ 生徒の学習を地域で支援しま す。	●小・中学校の授業は	こおける学習支援事業	の実施		

取			現状		事業内	容·目標	
組の柱	争兼名	概要	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度	令和 6 (2024) 年度	令和7(2025) 年度
	地域資源を活用したコミ	ユニティづくりの推進					
	町内会事業提案制度 事業	町内会・自治会が、地域の課題 を発見し、課題解決のための事 業提案を行い、選定された事業を 区と恊働で実施します。	●町内会・自治会とは	協働した提案型事業の	実施		
	麻生区市民提案型協 働事業	地域の団体等から地域課題の解 決に資する事業提案を受け、選 定された事業を提案団体が実施 することで、より住みやすいまちづく りを推進します。	●地域の団体等と協	働した提案型事業のま	是施		
	麻生区市民活動支援 施設活用事業	「麻生市民交流館やまゆり」の施設の管理運営を支援します。	●「麻生市民交流館	 やまゆり」の施設運営の) 支援 		
	麻生区地域功労表彰 事業	地域で活動している人(団体)を表彰することで、地域活動への 関心を高め、地域の活性化を図ります。	●麻生区地域功労表	彰及び奨励表彰候補	者の募集、選定及び	表彰	
	麻生区多文化共生推 進事業	多文化共生に対して高い意識を 持つ区民が主体となった自主的・ 自発的な多文化共生活動の支援・推進を図ります。		と共生の啓発及び推進 と外国人市民の交流			
	区民祭開催経費	麻生区の文化の発展と区民の連 帯を深め、うるおいのある麻生区 のまちづくりを推進します。	●区内各種団体との	協働によるあさお区民	まつりの開催		
	区役所サービス向上事業	¥					
	区役所窓口等サービ ス充実改善事業	区役所の総合的なサービス向上 のための環境整備や研修を実施 します。	●サービス向上のため	の環境整備や研修の	実施		
	区政·地域情報提供 事業	駅周辺施設情報をわかりやすく伝えるための盤面の更新や、区役所職員の広報スキル向上等を図ります。	●新百合ヶ丘駅周辺	案内サインの盤面更新	や広報研修の実施		
	地域課題対応事業その	他事業					
	事務費等共通経費	地域課題対応事業の実施に必 要な事務費を計上します。	●地域課題対応事業	も 他の実施に係る事務費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	区の新たな課題即応事						
	区の新たな課題即応 事業	新たに生じた課題に、適切かつ迅速に対応し、解決に向けた取組を推進します。	●新たに発生する課題	園に対応する事業の実 	· 施		



麻生区における特徴あるまちづくりの取組

麻生区で展開されている市民生活を支える事業のうち、区計画に記載されている事業(地域課題対応事業) 以外の事業に関連した、区の特徴的な取組を紹介します。

●新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり推進事業

・麻生区では、横浜市や鉄道事業者等と連携し、令和 12 (2030) 年を開業目標とした横浜市高速鉄道 3 号線の延伸に向けた取組が進められています。新百合ヶ丘駅周辺地区では、こうした周辺環境の変化等を踏まえつつ、商業・業務機能の集積に加え、文化・芸術施設の立地や豊かな自然環境などの地域資源を活かしながら、民間活力による土地利用転換の誘導や交通結節機能の強化に向けた取組など、より質の高い、魅力ある広域拠点の形成に向けた取組を、第 3 期実施計画に位置付け推進していきます。

【政策体系別計画 395P:施策 4-5-1 新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり推進事業】

【政策体系別計画 409P:施策 4-7-1 鉄道計画関連事業】

【麻生区役所における関連した取組】

・新百合ヶ丘駅周辺の更なる魅力向上に向けた取組として、地域の企業、団体、大学等で構成される「新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム」や、芸術・文化分野の「NPO 法人しんゆり・芸術のまちづくり」、「劇団民藝」、「読売日本交響楽団」に加え新たに稽古場をオープンした「日本オペラ振興会」等と連携した事業実施や支援、地域の誇る多彩な主体が実施するイベント等への支援に取り組んでいます。

・区制 40 周年を迎える令和4年度には、町内会・自治会や市民団体 65 団体で構成される実行委員会において、新百合ヶ丘駅周辺の公共施設・公共空間を利活用して、区民とともに未来を見据えたまちづくりを考えるきっかけとなるような記念イベント等を行います。これを契機として市制 100 周年、区制 50 周年へ向けた更なる魅力向上の取組を推進します。

○ カフェ・グランデ あさお

麻生区の芸術・文化の活動を特に若い世代に向けて発信し、一緒に体験することで、芸術・文化のまちづくりに参加する機会とするとともに、参加団体の交流の場となることを目的として開催。コンサートや演劇などのステージをはじめ、俳句づくりやハンドメイドのワークショップ等盛りだくさんなプログラムで、区の持つ魅力があふれるイベントです。



多くの区民の交流の場!

o kirara@アートしんゆり

「しんゆり・芸術のまちづくり」の一環として、多くの地域企業・商店及び団体との連携・協力により、新百合ヶ丘駅周辺をイルミネーションで彩り、区民や来訪者に楽しんでもらうとともに、その輝きや関連イベントを通じて地域の魅力向上や活性化につなげています。



新百合ヶ丘の冬の風物詩!

○ しんゆりステーションピアノ

「芸術・文化のまち」の更なる魅力向上や、新百合ヶ丘駅周辺の賑わいの創出を目的として、「小田急電鉄株式会社」、「昭和音楽大学」、「新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム」、「NPO 法人しんゆり・芸術のまちづくり」の4者で実行委員会を立ち上げ、コロナ禍では駅コンコースから出て屋外で開催。誰もが弾けるピアノがまちを鮮やかに彩ります。



皆の音楽でまちが元気に!

"それいいね"が広がるまちづくりに向けて

麻生区で展開されている事業のうち、地域課題の解決に向けて、市民や団体等と協働・連携して行っている特徴的な取組を紹介します。

●次世代へつなぐ 緑あふれるまち

麻生区には公園や緑地・農地がたくさんあり、市内でも1番の緑のまちです。この貴重な資源を大切に育むとともに、地域や大学等の多様な主体が連携し、支え合うことで、未来に広がる、持続可能なまちづくりを進めます。

地域関係者と連携した地域活性化の取組

黒川地区では農業者・地域・大学・行政等が連携した「明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会」において、区内の農業資源や環境資源を活用し、地 域活性化、地域交流に関する取組を行っています。

- 黒川の魅力情報の発信として、ホームページや SNS を活用した里山 風景の PR、「#黒川フォト」イベント等を実施しています。
- 農と里山を体感するイベントとして、「明治大学収穫祭」や「グリーンツーリズム」等を実施しています。



親子で力を合わせて野菜を収穫! (グリーンツーリズム)

■ 黒川地区の取組を参考に、岡上地区や他の地区においても、多様な主体と協働した地域イベントの開催や、まちづくりのしくみづくりに向けた検討を行っていきます。

市民活動団体と連携した次世代継承の取組

麻生区の貴重な資源である里地・里山の魅力や活動団体の取組を発信し、普及啓発を行っています。また、 保全・活用の担い手として期待される若い世代に対して様々な取組を実施しています。

○ 里山フォーラム in 麻生の取組

里地・里山保全に携わる人材育成として「里地里山ナチュラリスト養成講座」、「あさお里山こどもクラブ」を開催するなど、多世代に向けた取組を行っています。また、麻生区ならではの「からむし」や「万福寺人参」を継承する「里地里山カフェ塾」、わたしのまちのホッとする風景写真展今編昔編、多様な団体が集まり包括的な交流の場としての「フォーラム」などを開催しています。



落葉かきを通じて自然のサイクルを学習! (あさお里山こどもクラブ)

里地里山活動団体の取組

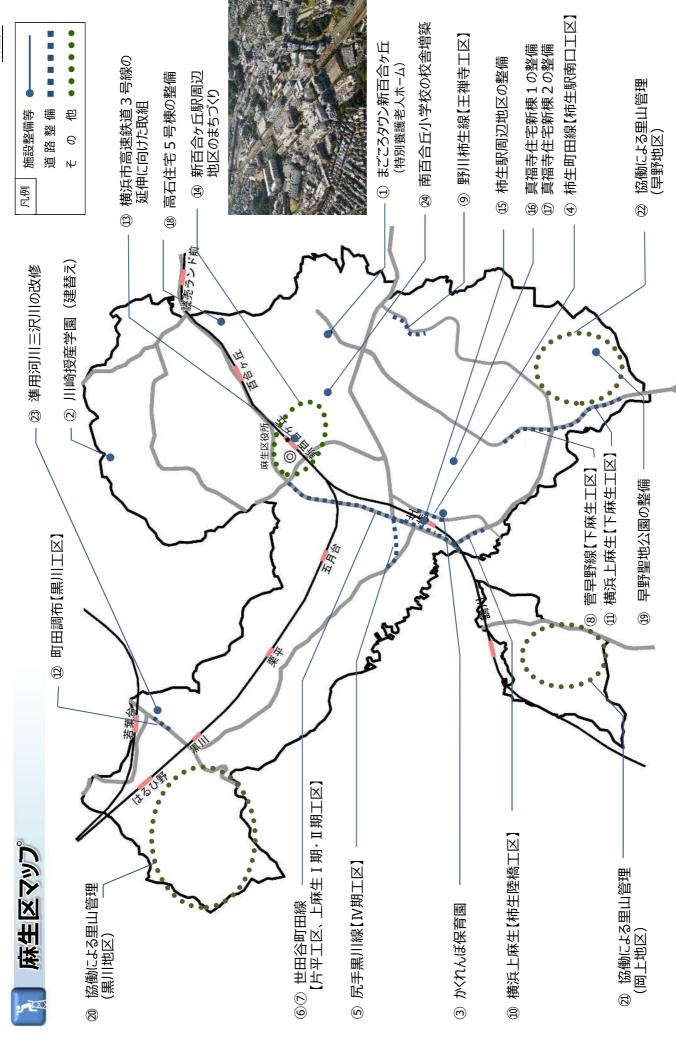
「フォーラム」に参加する多くの団体により体験学習や観察会、草刈り、植樹等自然環境保全と伝統文化継承のための様々な活動が行われています。その中で間伐材を利用した炭焼きを行っている団体もあります。特に炭焼きは市内で残っているところはめずらしく、技術継承の役割も担っています。



炭焼き三日目の朝 (早野での炭焼き)

★市民の想い、メッセージ

- 夏休みに親子で自然とふれあえて満足でした。収穫体験やオリーブオイル講習も大変おもしろく 貴重な体験ができて良かった。(2021 黒川地域グリーンツーリズム参加者)
- 里山を実際に見て、歩きながら学べておもしろかったです。地域の課題について、その背景から対策まで学ぶことができて役立ちました。(2021 里地里山ナチュラリスト養成講座受講者)



🔚 区のマップとの対応表



その他

名称	開所予定	定員	MAP番号	名
まごころタウン新百合ヶ丘 (特別養護老人ホーム)	R4(2022)年度	130人 短期入所 10人	Θ	横浜市高速鉄 延伸に向けたI
川崎授産学園(建替え)	R5(2023)年度 一部供用開始 D7(2025)在库	施設入所支援 50 人 生活介護 80 人 短期入所 20 人	@	新百合ヶ丘駅I まちづくり
	全面供用開始	就労継続支援B型 20人 日中一時支援 10人		柿生駅周辺地
かくれんぼ保育園	R4(2022)年度	40 人	<u>6</u>	

1.1.201
國
$\dot{\Leftrightarrow}$
恕
魺

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号	imit.
柿生町田線【柿生駅南口工区】	道路新設	事業推進	4	
元手黒川線【IV期工区】	道路新設	R7(2025) 年度完成	(2)	I=E
世田谷町田線 [片平工区、上麻生 I 期工区]	道路拡幅	R7(2025) 年度完成	9	ш
世田谷町田線[上麻生工期工区]	道路拡幅	事業推進	©	_
菅早野線【下麻生工区 】	道路拡幅	事業推進	8	~
野川柿生線[王禅寺工区]	道路拡幅	R7(2025) 年度完成	6	1 Jun
黄浜上麻生 [柿生陸橋工区]	橋りよう整備	事業推進	(9)	-
黄浜上麻生[下麻生工区]	道路拡幅	事業推進		
町田調布[黒川工区]	道路拡幅	事業推進	(2)	

44	事業概要	事業予定	MAP 番号
横浜市高速鉄道3号線の 延伸に向けた取組	横浜市や鉄道事業者等の関係機 関との協議・調整	事業推進	(E)
新百合ヶ丘駅周辺地区の まちづくり	横浜市高速鉄道3号線の延伸や 社会変容等の環境変化を踏まえた 取組の推進	事業推進	(£)
柿生駅周辺地区の整備	柿生駅前南地区の市街地再開発 事業	R10(2028) 年度完了 予定	9
真福寺住宅新棟1の整備	市営住宅の建替工事	R6(2024) 年度完成	9
真福寺住宅新棟2の整備	市営住宅の建替工事	R8(2026) 年度完成 予定	(
高石住宅 5 号棟の整備	市営住宅の建替工事	R8(2026) 年度完成 予定	®
早野聖地公園の整備	次期整備区域における造成、基盤 整備	事業推進	9
協働による里山管理 (黒川・岡上・早野地区)	効果的な緑地保全や適切な管理・ 再生による里地・里山づくりの推進	事業推進	20(21)
準用河川三沢川の改修	治水安全度の向上のための河川改 修	事業推進	8
南百合丘小学校の校舎 増築	校舎の増築工事	R5(2023) 年度完成	(%)

地域の課題解決に向けた取組の一覧

事業名(〇は本計画で「計画期間の主な取組」として掲載している事業)

世生 ナルのナナベルのも	# \ #	
芸術・文化のまちづくりの扌		
-		しんゆり・芸術のまち推進事業
-		麻生音楽祭開催事業 は、
-		あさお芸術のまちコンサート事業
-	0	あさお観光資源の魅力紹介事業
-		野外上映会開催事業
-		ふるさとあさお再発見事業
_		イメージアップ推進事業
		区制40周年記念事業
農と環境を活かしたまちづ	くり	の推進
	0	農と環境を活かした連携事業
	0	麻生区SDGs推進事業
	0	麻生里地·里山保全推進事業
		あさお花いっぱい推進事業
		ヤマユリ植栽普及促進事業
高齢化への対応とすこやな	シ・ヨ	ええ合いのまちづくりの推進
	0	地域包括ケアシステム推進事業
	0	多様な主体との連携事業
安全・安心まちづくりの推進	隹	
	0	地域防災力の向上事業
	0	麻生区安全・安心まちづくり事業
		小学校区危険箇所案内マップ作製事業
		麻生区ガイドマップ増刷改訂事業
		麻生落書き消し事業
総合的な子ども・子育て支	援の	
		子育て支援・企画事業
-		こども関連大学連携事業
-		外国籍等子ども学習支援事業
地域資源を活用したコミュ		
_		町内会・自治会加入促進事業
		麻生区市民活動支援施設利用促進事業
		あさお希望のシナリオ推進事業
		スポーツのまち麻生推進事業
		町内会事業提案制度事業
		麻生区市民提案型協働事業
		麻生区市民活動支援施設活用事業
		麻生区地域功労表彰事業
		麻生区多文化共生推進事業
		区民祭開催経費
□ 区役所サービス向上事業		
世文/// C八門工事未		区役所窓口等サービス充実改善事業
		区政·地域情報提供事業
地域課題対応事業その他	車型	
地域味趣刈心事果での他	事才	事務費等共通経費
マのギナや細 野町 古事業		尹仍貝守六进在貝
区の新たな課題即応事業		
		区の新たな課題即応事業